

津島市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和6年3月

津島市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の見方	1
II	調査結果	2
1	就学前児童	2
(1)	封筒のあて名のお子さんご家族について	2
(2)	子どもの育ちをめぐる環境について	5
(3)	あて名のお子さんの保護者の就労状況について	10
(4)	あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
(5)	あて名のお子さんが病気の際の対応について（平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のみ）	30
(6)	あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	35
(7)	あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	37
(8)	あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	41
(9)	あて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について（宛名のお子さんが5歳以上の方のみ）	54
(10)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	59
(11)	ヤングケアラーについて	68
(12)	ご家庭の状況について	70
(13)	子育て全般について	72
2	就学児童	77
(1)	宛名のお子さんご家族の状況について	77
(2)	子どもの育ちをめぐる環境について	80
(3)	宛名のお子さんの保護者の就労状況について	85
(4)	あて名のお子さんが病気の際の対応、宿泊を伴う一時預かりについて	93
(5)	あて名のお子さんの放課後の過ごし方について	99
(6)	あて名のお子さんの生活状況について	106
(7)	子育て支援サービス全般について	108
(8)	ヤングケアラーについて	113
(9)	ご家庭の状況について	115
(10)	子育て全般について	117

I 調査の概要

1 調査の目的

津島市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

津島市在住の就学前児童をお持ちの方を無作為抽出
津島市在住の小学生児童をお持ちの方を無作為抽出

3 調査期間

令和6年1月10日から令和6年1月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,000通	514通	51.4%
小学生児童保護者	1,000通	468通	46.8%

6 調査結果の見方

- (1) 調査結果の数値は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で表記しています。ただし、年代別や経年変化などの母数が異なるものを比較する場合は、割合の差（ポイント）で表記しています。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（n）に対する回答比率のため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには0.0%と表記しています。
- (4) 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- (5) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。

II 調査結果

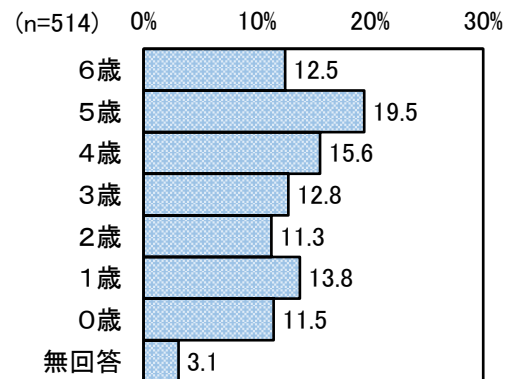
1 就学前児童

(1) 封筒のあて名のお子さんご家族について

問1 封筒の宛名のお子さんの生年月をお聞きします。

宛名のお子さんの年齢

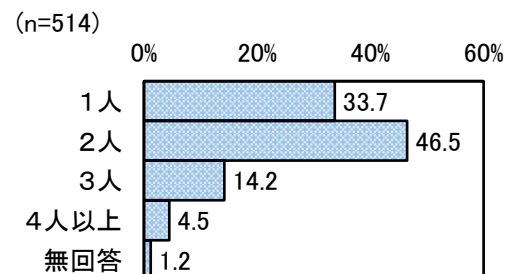
「5歳」が19.5%で最も多く、次いで「4歳」が15.6%、「1歳」が13.8%、「3歳」が12.8%、「6歳」が12.5%となっています。



問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。2人以上の場合、末のお子さんの年齢（令和5年10月1日現在の年齢）をお書きください。

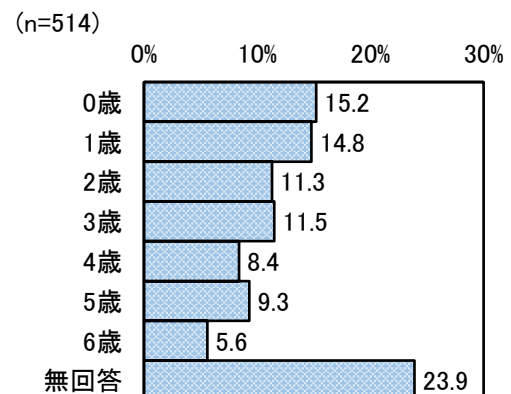
ア. お子さんの数

「2人」が46.5%で最も多く、次いで「1人（宛名の子どものみ）」が33.7%、「3人」が14.2%、「4人以上」が4.5%となっています。



イ. 末子の年齢

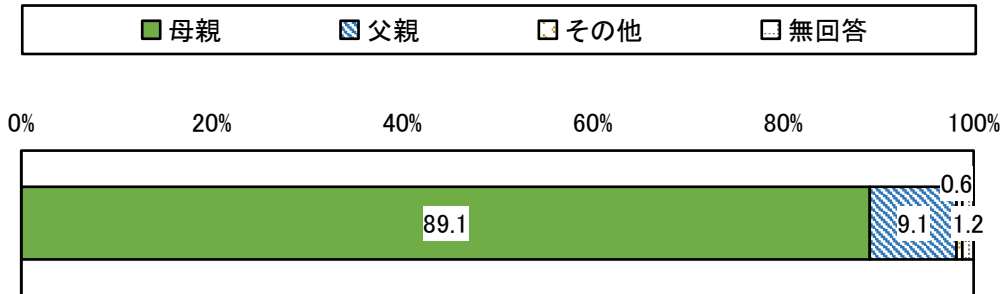
「0歳」が15.2%で最も多く、次いで「1歳」が14.8%、「3歳」が11.5%、「2歳」が11.3%、「5歳」が9.3%となっています。



問3 この調査票にご回答いただく方（以後、「あなた」といいます。）は、どなたですか。
《1つに○》

「母親」が89.1%、「父親」が9.1%となっています。

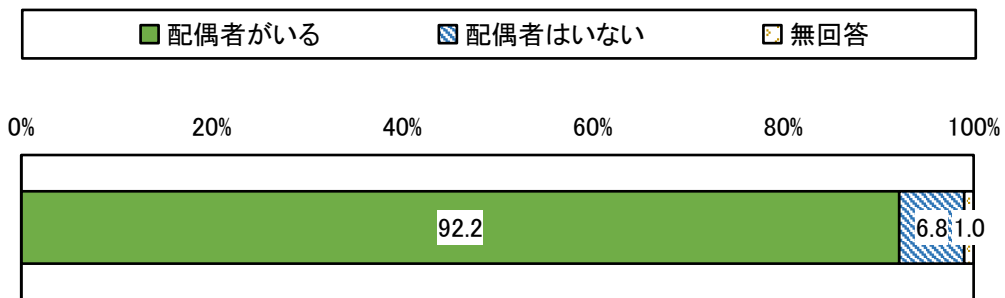
(n=514)



問4 あなたに配偶者（夫または妻）がいますか。《1つに○》

「配偶者がいる」が92.2%、「配偶者がいない」が6.8%となっています。

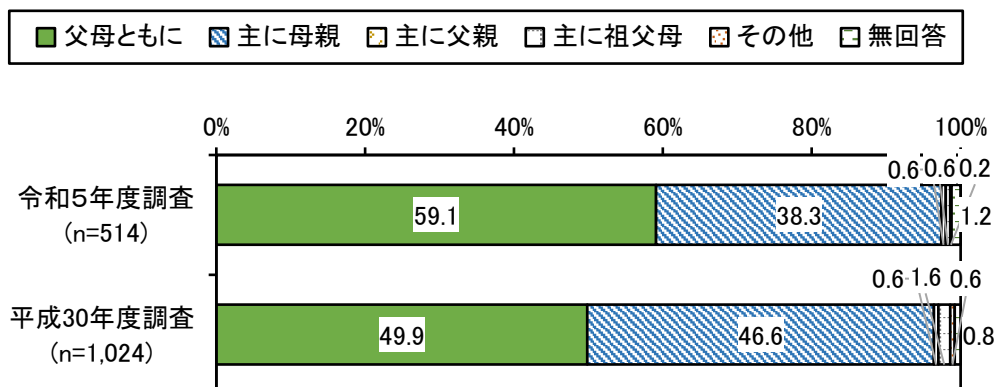
(n=514)



問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。
《1つに○》

「父母ともに」が59.1%で最も多く、次いで「主に母親」が38.3%、「主に父親」が0.6%、「主に祖父母」が0.6%となっています。

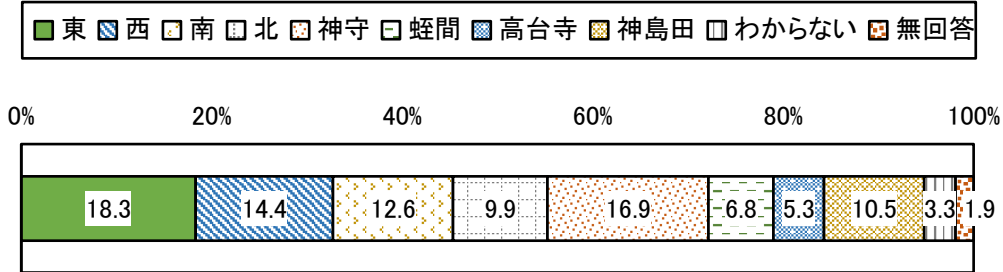
平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」が9.2ポイント増加しています。



問6 お住まいの小学校区を教えてください。《1つに○》

「東」が18.3%で最も多く、次いで「神守」が16.9%、「西」が14.4%、「南」が12.6%、「神島田」が10.5%となっています。

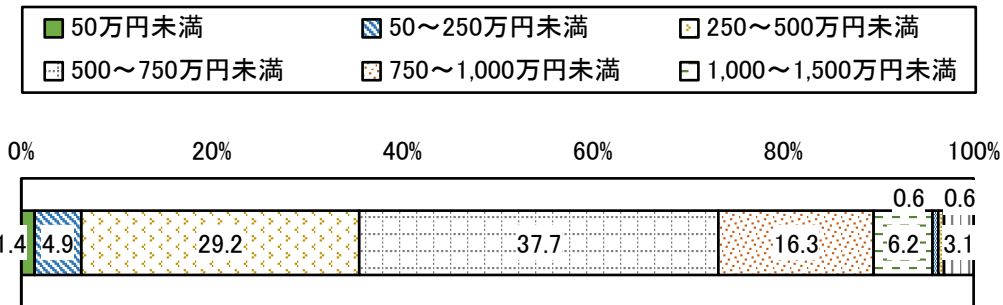
(n=514)



問7 前年（2023年）のあなたのご家庭の家族全員の合計収入金額は、およそいくらでしたか。《1つに○》

「500～750万円未満」が37.7%で最も多く、次いで「250～500万円未満」が29.2%、「750～1,000万円未満」が16.3%、「1,000～1,500万円未満」が6.2%、「50～250万円未満」が4.9%となっています。

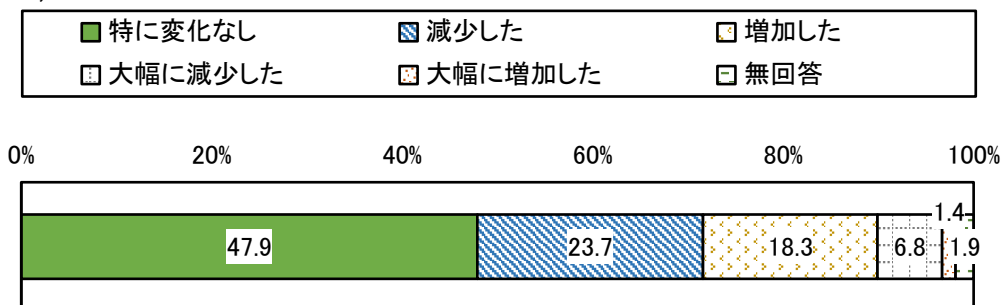
(n=514)



問8 前年（2023年）の家族全員の合計収入金額は、前々年（2022年）と比較してどのように変化しましたか。《1つに○》

「特に変化なし」が47.9%で最も多く、次いで「減少した」が23.7%、「増加した」が18.3%、「大幅に減少した」が6.8%、「大幅に増加した」が1.4%となっています。

(n=514)



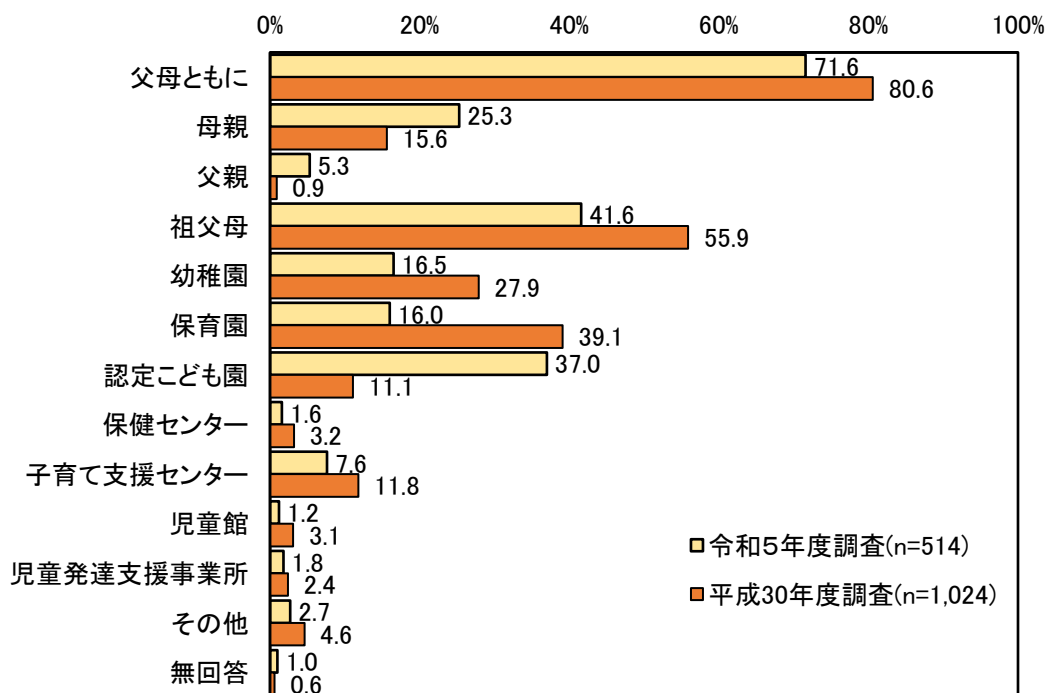
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問9 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。《あてはまるものすべてに○》

「父母ともに」が71.6%で最も多く、次いで「祖父母」が41.6%、「認定こども園」が37.0%、「母親」が25.3%、「幼稚園」が16.5%となっています。

幼稚園、保育園、認定こども園のいわゆる「教育・保育施設」については、合計で69.5%となっており、平成30年度調査では78.1%でしたので、8.6ポイントの減となっています。

また、平成30年度調査と比較すると、特に「父母ともに」、「祖父母」が減少しています。

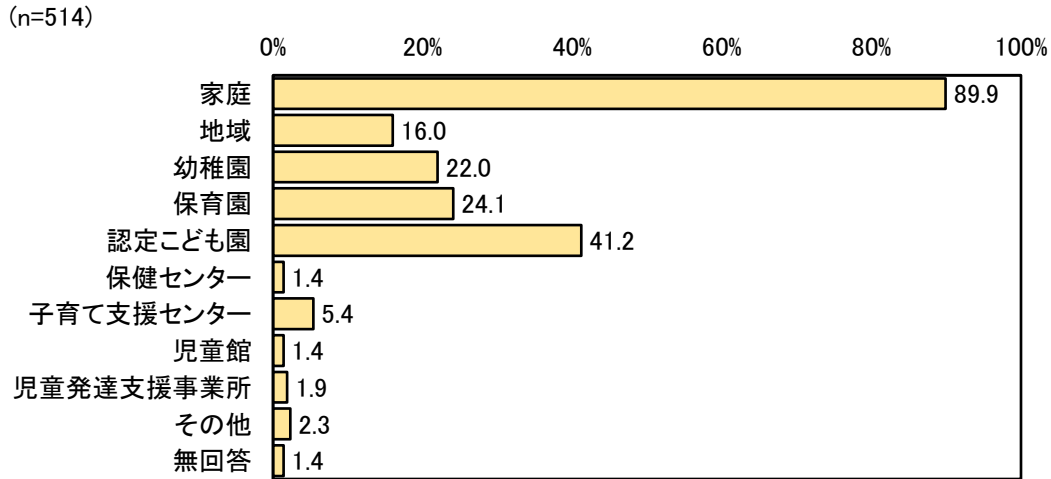


【その他の回答】

習い事、叔母、青い鳥医療センター・コロニー・日赤、図書館、託児所、内縁の夫、母職場託児所、い
とこ、習字、バレエ

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は何だと思えますか。《あてはまるものすべてに○》

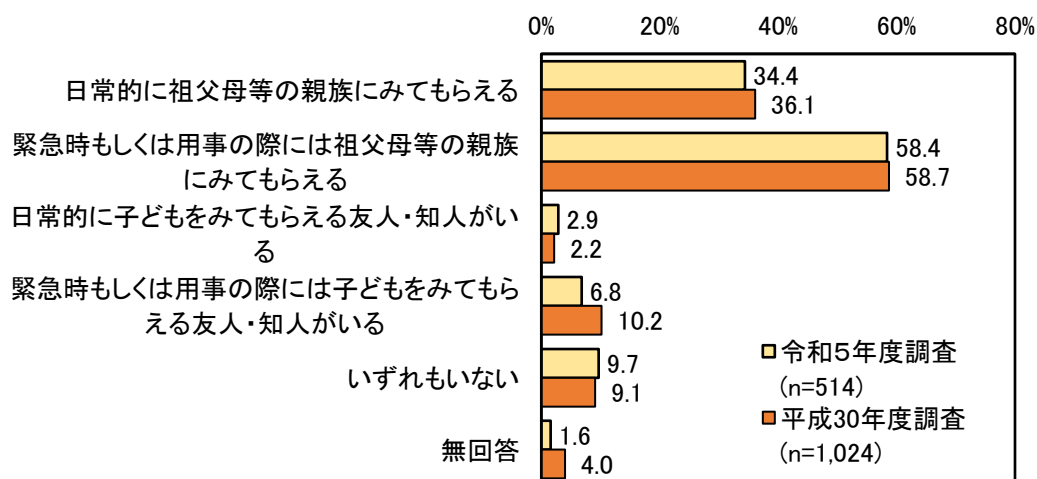
「家庭」が89.9%で最も多く、次いで「認定こども園」が41.2%、「保育園」が24.1%、「幼稚園」が22.0%、「地域」が16.0%となっています。



問11 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。《あてはまるものすべてに○》

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.4%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.4%、「いずれもない」が9.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が6.8%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が2.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



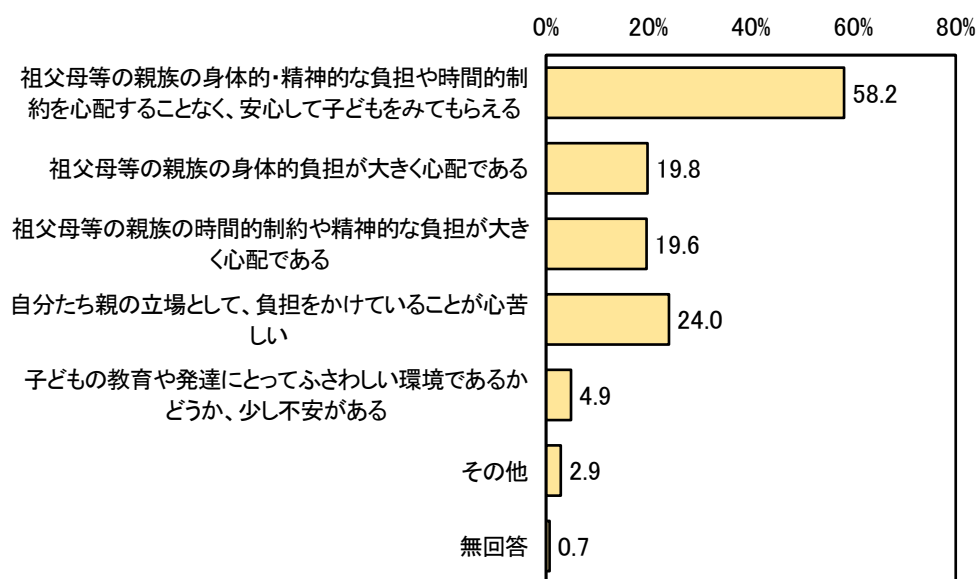
(問11で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてうかがいます。
《あてはまるものすべてに○》

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が58.2%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.0%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が19.8%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が19.6%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」が4.9%となっています。

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多くなっています。

(n=445)



【子どもの年齢別クロス】

単位：%

	回答者数 (人)	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある	その他	無回答
全体	445	58.2	19.8	19.6	24.0	4.9	2.9	0.7
6歳	57	57.9	21.1	21.1	33.3	5.3	-	-
5歳	88	44.3	27.3	25.0	28.4	6.8	2.3	2.3
4歳	68	47.1	26.5	23.5	26.5	5.9	5.9	-
3歳	59	66.1	15.3	23.7	18.6	1.7	3.4	-
2歳	48	60.4	18.8	18.8	25.0	6.3	-	-
1歳	63	74.6	15.9	7.9	19.0	3.2	1.6	1.6
0歳	52	65.4	5.8	15.4	15.4	5.8	7.7	-

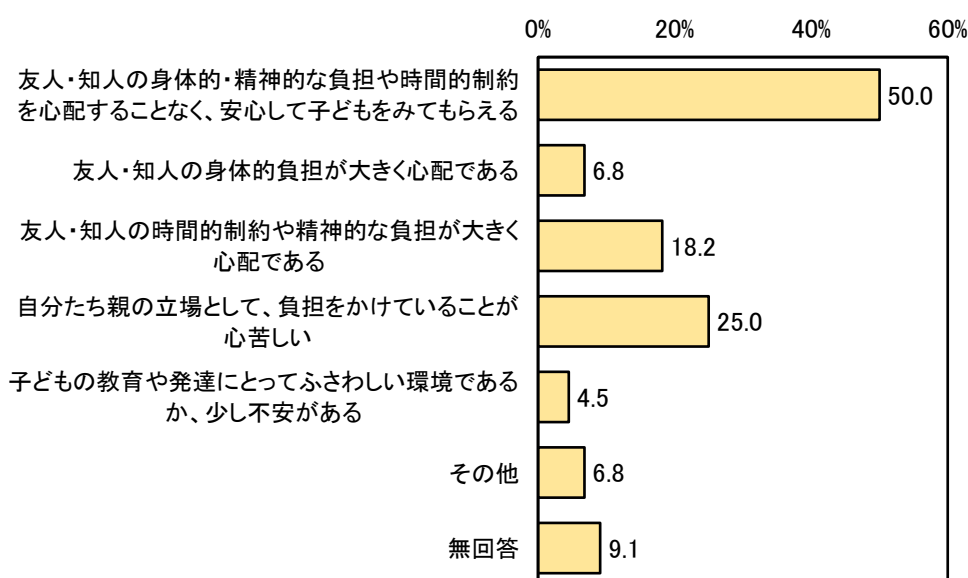
(問11で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてうかがいます
《あてはまるものすべてに○》

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が50.0%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が18.2%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が6.8%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が4.5%となっています。

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が最も多くなっています。

(n=44)



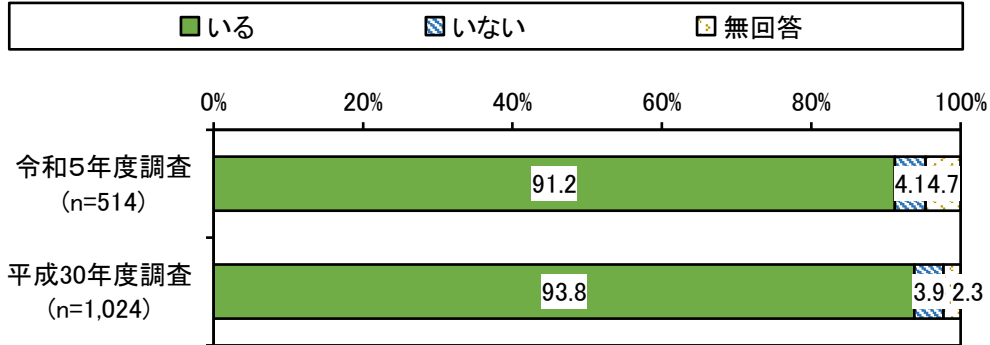
【子どもの年齢別クロス】

単位：%

	回答者数 (人)	友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体	44	50.0	6.8	18.2	25.0	4.5	6.8	9.1
6歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-
5歳	15	60.0	-	13.3	26.7	6.7	-	13.3
4歳	7	28.6	-	-	42.9	-	28.6	-
3歳	7	42.9	28.6	28.6	14.3	-	14.3	-
2歳	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-
1歳	3	100.0	-	-	-	-	-	-
0歳	6	16.7	-	33.3	33.3	16.7	-	33.3

問12 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がいますか。《1つに○》

「いる」が91.2%、「いない」が4.1%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

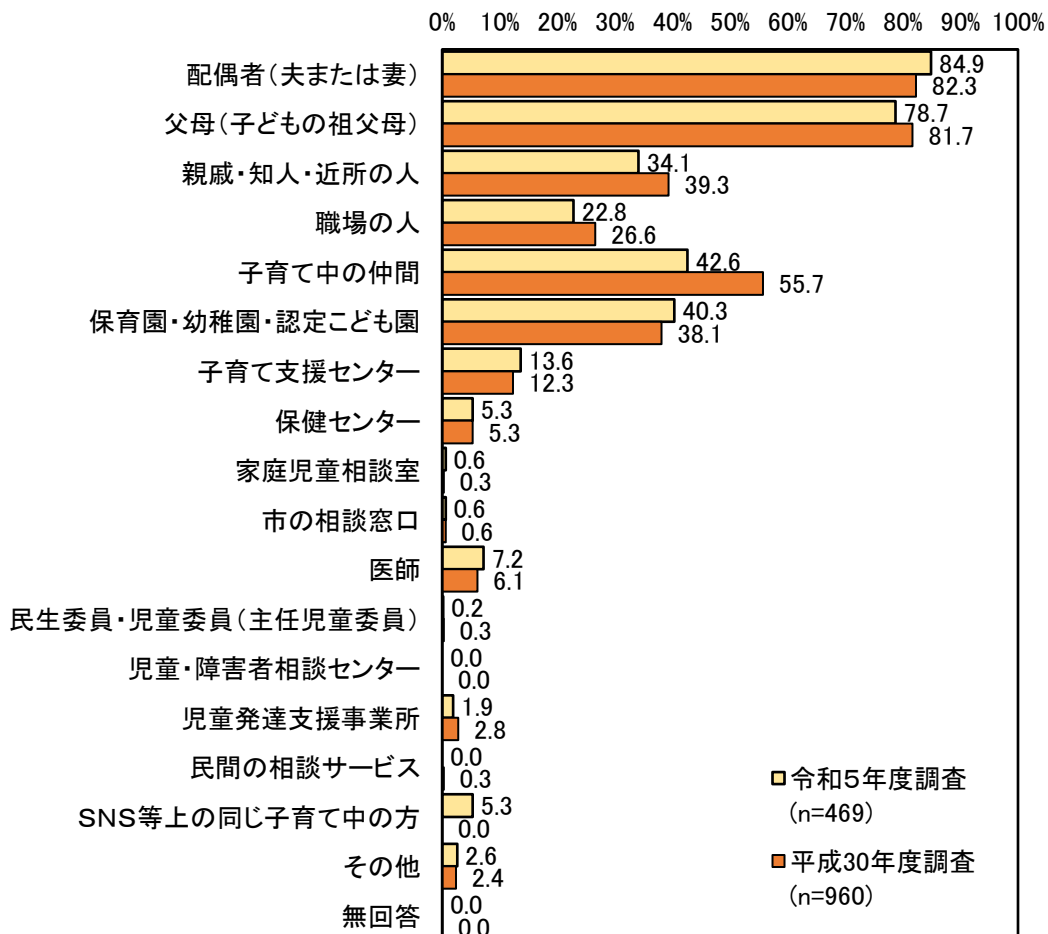


(問12で「1.」に○をつけた方にかがいます。)

問12-1 子育てに関する悩みや不安をどなたに相談していますか。《あてはまるものすべてに○》

「配偶者（夫または妻）」が84.9%で最も多く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が78.7%、「子育て中の仲間」が42.6%、「保育園・幼稚園・認定こども園」が40.3%、「親戚・知人・近所の人」が34.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「子育て中の仲間」が減少しています。



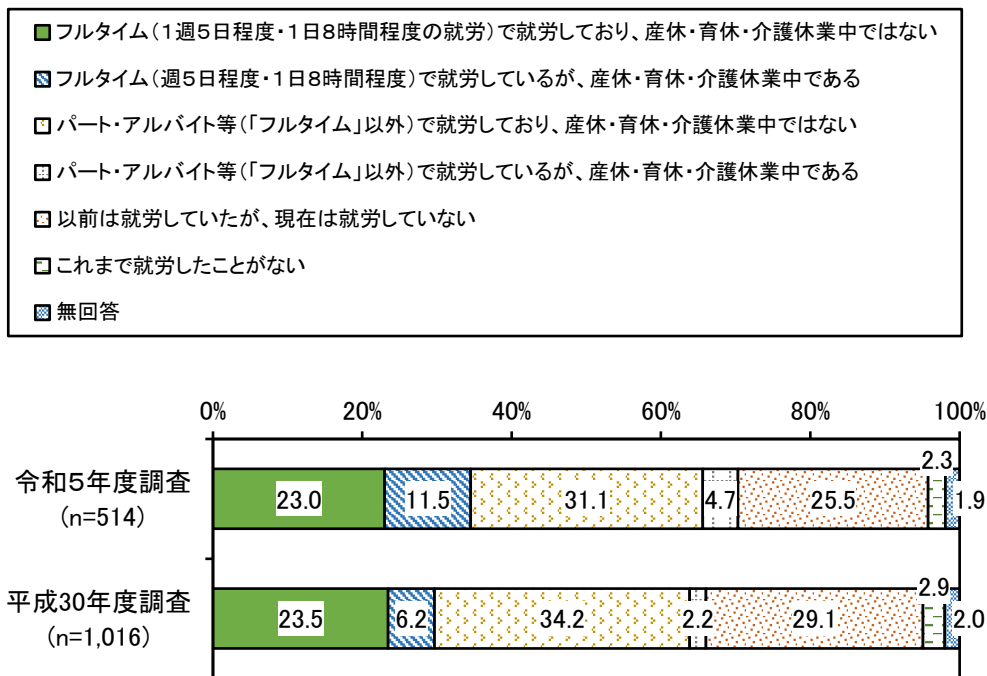
(3) あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。《1つに○》

ア. 母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.1%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.5%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.0%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が11.5%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が4.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、『フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）』が増加しています。



【子どもの年齢別クロス】

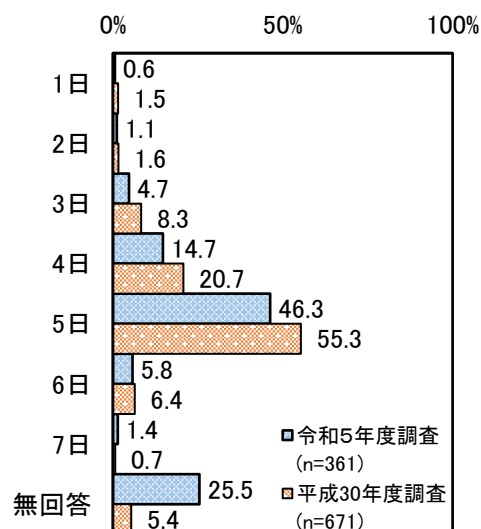
単位：%

	回答者数 (人)	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム (週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	514	23.0	11.5	31.1	4.7	25.5	2.3	1.9
6歳	64	28.1	-	53.1	-	18.8	-	-
5歳	100	29.0	3.0	36.0	3.0	20.0	5.0	4.0
4歳	80	22.5	3.8	43.8	3.8	20.0	3.8	2.5
3歳	66	27.3	6.1	22.7	1.5	36.4	4.5	1.5
2歳	58	29.3	8.6	31.0	3.4	25.9	-	1.7
1歳	71	15.5	25.4	21.1	5.6	31.0	1.4	-
0歳	59	5.1	40.7	5.1	15.3	32.2	-	1.7

(ア) 1週あたり就労日数

「5日」が46.3%で最も多く、次いで「4日」が14.7%、「6日」が5.8%、「3日」が4.7%、「7日」が1.4%となっています。

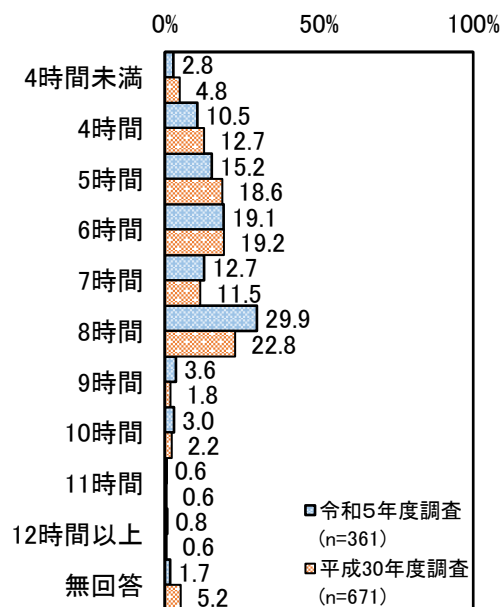
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(イ) 1日あたり就労時間

「8時間」が29.9%で最も多く、次いで「6時間」が19.1%、「5時間」が15.2%、「7時間」が12.7%、「4時間」が10.5%となっています。

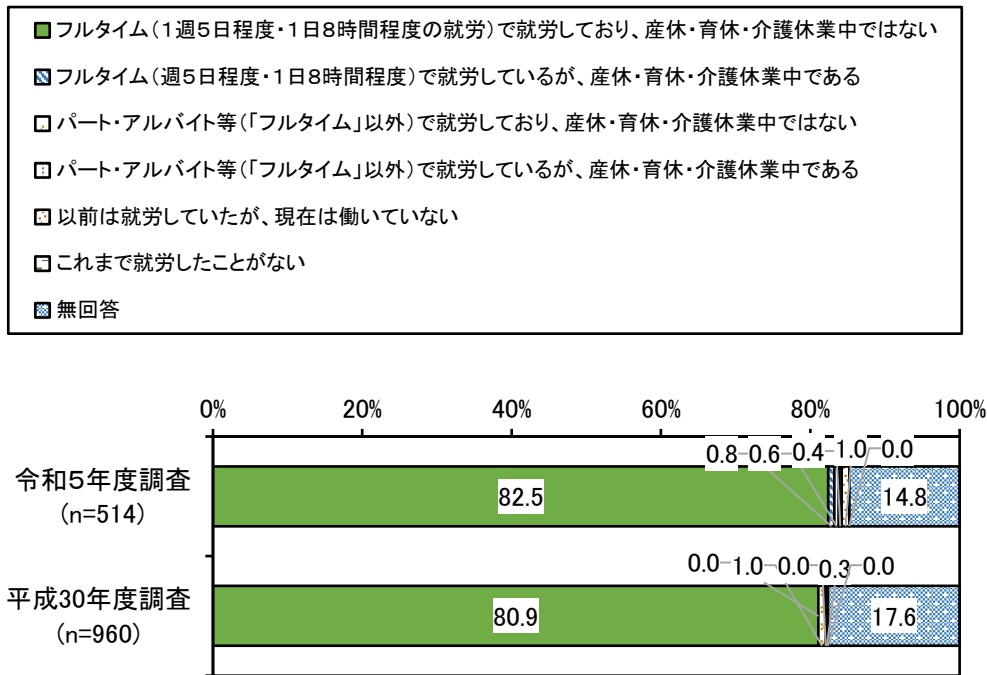
平成30年度調査と比較すると、「8時間」が7.1ポイント増加しています。



イ. 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が82.5%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は働いていない」が1.0%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.8%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.4%となっっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別クロス】

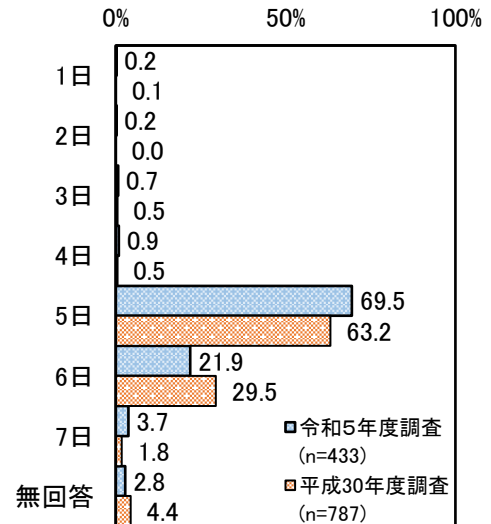
単位：%

	回答者数 (人)	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は働いていない	これまで就労したことがない	無回答
全体	514	82.5	0.8	0.6	0.4	1.0	-	14.8
6歳	64	85.9	-	-	-	-	-	14.1
5歳	100	82.0	-	-	-	2.0	-	16.0
4歳	80	83.8	-	1.3	-	2.5	-	12.5
3歳	66	75.8	-	1.5	1.5	-	-	21.2
2歳	58	91.4	-	1.7	-	1.7	-	5.2
1歳	71	88.7	-	-	-	-	-	11.3
0歳	59	71.2	6.8	-	-	-	-	22.0

(ア) 1週あたり就労日数

「5日」が69.5%で最も多く、次いで「6日」が21.9%、「7日」が3.7%、「4日」が0.9%、「3日」が0.7%となっています。

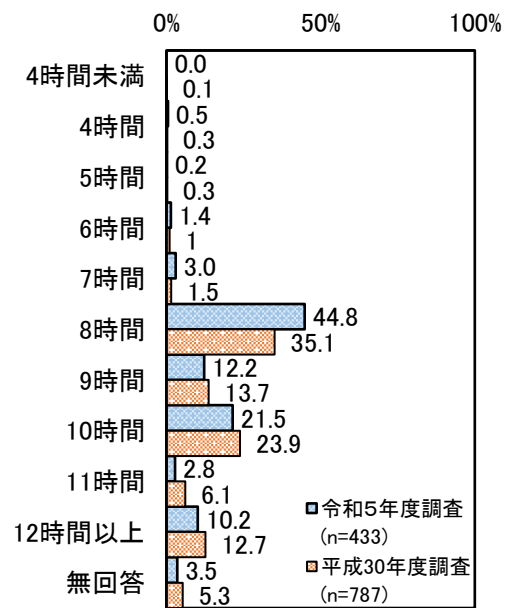
平成30年度調査と比較すると、「6日」が7.6ポイント減少しています。



(イ) 1日あたり就労時間

「8時間」が44.8%で最も多く、次いで「10時間」が21.5%、「9時間」が12.2%、「12時間以上」が10.2%、「7時間」が3.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間」が9.7ポイント増加しています。



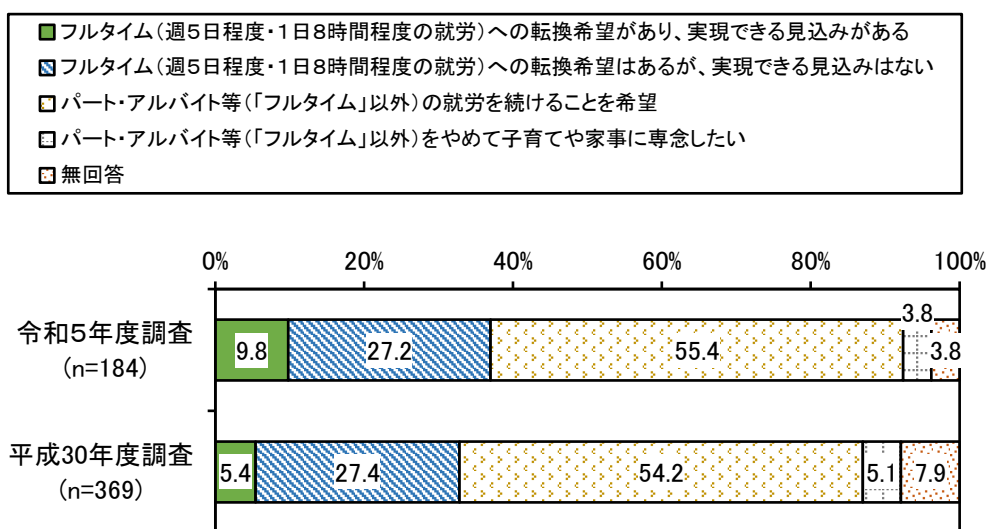
問13の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。《1つに○》

ア. 母親

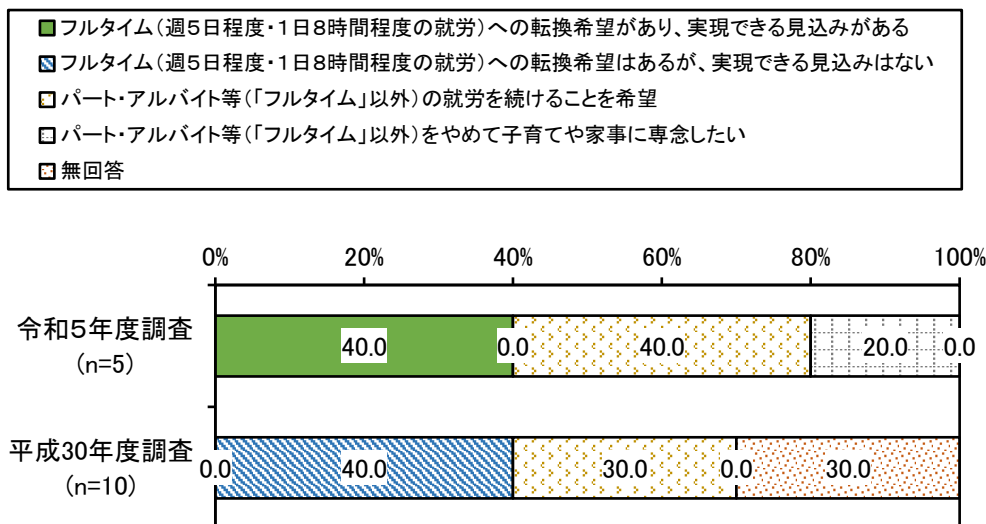
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が55.4%で最も多く、次いで「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.2%、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.8%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」が3.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が4.4ポイント増加しています。



イ. 父親

「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」と「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」がともに40.0%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」が20.0%となっています。



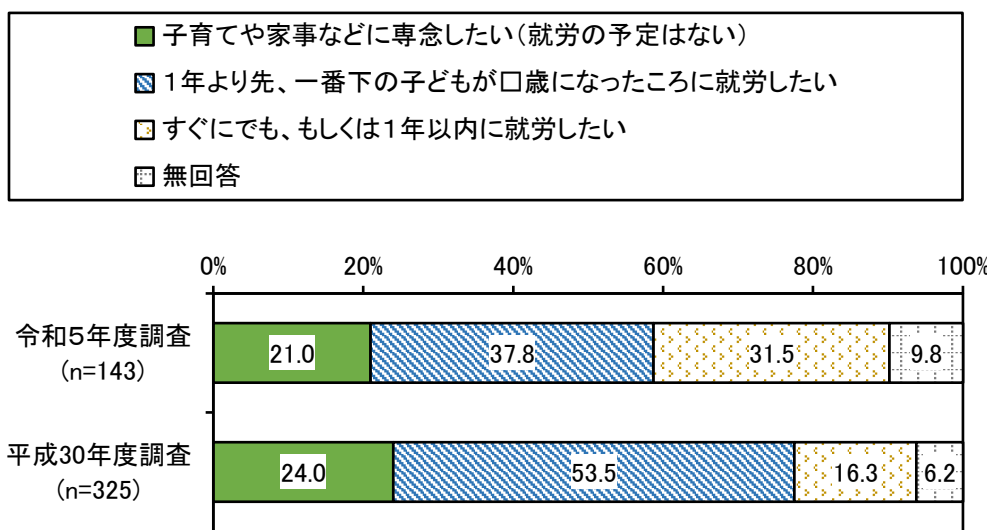
問13の(1)または(2)で「5.」または「6.」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。

問13-2 就労したいという希望はありますか。《1つに○》

ア. 母親

「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が37.8%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が31.5%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が21.0%となっています。

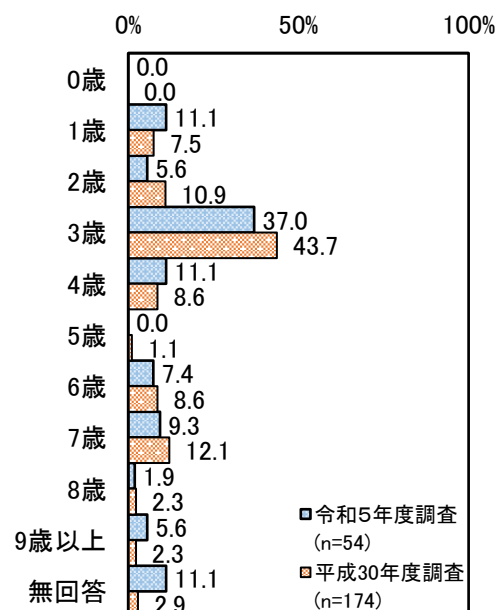
平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が15.2ポイント増加しています。



(ア) 一番下の子どもが()歳になったころ

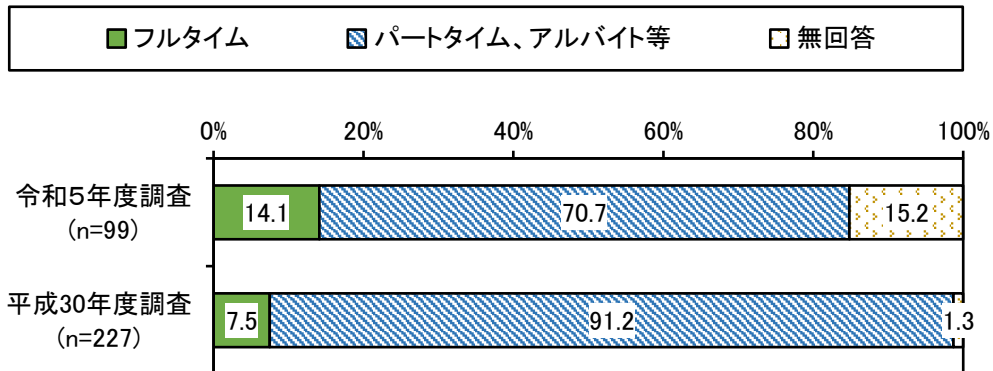
「3歳」が37.0%で最も多く、次いで「1歳」が11.1%、「4歳」が11.1%、「7歳」が9.3%、「6歳」が7.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」が3.6ポイント増加しています。



(イ) 希望する就労形態

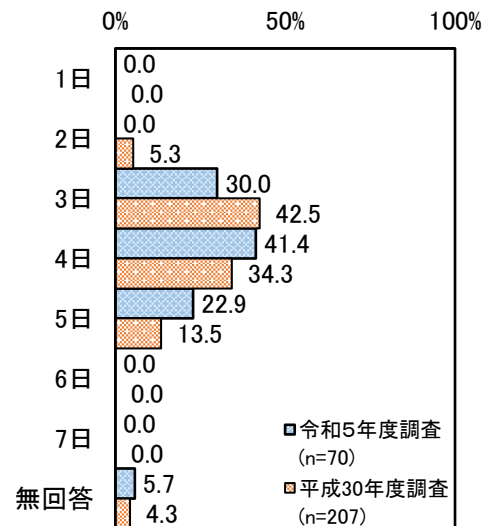
「フルタイム」が14.1%、「パートタイム、アルバイト等」が70.7%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「フルタイム」が6.6ポイント増加しています。



①希望1週あたり就労日数

「4日」が41.4%で最も多く、次いで「3日」が30.0%、「5日」が22.9%となっています。

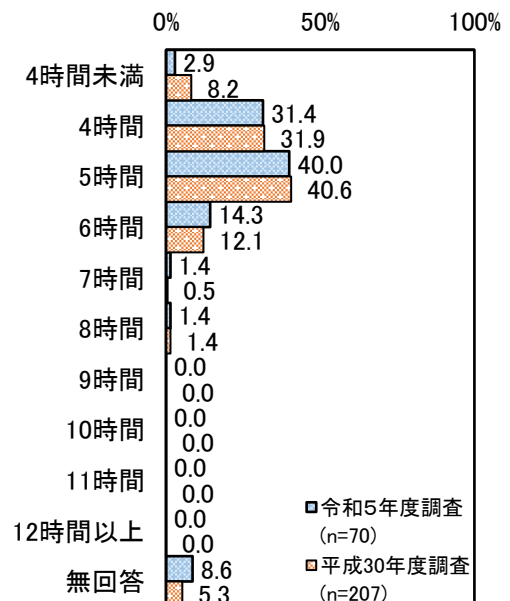
平成30年度調査と比較すると、「5日」が9.4ポイント増加しています。



②希望1日あたり就労時間

「5時間」が40.0%で最も多く、次いで「4時間」が31.4%、「6時間」が14.3%、「4時間未満」が2.9%、「7時間」と「8時間」がともに1.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



イ. 父親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が1件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。

(ア) 一番下の子どもが（ ）歳になったころ

「2歳」が1件となっています。

平成30年度調査では、有効回答がありませんでした。

(イ) 希望する就労形態

「フルタイム」が2件、「パートタイム、アルバイト等」が1件となっています。

平成30年度調査では、有効回答がありませんでした。

①希望1週あたり就労日数

「4日」が1件となっています。

平成30年度調査では、有効回答がありませんでした。

②希望1日あたり就労時間

「6時間」が1件となっています。

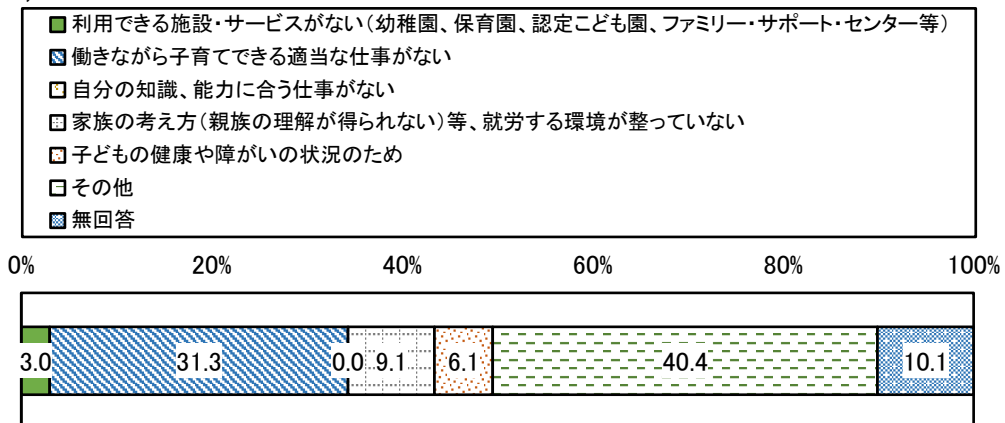
平成30年度調査では、有効回答がありませんでした。

問13-2の(1)または(2)で「2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」または「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に〇をつけた方にうかがいます。
問13-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。《1つに〇》

ア. 母親

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が31.3%で最も多く、次いで「家族の考え方(親族の理解が得られない)等、就労する環境が整っていない」が9.1%、「子どもの健康や障がいの状況のため」が6.1%、「利用できる施設・サービスがない(幼稚園、保育園、認定こども園、ファミリー・サポート・センター等)」が3.0%となっています。

(n=99)



イ. 父親

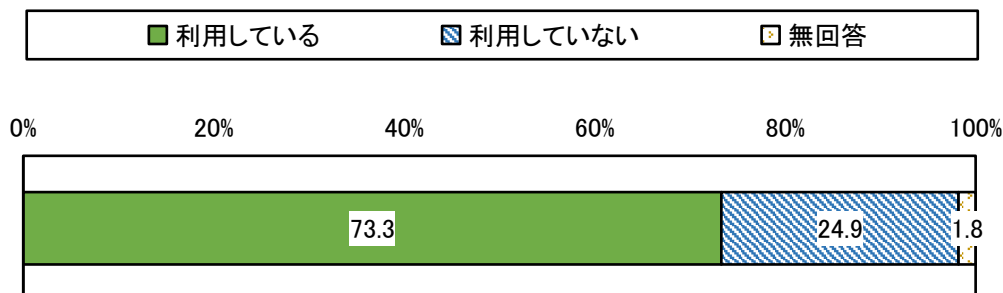
「その他」が3件となっています。

(4) あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問14 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。《1つに○》

「利用している」が73.3%、「利用していない」が24.9%となっています。

(n=514)

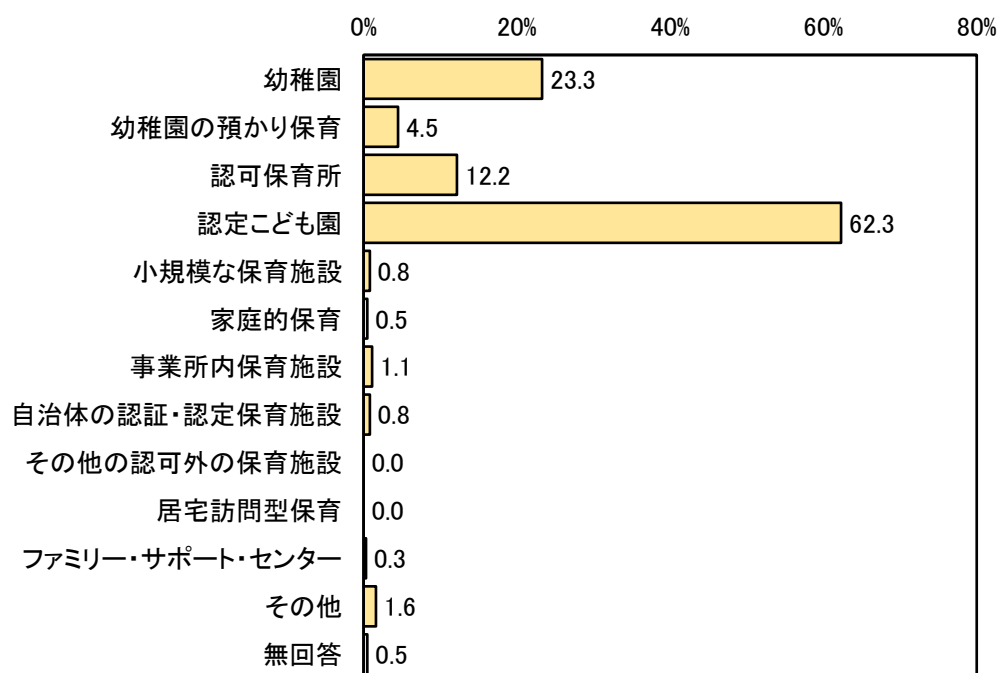


(問14で「1.利用している」に○をつけた方にかがいます。)

問14-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。《あてはまるものすべてに○》

「認定こども園」が62.3%で最も多く、次いで「幼稚園」が23.3%、「認可保育所」が12.2%、「幼稚園の預かり保育」が4.5%、「事業所内保育施設」が1.1%となっています。

(n=377)



【子どもの年齢別クロス】

年齢別で見ると、いずれの年齢も「認定こども園」が最も多くなっています。

単位：％

	回答者数 (人)	幼稚園	幼稚園の預 かり保育	認可保育所	認定こども 園	小規模な保 育施設	家庭的保育	事業所内保 育施設	自治体の認 証・認定保 育施設	その他の認 可外の保 育施設	居宅訪問型 保育	ファミ リー・サ ポート・セ ンター	その他	無回答
全体	377	23.3	4.5	12.2	62.3	0.8	0.5	1.1	0.8	-	-	0.3	1.6	0.5
6歳	61	31.1	6.6	9.8	59.0	-	3.3	-	-	-	-	-	-	-
5歳	98	25.5	7.1	9.2	64.3	2.0	-	-	-	-	-	-	2.0	1.0
4歳	78	17.9	1.3	12.8	67.9	-	-	-	-	-	-	1.3	-	1.3
3歳	56	35.7	-	16.1	50.0	-	-	-	3.6	-	-	-	3.6	-
2歳	37	10.8	13.5	10.8	64.9	2.7	-	2.7	2.7	-	-	-	2.7	-
1歳	28	7.1	-	25.0	57.1	-	-	10.7	-	-	-	-	3.6	-
0歳	7	-	-	14.3	85.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	12	33.3	-	-	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

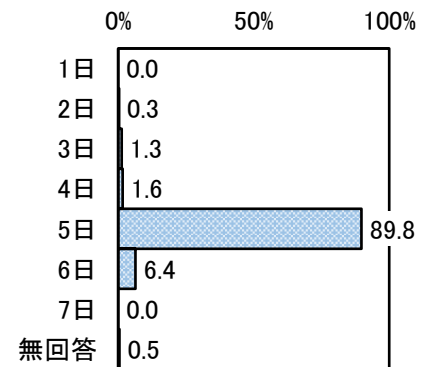
問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入ください。

ア. 現在の利用状況

(ア) 1週当たり利用日数

(n=373)

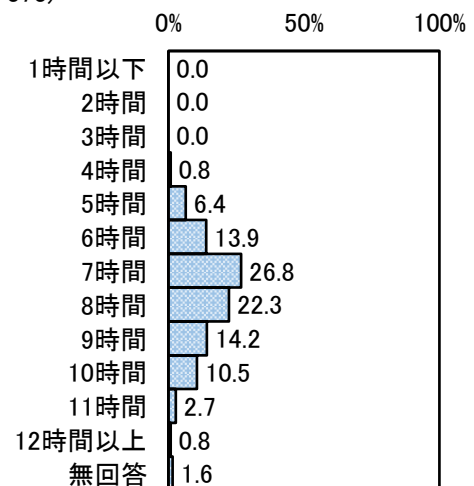
「5日」が89.8%と最も高くなっています。



(イ) 1日当たり利用時間

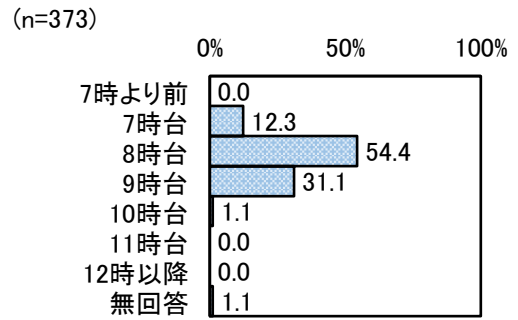
(n=373)

「7時間」が26.8%で最も多く、次いで「8時間」が22.3%、「9時間」が14.2%、「6時間」が13.9%、「10時間」が10.5%となっています。



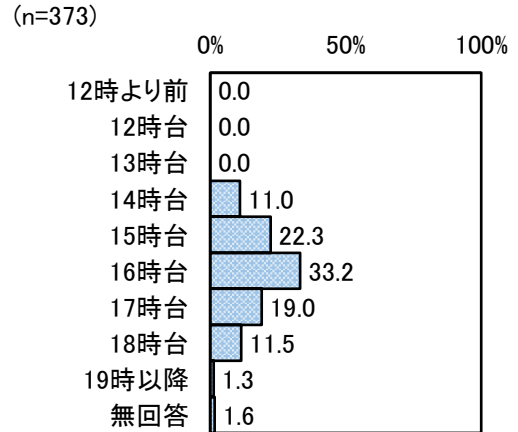
(ウ) 時間帯 利用開始時刻

「8時台」が 54.4%で最も多く、次いで「9時台」が 31.1%、「7時台」が 12.3%、「10時台」が 1.1%となっています。



(エ) 時間帯 利用終了時刻

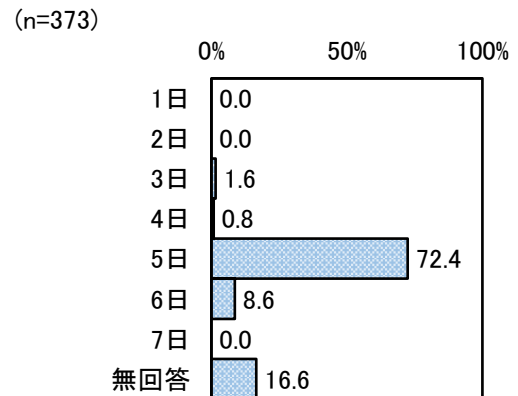
「16時台」が 33.2%で最も多く、次いで「15時台」が 22.3%、「17時台」が 19.0%、「18時台」が 11.5%、「14時台」が 11.0%となっています。



イ. 今後の利用希望

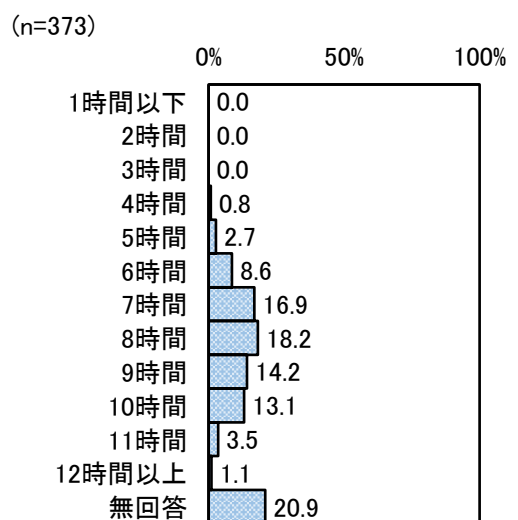
(ア) 1週当たり利用日数

「5日」が 72.4%と最も高くなっています。



(イ) 1日当たり利用時間

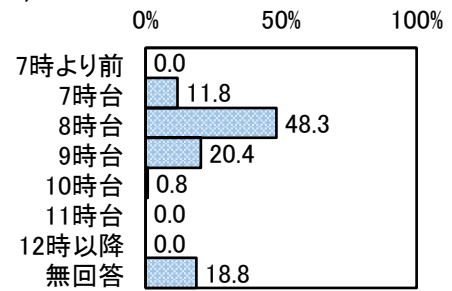
「8時間」が 18.2%で最も多く、次いで「7時間」が 16.9%、「9時間」が 14.2%、「10時間」が 13.1%、「6時間」が 8.6%となっています。



(ウ) 時間帯 利用開始時刻

「8時台」が48.3%で最も多く、次いで「9時台」が20.4%、「7時台」が11.8%、「10時台」が0.8%、となっています。

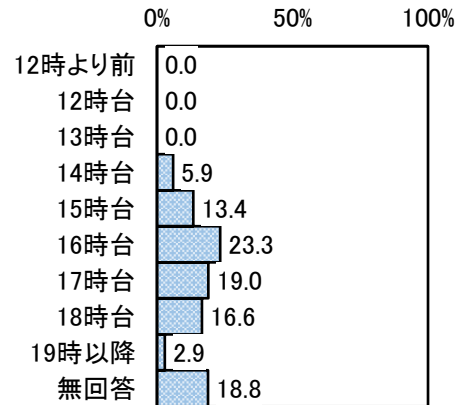
(n=373)



(エ) 時間帯 利用終了時刻

「16時台」が23.3%で最も多く、次いで「17時台」が19.0%、「18時台」が16.6%、「15時台」が13.4%、「14時台」が5.9%となっています。

(n=373)

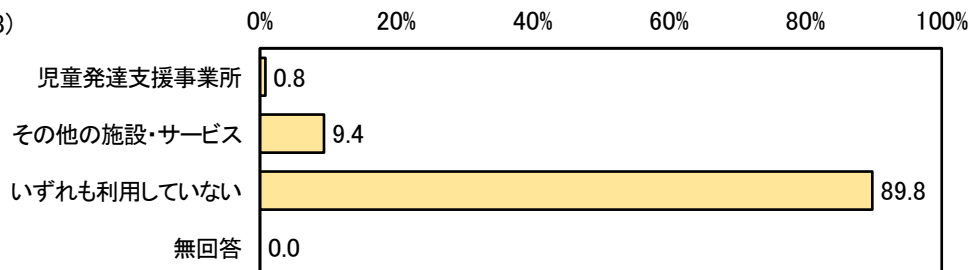


(問14で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-3 次の選択肢の中で利用している施設はありますか。《あてはまるものすべてに○》

「いずれも利用していない」が89.8%で最も多く、次いで「その他の施設・サービス」が9.4%、「児童発達支援事業所（発達に不安のある子どもや保護者を支援する施設）」が0.8%となっています。

(n=128)



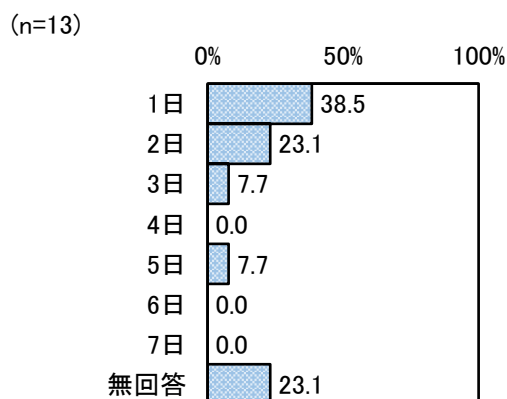
(問14-3で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問14-4 施設・サービスの利用について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

ア. 現在の利用状況

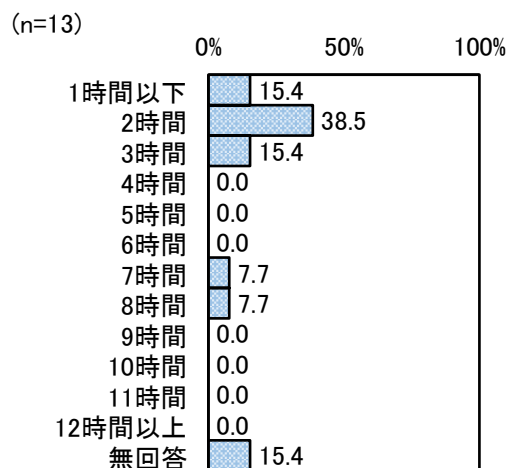
(ア) 1週当たり利用日数

「1日」が38.5%で最も多く、次いで「2日」が23.1%、「3日」と「5日」がともに7.7%となっています。



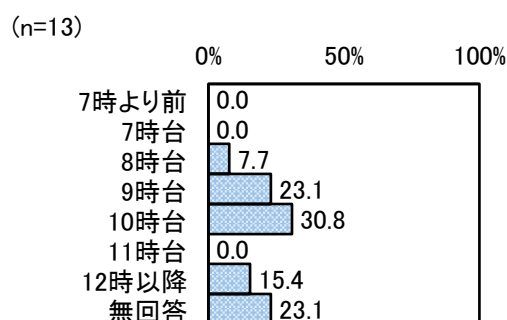
(イ) 1日当たり利用時間

「2時間」が38.5%で最も多く、次いで「1時間以下」と「3時間」がともに15.4%、「7時間」と「8時間」がともに7.7%となっています。



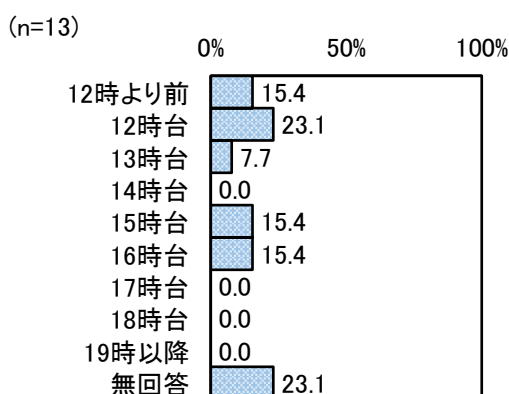
(ウ) 時間帯 利用開始時刻

「10時台」が30.8%で最も多く、次いで「9時台」が23.1%、「12時以降」が15.4%、「8時台」が7.7%となっています。



(エ) 時間帯 利用終了時刻

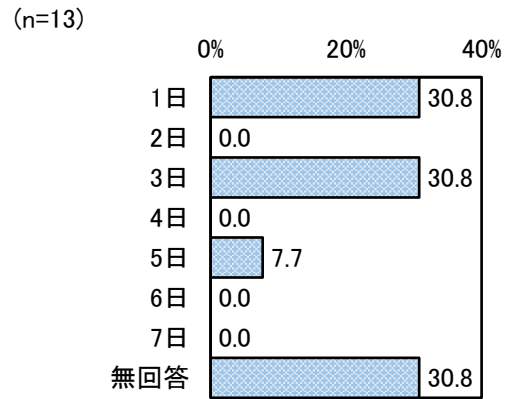
「12時台」が23.1%で最も多く、次いで「12時より前」と「15時台」と「16時台」がいずれも15.4%、「13時台」が7.7%となっています。



イ. 今後の利用希望

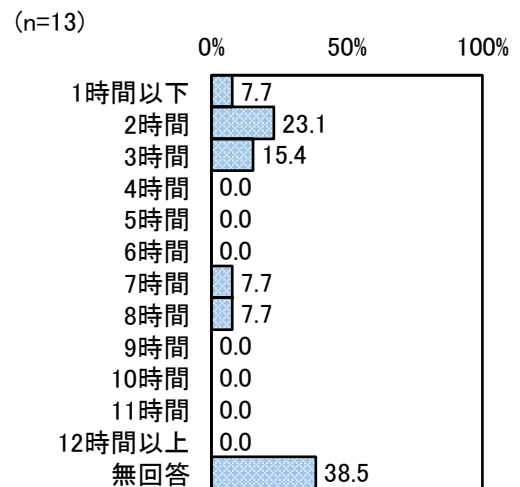
(ア) 1週当たり利用日数

「1日」と「3日」がともに 30.8%で最も多く、次いで「5日」が 7.7%となっています。



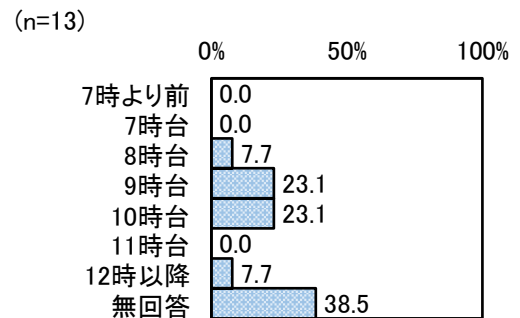
(イ) 1日当たり利用時間

「2時間」が 23.1%で最も多く、次いで「3時間」が 15.4%、「1時間以下」と「7時間」と「8時間」がいずれも 7.7%となっています。



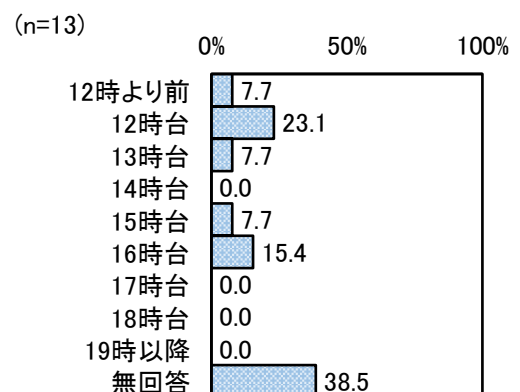
(ウ) 時間帯 利用開始時刻

「9時台」と「10時台」がともに 23.1%で最も多く、次いで「8時台」と「12時以降」がともに 7.7%となっています。



(エ) 時間帯 利用終了時刻

「12時台」が 23.1%で最も多く、次いで「16時台」が 15.4%、「12時より前」と「13時台」と「15時台」がいずれも 7.7%となっています。

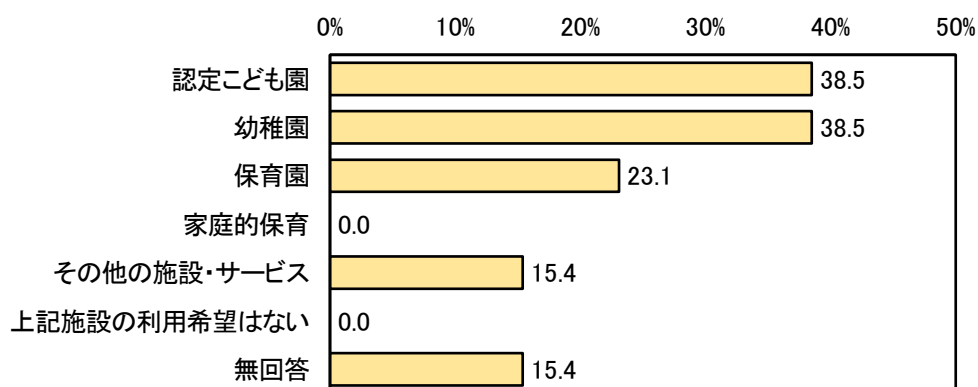


(問14-3で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にかがいます。)

問14-5 次の選択肢の中で利用したい施設はありますか。また、お子さんが何歳の時から利用したいですか。《あてはまるものすべてに○》

「認定こども園」と「幼稚園」がともに38.5%で最も多く、次いで「保育園」が23.1%、「その他の施設・サービス」が15.4%となっています。

(n=13)



ア. 認定こども園 利用したい年齢

「1歳」が1件、「2歳」が1件、「3歳以上」が3件となっています。

イ. 幼稚園 利用したい年齢

「2歳」が1件、「3歳以上」が4件となっています。

ウ. 保育園 利用したい年齢

「1歳」が1件、「2歳」が2件となっています。

エ. 家庭的保育 利用したい年齢

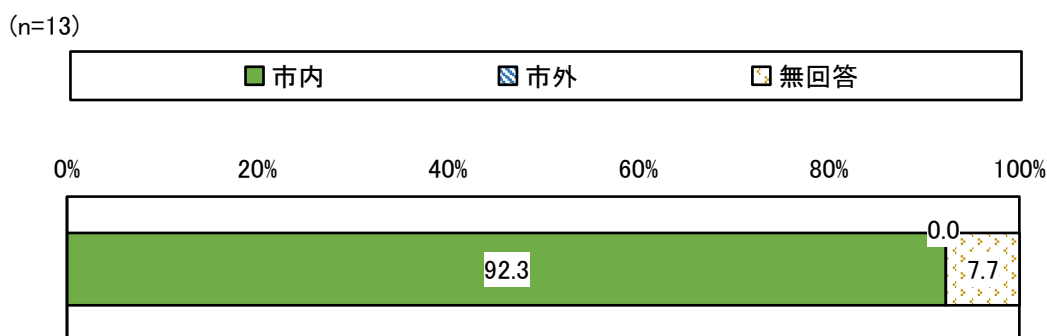
有効回答がありませんでした。

オ. その他の施設・サービス 利用したい年齢

有効回答がありませんでした。

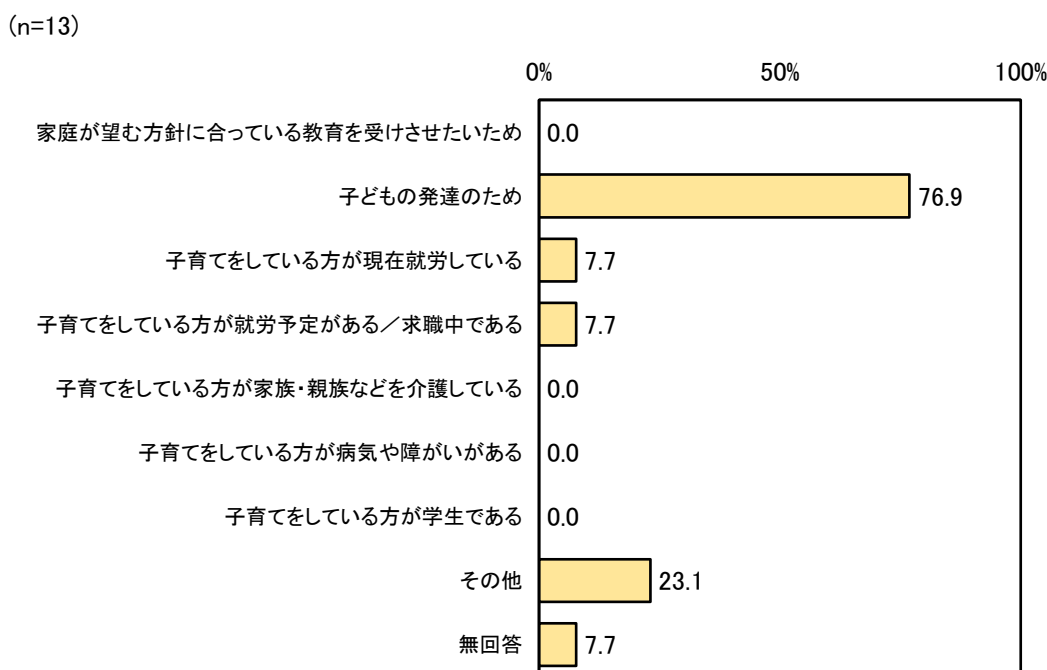
(問14-3で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にかがいます。)
 問14-6 現在利用している施設・サービスの場所はどちらですか。《1つに○》

「市内」が92.3%となっています。



(問14-3で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にかがいます。)
 問14-7 現在、施設・サービスを利用している理由は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

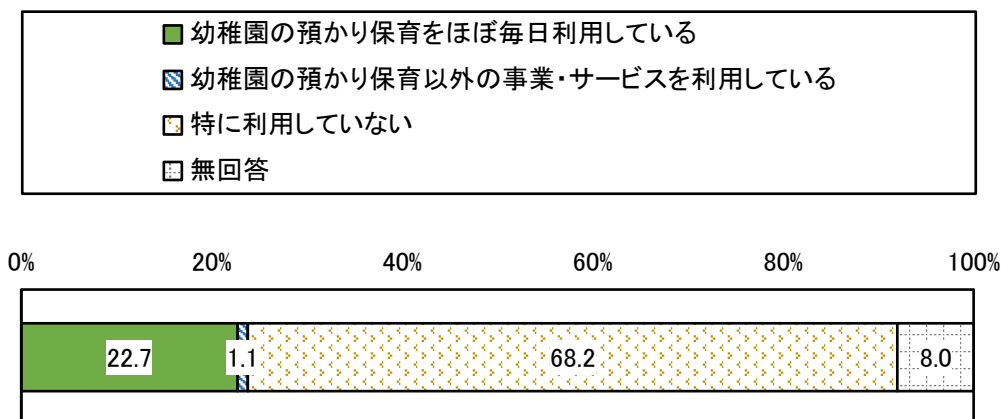
「子どもの発達のため」が76.9%で最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」と「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」がともに7.7%となっています。



(問14-1で「1. 幼稚園」に○をつけた方にうかがいます。)
 問14-8 現在、預かり保育を利用していますか。《1つに○》

「幼稚園の預かり保育をほぼ毎日利用している」が22.7%、「幼稚園の預かり保育以外の事業・サービスを利用している」が1.1%、「特に利用していない」が68.2%となっています。

(n=88)



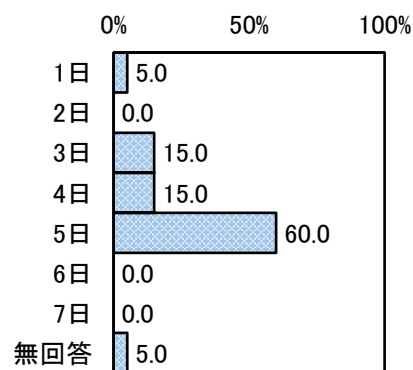
(問14-8で「1. 幼稚園の預かり保育をほぼ毎日利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-9 現在の利用状況について、最も多いパターンをご記入ください。

ア. 1週当たり利用日数

(n=20)

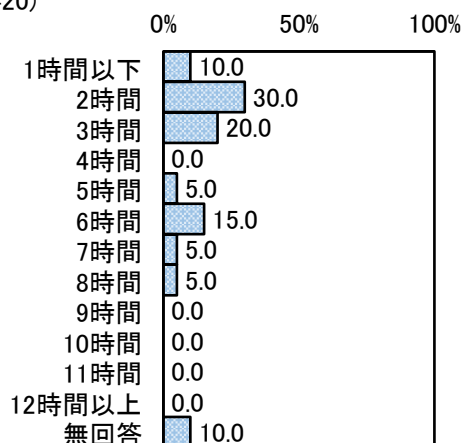
「5日」が60.0%で最も多く、次いで「3日」と「4日」がともに15.0%、「1日」が5.0%となっています。



イ. 1日当たり利用時間

(n=20)

「2時間」が30.0%で最も多く、次いで「3時間」が20.0%、「6時間」が15.0%、「1時間以下」が10.0%、「5時間」、「7時間」、「8時間」がいずれも5.0%となっています。



(問14-8で「2. 幼稚園の預かり保育以外の事業・サービスを利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-10 利用している保育事業・サービスは何ですか。《1つに○》

「その他」が1件となっています。

ア. 1週当たり利用日数

「3日」が1件となっています。

イ. 1日当たり利用時間

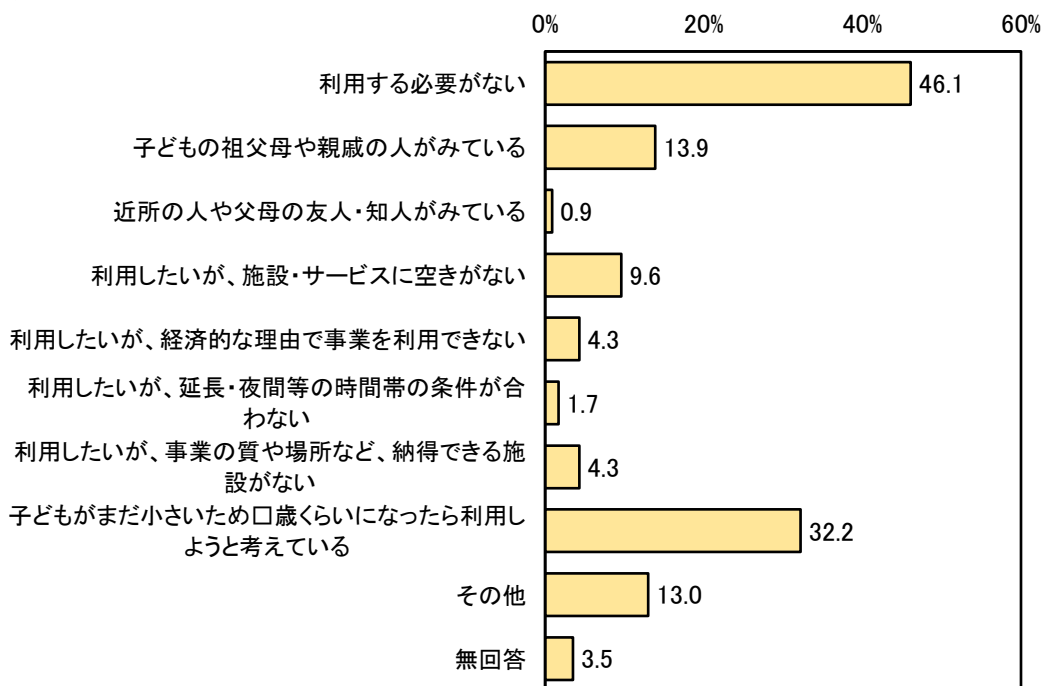
「6時間」が1件となっています。

(問14-3で「3. いずれも利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-11 現在、教育・保育事業や施設・サービス等を利用していない理由は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

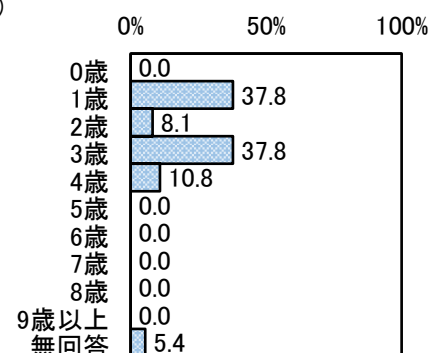
「利用する必要がない」が46.1%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」が32.2%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が13.9%、「利用したいが、施設・サービスに空きがない」が9.6%となっています。

(n=115)



【子どもがまだ小さいため：利用を希望する子どもの年齢】 (n=37)

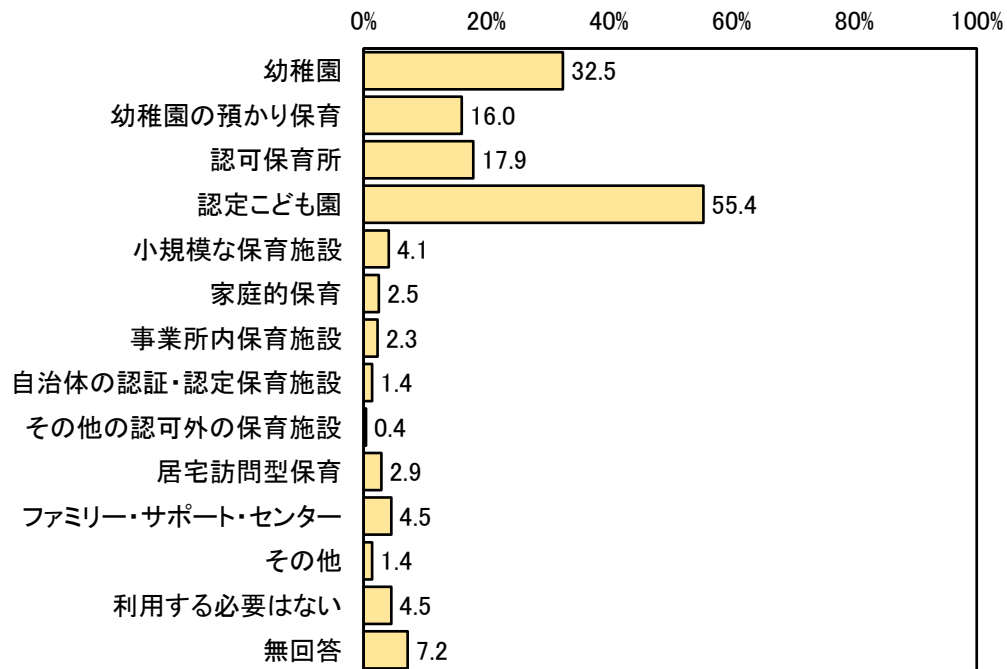
「1歳」と「3歳」が37.8%で最も多く、次いで「4歳」が10.8%、「2歳」が8.1%となっています。



問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。《あてはまるものすべてに○》

「認定こども園」が55.4%で最も多く、次いで「幼稚園」が32.5%、「認可保育所」が17.9%、「幼稚園の預かり保育」が16.0%、「ファミリー・サポート・センター」が4.5%となっています。

(n=514)

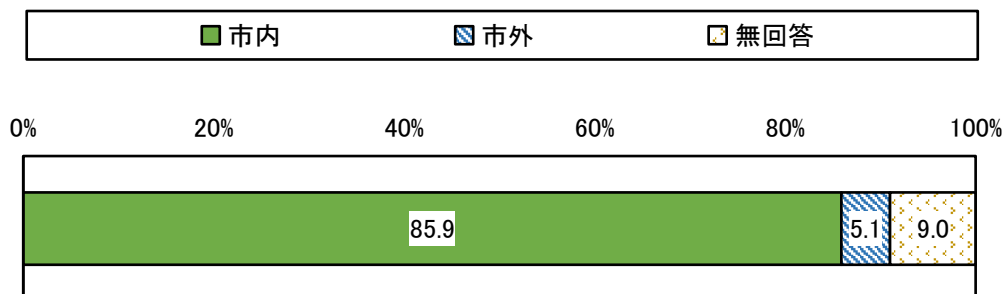


(問15で「1.」～「12.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問15-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。《1つに○》

「市内」が85.9%、「市外」が5.1%となっています。

(n=454)

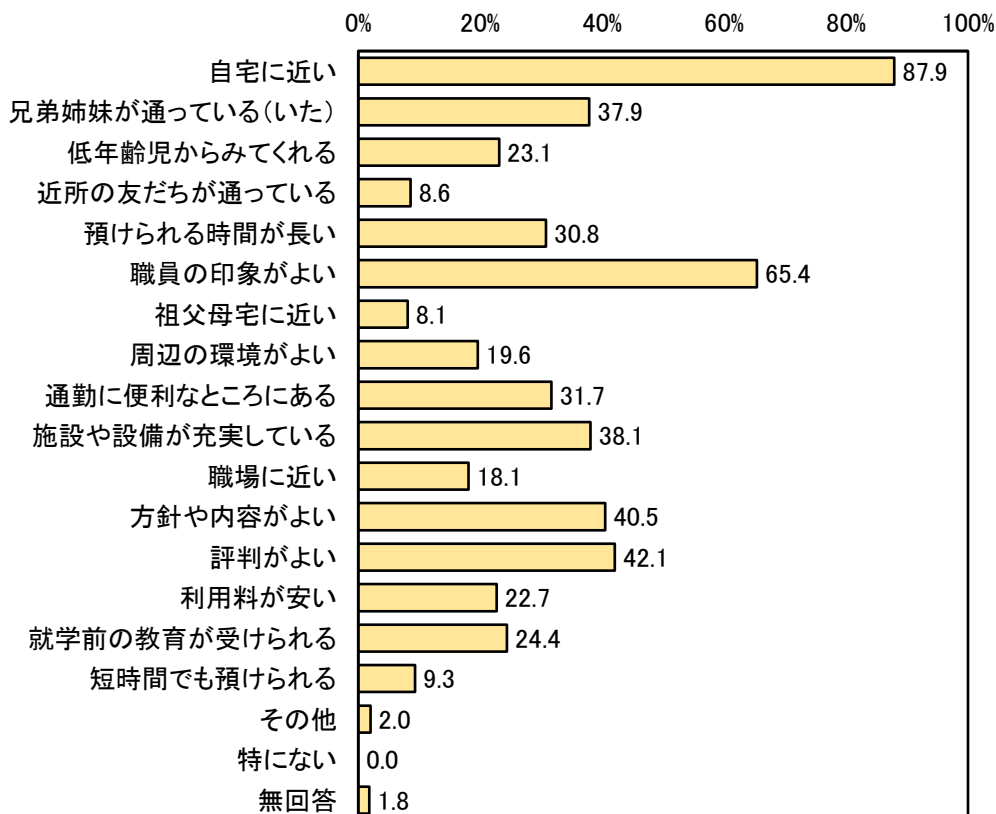


(問15で「1.」～「12.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問15-2 教育・保育事業や施設・サービスを選ぶとき、特にどのような点を重視しますか。《あてはまるものすべてに○》

「自宅に近い」が87.9%で最も多く、次いで「職員の印象がよい」が65.4%、「評判がよい」が42.1%、「方針や内容がよい」が40.5%、「施設や設備が充実している」が38.1%となっています。

(n=454)

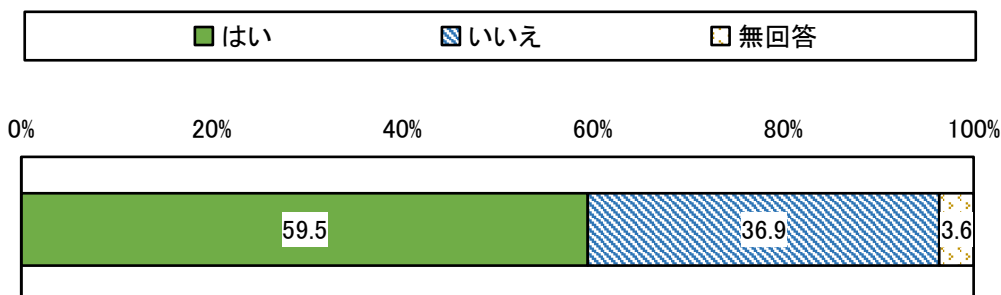


(問15で「1.」または「2.」のいずれかに加え、「3.」～「12.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問15-3 あなたは、特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。《1つに○》

「はい」が59.5%、「いいえ」が36.9%となっています。

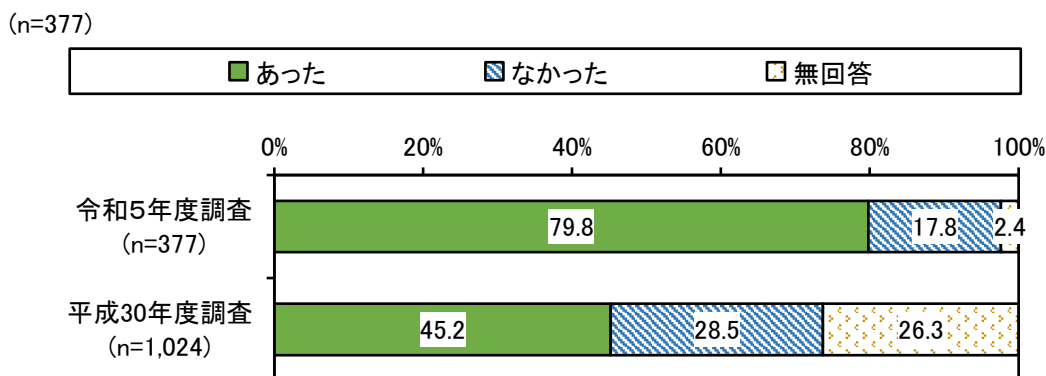
(n=84)



(5) あて名のお子さんが病気の際の対応について
(平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のみ)

問16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。《1つに○》

「あった」が79.8%、「なかった」が17.8%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「あった」が34.6ポイント増加しています。



【子どもの年齢別クロス】

年齢別でみると、特に2歳～3歳で「あった」が8割以上となっています。

単位：%

	回答者数 (人)	あった	なかった	無回答
全体	377	79.8	17.8	2.4
6歳	61	70.5	26.2	3.3
5歳	98	81.6	17.3	1.0
4歳	78	82.1	15.4	2.6
3歳	56	83.9	14.3	1.8
2歳	37	89.2	10.8	-
1歳	28	71.4	21.4	7.1
0歳	7	57.1	28.6	14.3

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、フルタイム、パート・アルバイトともに、産休・育休・介護休暇であるかどうかにかかわらず「あった」が8割以上となっています。

単位：%

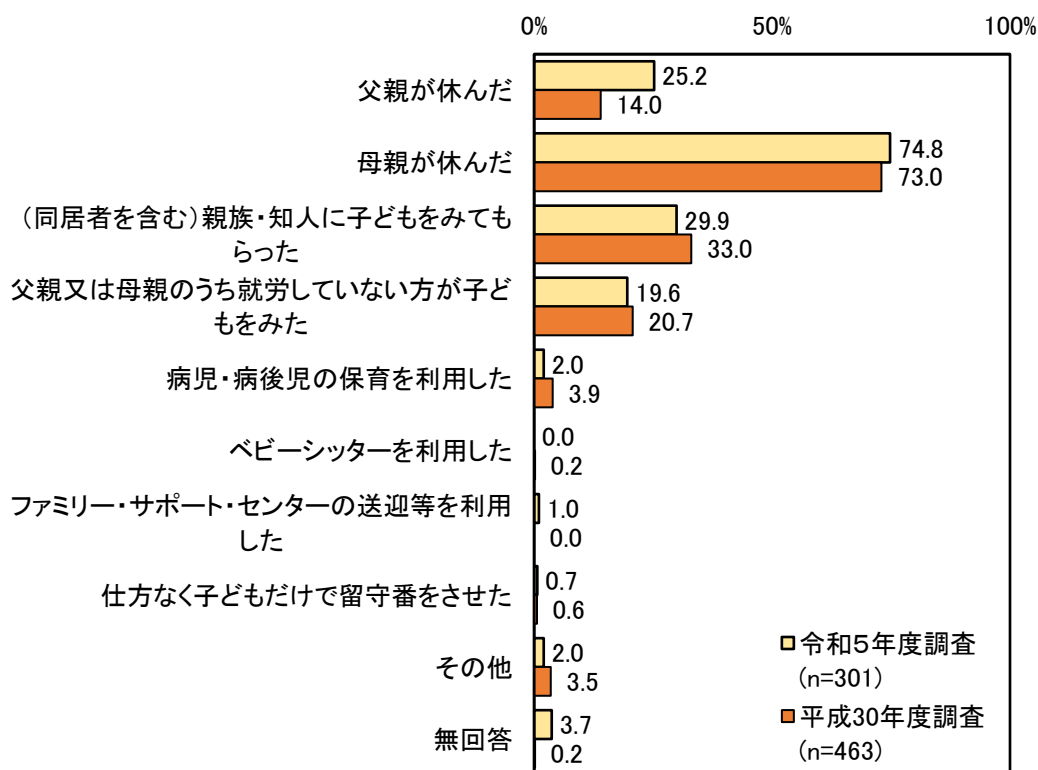
	回答者数 (人)	あった	なかった	無回答
全体	377	79.8	17.8	2.4
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	113	83.2	13.3	3.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	15	86.7	13.3	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	151	80.8	17.2	2.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	100.0	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	73	68.5	28.8	2.7
これまで就労したことがない	9	77.8	22.2	-

(問16で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。)

問16-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

「母親が休んだ」が74.8%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が29.9%、「父親が休んだ」が25.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が19.6%、「病児・病後児の保育を利用した」が2.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「父親が休んだ」が11.2ポイント増加しています。



【対処日数】

対処日数をみると、母親が休んだで「10日～19日」が約3割程度と高くなっています。

単位：%

	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5～9日	10～19日	20～29日	30～39日	40～49日	50日以上	無回答
父親が休んだ	76	15.8	23.7	10.5	2.6	21.1	15.8	1.3	3.9	0.0	0.0	5.3
母親が休んだ	225	1.8	5.8	8.9	2.7	19.1	28.9	10.7	5.3	3.6	1.8	11.6
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	90	10.0	15.6	21.1	2.2	24.4	13.3	2.2	0.0	0.0	0.0	11.1
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	59	0.0	11.9	6.8	1.7	13.6	16.9	16.9	8.5	0.0	1.7	22.0
病児・病後児の保育を利用した	6	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターの送迎等を利用した	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、2歳で「母親が休んだ」が9割以上と高くなっています。

単位：％

	回答者数 (人)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターの送迎等を利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	301	25.2	74.8	29.9	19.6	2.0	-	1.0	0.7	2.0	3.7
6歳	43	14.0	81.4	25.6	16.3	-	-	-	2.3	2.3	2.3
5歳	80	22.5	68.8	28.8	26.3	1.3	-	1.3	-	-	3.8
4歳	64	28.1	70.3	28.1	23.4	3.1	-	1.6	1.6	3.1	3.1
3歳	47	27.7	66.0	34.0	23.4	-	-	-	-	4.3	6.4
2歳	33	39.4	93.9	39.4	6.1	-	-	-	-	3.0	-
1歳	20	35.0	80.0	30.0	5.0	15.0	-	5.0	-	-	10.0
0歳	4	25.0	100.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別で見ると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「母親が休んだ」が9割以上と高くなっています。

単位：％

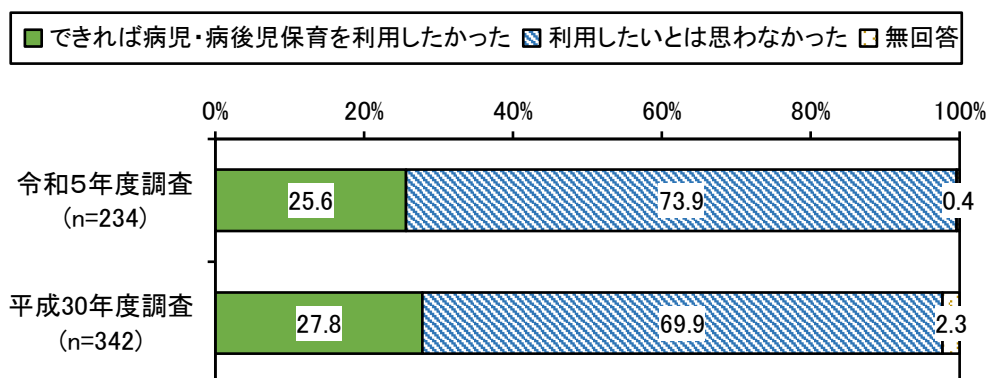
	回答者数 (人)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターの送迎等を利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	301	25.2	74.8	29.9	19.6	2.0	-	1.0	0.7	2.0	3.7
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	94	38.3	94.7	47.9	5.3	3.2	-	1.1	1.1	1.1	2.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	13	30.8	53.8	23.1	23.1	-	-	-	-	7.7	7.7
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	122	21.3	92.6	30.3	3.3	1.6	-	0.8	0.8	2.5	3.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	8	50.0	37.5	-	50.0	-	-	-	-	-	12.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	50	4.0	18.0	4.0	74.0	2.0	-	-	-	2.0	4.0
これまで就労したことがない	7	14.3	14.3	-	57.1	-	-	-	-	-	14.3

(問16-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問16-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

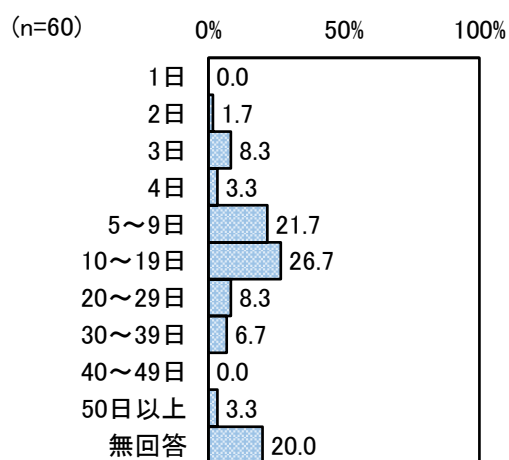
「できれば病児・病後児保育を利用したかった」が25.6%で最も多く、次いで「利用したいとは思わなかった」が73.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【病児・病後児保育施設等を利用したい日数】

「10～19日」が26.7%で最も多く、次いで「5～9日」が21.7%、「3日」と「20～29日」がともに8.3%、「30～39日」が6.7%となっています。

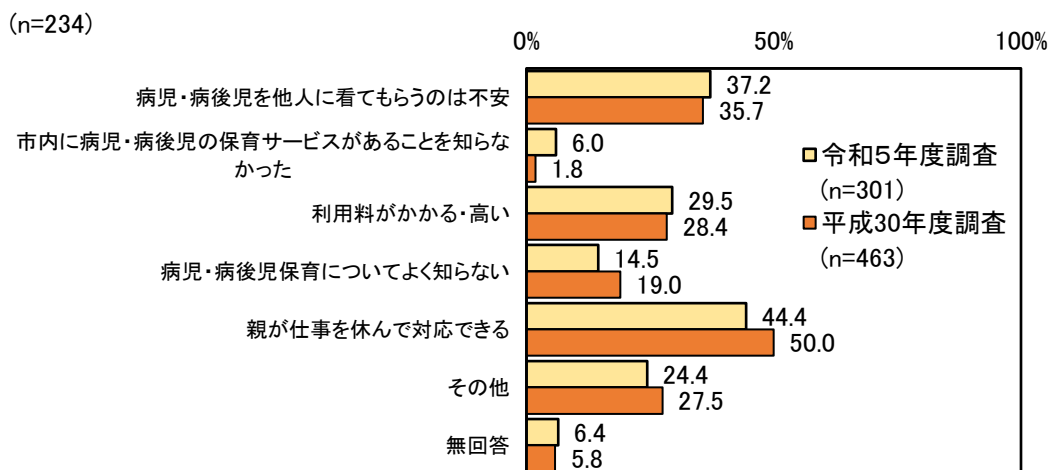


(問16-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問16-3 病児・病後児保育を利用したくても利用できなかった、あるいは利用したいと思わなかったという理由は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

「親が仕事を休んで対応できる」が44.4%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が37.2%、「利用料がかかる・高い」が29.5%、「病児・病後児保育についてよく知らない」が14.5%、「市内に病児・病後児の保育サービスがあることを知らなかった」が6.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「親が仕事を休んで対応できる」が5.6ポイント減少しています。

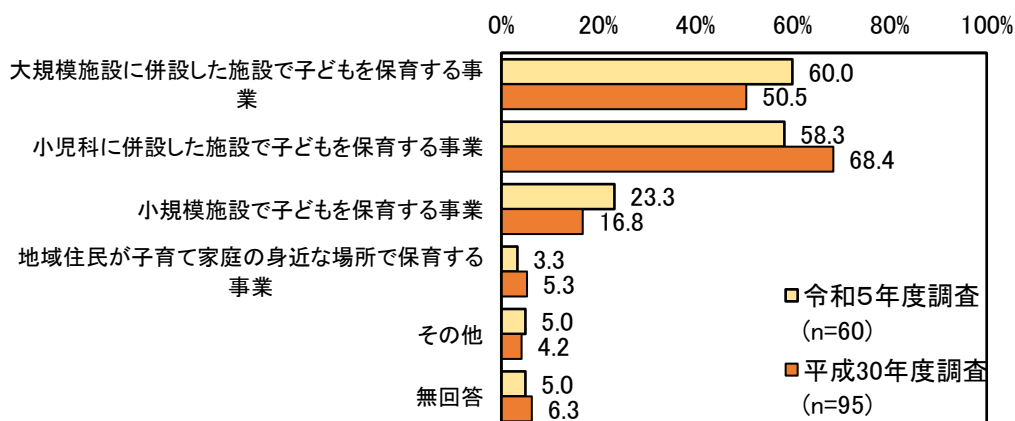


(問16-2で「1. できれば病児・病後児保育を利用したかった」に○をつけた方にうかがいます。)

問16-4 病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。《あてはまるものすべてに○》

「大規模施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が60.0%で最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が58.3%、「小規模施設で子どもを保育する事業」が23.3%、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が3.3%、「その他」が5.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「大規模施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「小規模施設で子どもを保育する事業」が増加し、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が減少しています。

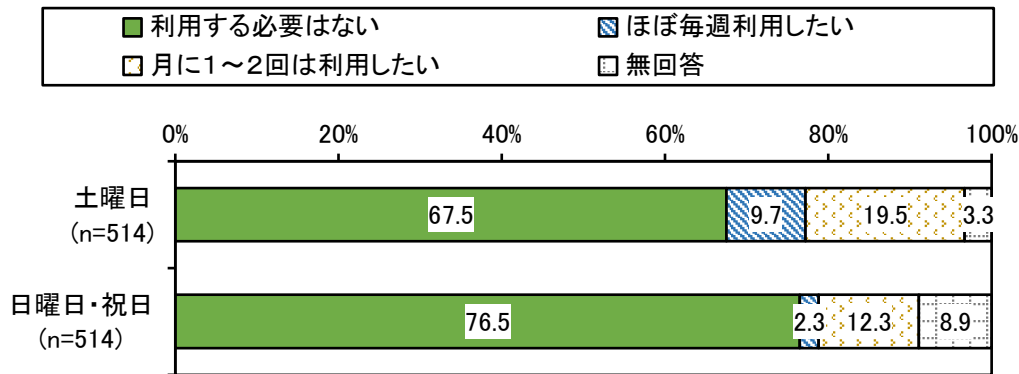


(6) あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

土曜日では、「利用する必要はない」が67.5%、「ほぼ毎週利用したい」が9.7%、「月に1～2回は利用したい」が19.5%となっています。

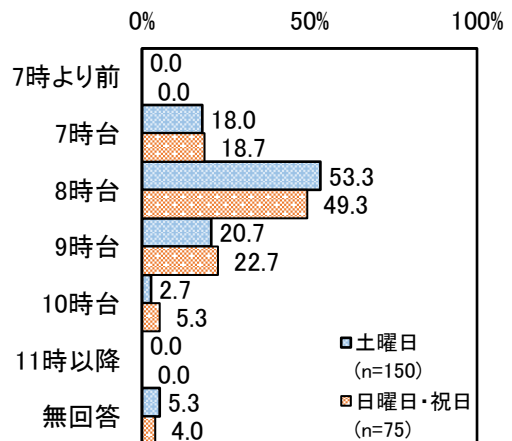
日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が76.5%、「ほぼ毎週利用したい」が2.3%、「月に1～2回は利用したい」が12.3%となっています。



(ア) 利用開始時間

土曜日では、「8時台」が53.3%で最も多く、次いで「9時台」が20.7%、「7時台」が18.0%、「10時台」が2.7%となっています。

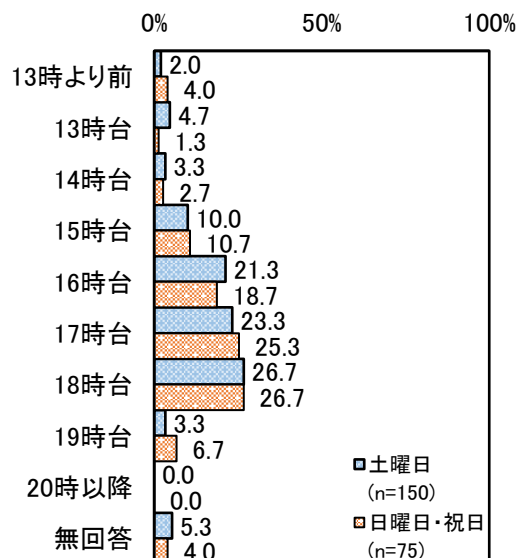
日曜日・祝日では、「8時台」が49.3%で最も多く、次いで「9時台」が22.7%、「7時台」が18.7%、「10時台」が5.3%となっています。



(イ) 利用終了時間

土曜日では、「18時台」が26.7%で最も多く、次いで「17時台」が23.3%、「16時台」が21.3%、「15時台」が10.0%、「13時台」が4.7%となっています。

日曜日・祝日では、「18時台」が26.7%で最も多く、次いで「17時台」が25.3%、「16時台」が21.3%、「19時台」が6.7%となっています。

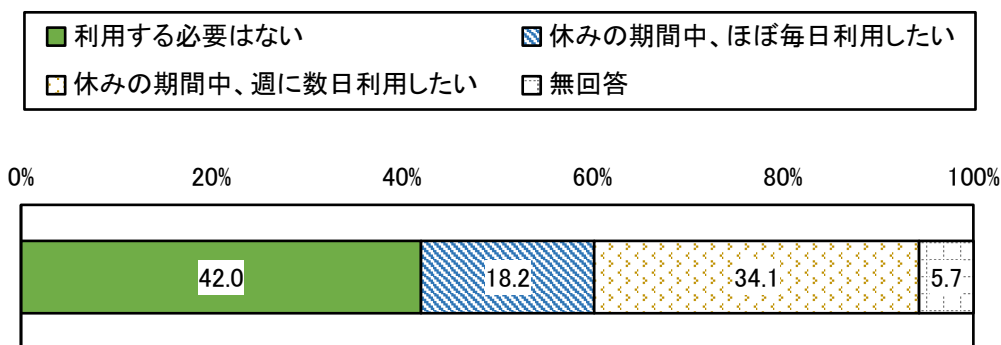


(現在、幼稚園を利用している方にかがいます。)

問18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

「利用する必要はない」が42.0%で最も多く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が18.2%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が34.1%となっています。

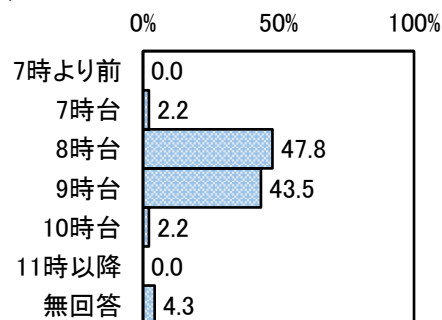
(n=88)



(ア) 利用開始時間

「8時台」が47.8%で最も多く、次いで「9時台」が43.5%、「7時台」と「10時台」がともに2.2%となっています。

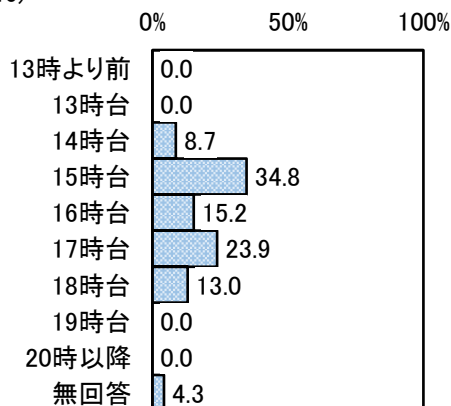
(n=46)



(イ) 利用終了時間

「15時台」が34.8%で最も多く、次いで「17時台」が23.9%、「16時台」が15.2%、「18時台」が13.0%、「14時台」が8.7%となっています。

(n=46)



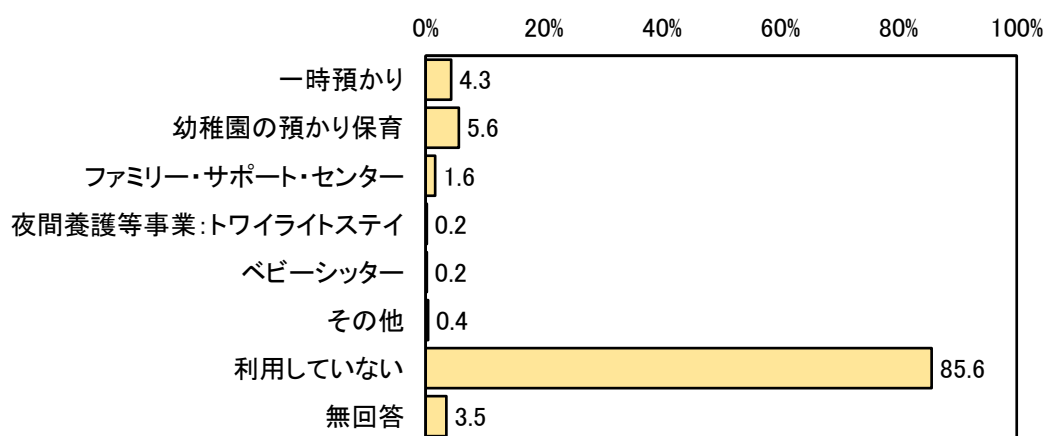
(7) あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問19 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
《あてはまるものすべてに○》

「幼稚園の預かり保育」が5.6%、「一時預かり」が4.3%、「ファミリー・サポート・センター」が1.6%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」と「ベビーシッター」がともに0.2%となっています。

また、「利用していない」が85.6%となっています。

(n=514)



【利用している事業】

利用している事業をみると、「一時預かり」では「30日以上」が、「幼稚園の預かり保育」では「5日～9日」が、それぞれ高くなっています。

単位：%

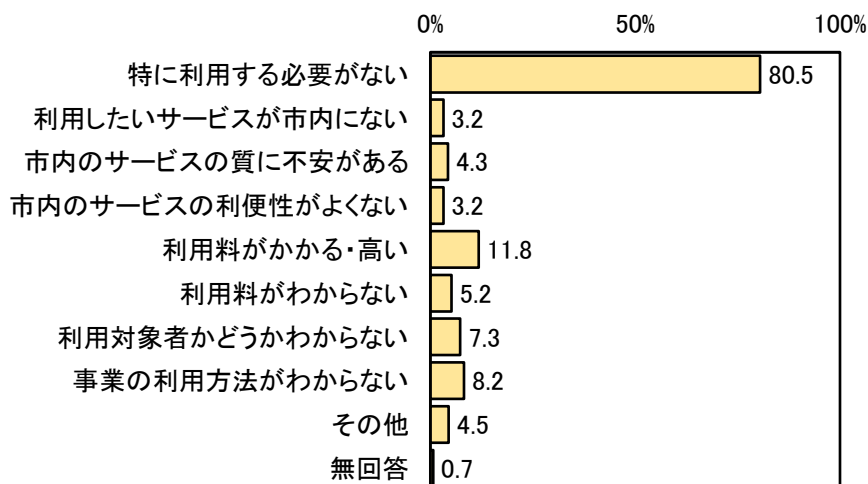
	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5～9日	10～14日	15～19日	20～29日	30日以上	無回答
一時預かり	22	4.5	0.0	0.0	0.0	22.7	18.2	0.0	0.0	36.4	18.2
幼稚園の預かり保育	29	0.0	6.9	3.4	0.0	34.5	10.3	6.9	6.9	10.3	20.7
ファミリー・サポート・センター	8	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5
夜間養護等事業：トワイライトステイ	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ベビーシッター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(問19で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

問19-1 現在利用していない理由は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

「特に利用する必要がない」が80.5%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が11.8%、「事業の利用方法がわからない」が8.2%、「利用対象者かどうかわからない」が7.3%、「利用料がわからない」が5.2%となっています。

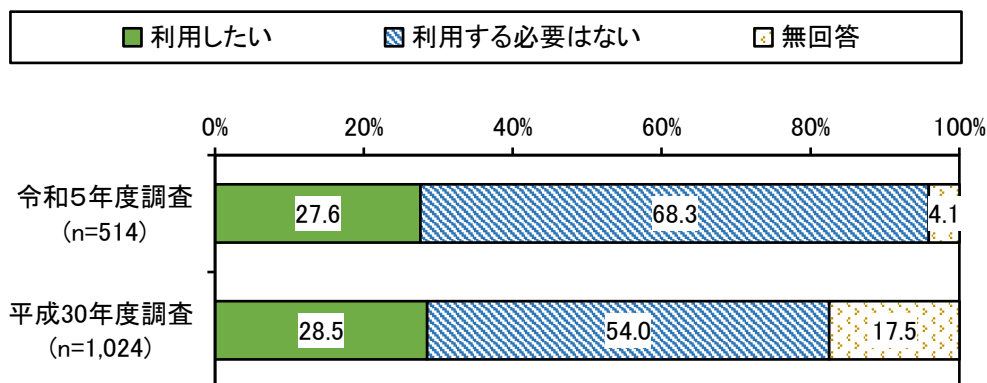
(n=440)



問20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいお子さんの保育を行う事業を利用する必要がありますか。

「利用したい」が27.6%、「利用する必要はない」が68.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」が14.3ポイント増加しています。

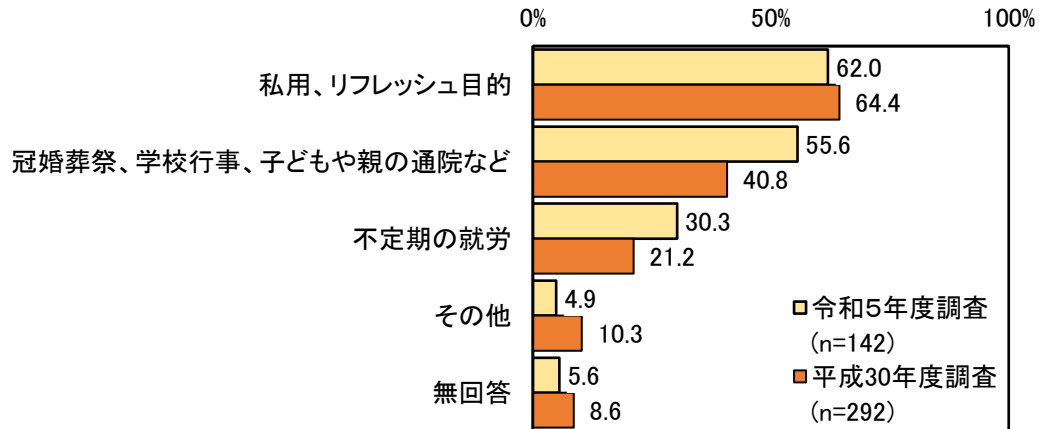


ア. 利用したいと思う

「私用、リフレッシュ目的」が62.0%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が55.6%、「不定期の就労」が30.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が14.8ポイント増加しています。

(n=142)



【日数】

単位：%

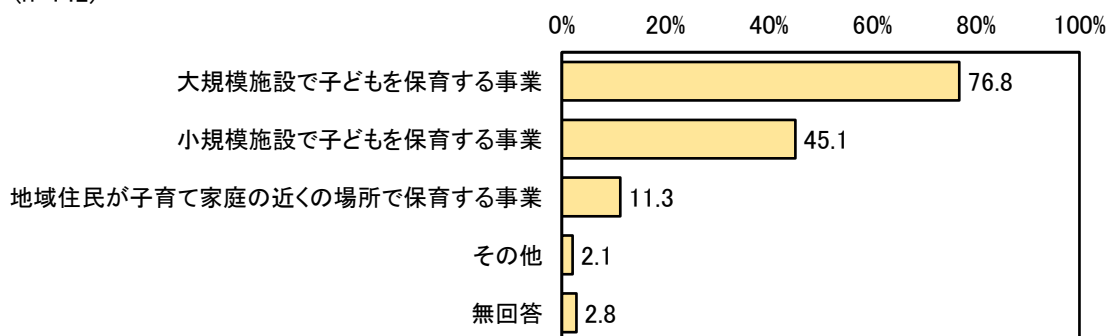
	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5~9日	10~14日	15~19日	20~29日	30日以上	無回答
利用したい年間合計日数	142	0.7	3.5	2.8	1.4	14.8	23.9	2.8	6.3	19.0	24.6
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、息抜き目的	88	2.3	4.5	2.3	3.4	17.0	26.1	3.4	9.1	10.2	21.6
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	79	3.8	5.1	15.2	1.3	19.0	24.1	0.0	8.9	0.0	22.8
ウ. 不定期の就労	43	0.0	4.7	7.0	2.3	18.6	16.3	2.3	9.3	16.3	23.3
エ. その他	7	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6

（問20で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。）

問20-1 不定期の一時預かりの望ましい形態はどれですか。《あてはまるものすべてに○》

「大規模施設で子どもを保育する事業」が76.8%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が45.1%、「地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業」が11.3%となっています。

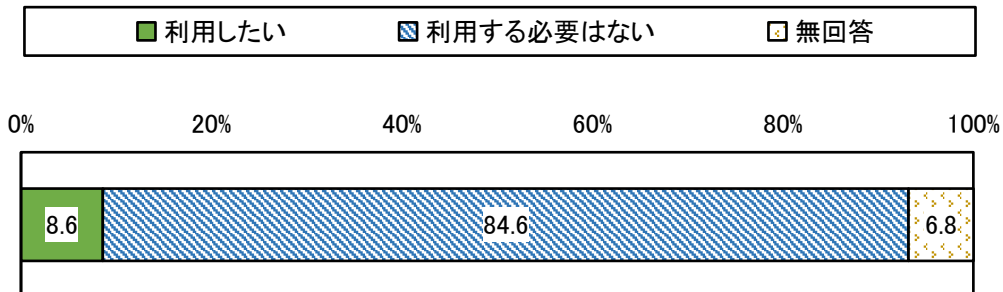
(n=142)



問21 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

「利用したい」が8.6%、「利用する必要はない」が84.6%となっています。

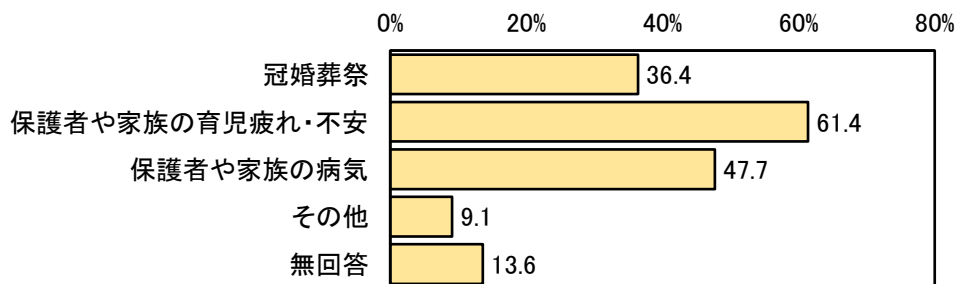
(n=514)



【対処方法】

「保護者や家族の育児疲れ・不安」が61.4%で最も多く、次いで「保護者や家族の病気」が47.7%、「冠婚葬祭」が36.4%となっています。

(n=44)



【年間泊数】

単位：%

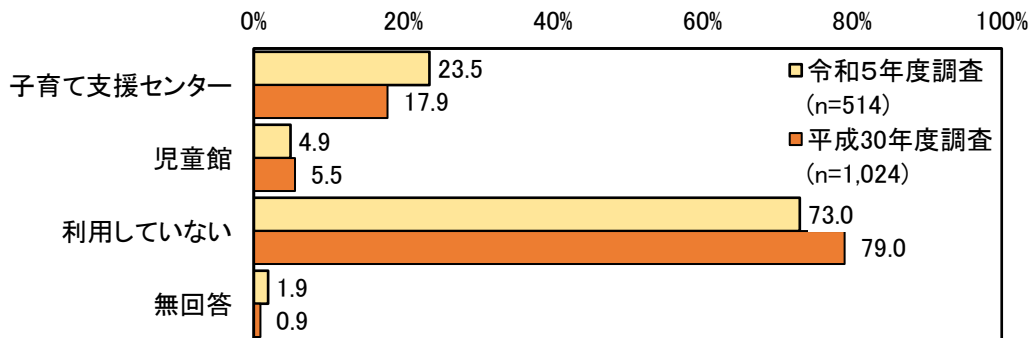
	回答者数 (人)	1泊	2泊	3泊	4泊	5~9泊	10~14泊	15~19泊	20~29泊	30泊以上	無回答
利用したい年間泊数	44	13.6	22.7	6.8	2.3	18.2	20.5	4.5	0.0	0.0	11.4
ア. 冠婚葬祭	16	31.3	43.8	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	27	25.9	33.3	11.1	0.0	18.5	3.7	0.0	0.0	0.0	7.4
ウ. 保護者や家族の病気	21	23.8	23.8	14.3	0.0	28.6	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
エ. その他	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0

(8) あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問22 あて名のお子さんは現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）や児童館等を利用していますか。
《あてはまるものすべてに○》

「子育て支援センター」が23.5%、「児童館」が4.9%となっています。
また、「利用していない」が73.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「子育て支援センター」が5.6ポイント増加しています。

(n=514)

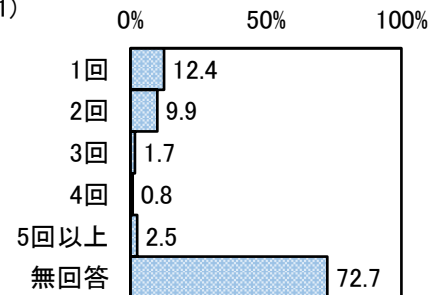


ア. 子育て支援センター

(ア) 1週当たり利用回数

「1回」が12.4%で最も多く、次いで「2回」が9.9%、「5回以上」が2.5%、「3回」が1.7%、「4回」が0.8%となっています。

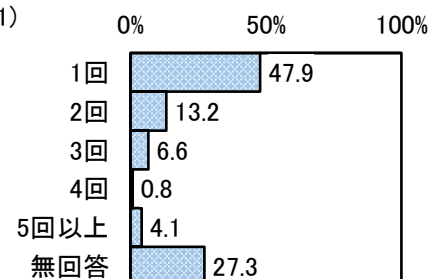
(n=121)



(イ) 1月当たり利用回数

「1回」が47.9%で最も多く、次いで「2回」が13.2%、「3回」が6.6%、「5回以上」が4.1%、「4回」が0.8%となっています。

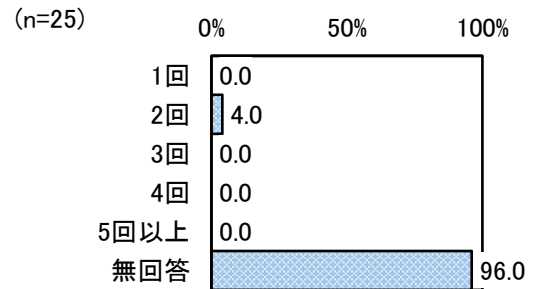
(n=121)



イ. 児童館

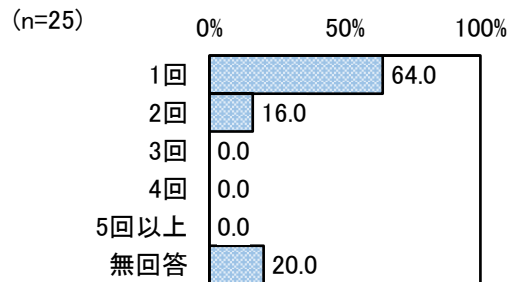
(ア) 1週当たり利用回数

「2回」が4.0%となっています。



(イ) 1月当たり利用回数

「1回」が64.0%と最も高く、次いで「2回」が16.0%となっています。

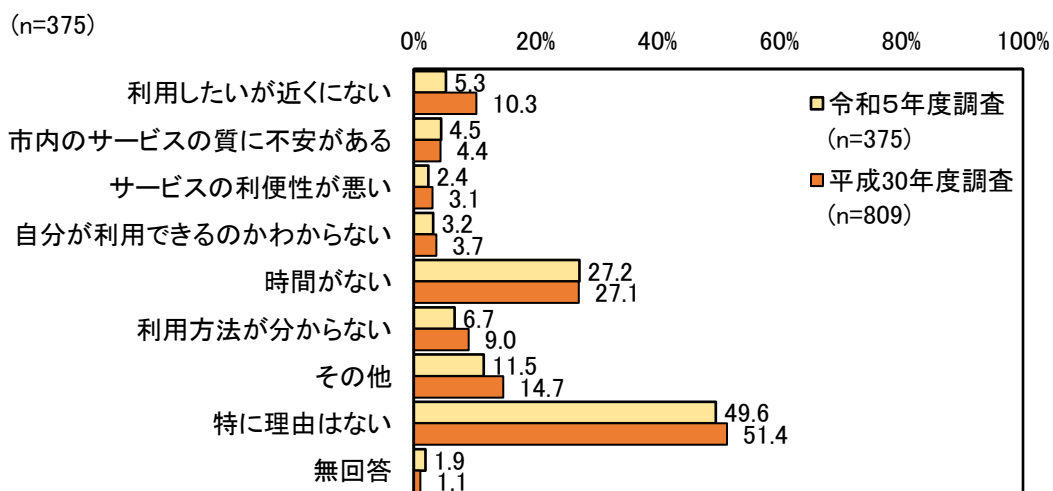


(問22で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)
 問22-1 現在利用していない理由は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

「時間がない」が27.2%、「利用方法が分からない」が6.7%、「利用したいが近くにない」が5.3%、「市内のサービスの質に不安がある」が4.5%、「自分が利用できるのかわからない」が3.2%となっています。

また、「特に理由はない」が49.6となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「利用したいが近くにない」が5.0ポイント減少しています。



(問22で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

問22-1の解決策としてどのようなものがあれば利用しやすくなると思いますか。
自由に意見をお書きください

意見
支援員に相談しても解決するわけではないから必要ない
送迎もしていただけると助かります
雨の日でも走り回れる気軽に利用できる施設が併設されていると嬉しいです
地域で配布するチラシではなく、個人のお家に案内を送ってくれれば行きやすい。
特に理由はありません
自分自身の問題なので、一念発起します
無料のシャトルバスのようなものがあれば行けるかもしれない
インターネット上で予約したり、混雑状況を確認できるものがあればいいと思います。
空き状況がすぐわかる
室内大型遊具
以前住んでいた自治体の子育て支援センターの先生方（埼玉県入間市の『あいくる』という施設です）が、近所の公園や公民館、神社などで曜日ごとに各所で出張ひろばを開いてくれていました。施設が近くにない方などが利用できるように動いてくれていました。あと、認知
場所に寄って利用方法が異なるので分かるように統一するか案内書の一つにして欲しい。
両親ともに就労しているので平日の利用は不可能です。
時間がない
行き慣れている人と職員が仲良くし過ぎているため、新しく入ろうと思っても入りづらいと感じた。施設数が少ない。
広く走り回れる場所で遊具などがあると行きたがると思う 津島市は公園が少ないので支援センターが充実しているとかかなりありがたいと思う
自家用車と運転技術
子供調理教室、工作教室などあれば利用したいです。
情報を得る方法の多様化
小学生の兄弟も一緒に利用でき楽しめる場所だと良い。駐車場が豊富にありアクセスしやすい場所にあると良い。
イベント等を開催して周知する
乳幼児向けの施設でも、小中学生が一緒でも利用できるような大きい子向けのおもちゃや本があったり、勉強スペースがあったりするとうれしい。
とくにない
送迎バス 小学生以上が使えるようにする
イベント
コロナが本当に落ち着いたら コロナの薬がインフルエンザ並みに効き、安全性が確認できたら
送迎のサポート
今の時期は感染症が心配
自分が就労しない。でもそれはあり得ない。なので、市の取組に問題はない。

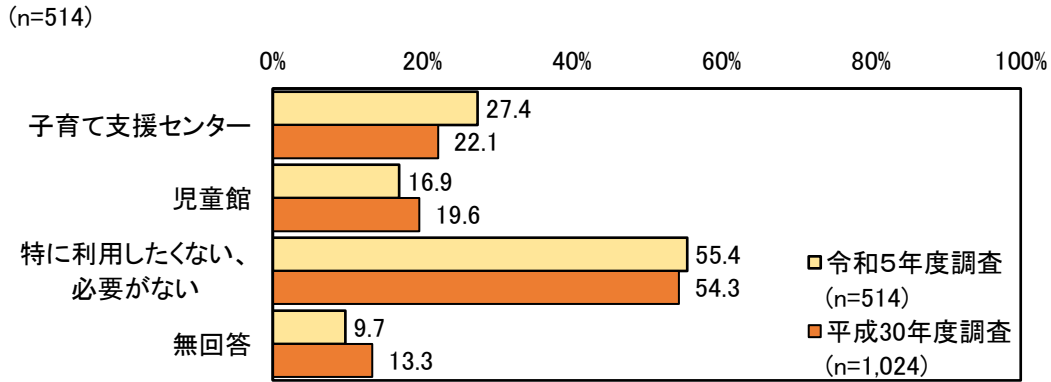
意見
駐車場が広くて、分かりやすい場所にあるとよい。
たまに行くけど、知り合いやよく利用する人にしか先生は声をかけないのであまり利用しなかった。
今は利用する必要性は感じない
子どもが楽しく遊べたり、学べたりする内容。何をしてる場所か具体的に分かりやすいと利用しやすくなると思います。
施設を新しく、現代のニーズに合った活動内容にする
PR、web上の情報
自由に利用できるると便利（予約不要など）
・子育て支援センターは、入園前によく利用していましたが、十分利用しやすかったです。・児童館、数回利用しましたが、場所、駐車場が少し分かりづらいつ感じました。
ルールの緩和（携帯使用禁止等をあらかじめ言われると、行きづらい、絶対目を離すな等も。それなら家のほうが楽だと思う。
質の向上、環境の改善
子育て支援センターと児童館が同じ施設（敷地）にあつて、兄弟ともに行けると行きやすいと思います。
小学生より上の兄弟がいると、使用しづらいので、制限がないと使いやすい。
いつどこで何ができるのか知ることができれば、利用するかもしれない。
同じような悩みがある子を持つ親同士が集まれる会みたいなものがあれば参加したい！その際いろいろな方法で？お知らせなどあれば利用しやすい。
参加したいと思うサービスやイベントの開催
もう少し子どもが大きくなつたら利用させてもらいます
支援センター等に預かり場所があると助かる。1日1000円（時間で分けてもいいと思う）とかで。保育園だと少し仕切りが高いのと手間がかかる気がする。
魅力的なイベント等があれば参加したい
行事やイベントをたくさんしてほしい、子供が喜ぶ、経験にもつながる
おもちゃが年齢3歳ぐらいまでのものしかない為、6歳ぐらいまでが楽しめるものを増やしてほしい。部屋を増やすとか……
利用予定など分かれば連絡し、自宅付近までバスなどがあれば利用しやすい。
自分が人見知りだから行く勇気が出ない
幼児の子でも雨の日にたくさん体を動かせることができる施設があれば利用したい。（体育館開放や室内遊具など）、小さい子ども（乳児）向けすぎる。
2~3人などの少数であれば利用を考える。すぐグループができあがってしまうので輪に入りづらい
乳児の時は児童館をよく利用していたが、3才ぐらいになると同年代の子どもが少なくなり行かなくなった。平日は園があるため行く必要がなくなった。
ずっとついていないといけないなら、家で家事を進めながらみてる方が家の事が進む
児童手当や金銭的な支給が増えると時間ができる（今のよう働かなくてもよい）

意見
何かイベントがあってチラシ等あれば利用しやすいかもです
子どもはこう育てるべき！等の圧がすごい。用事がない限りは行きたいと思わないと思わせている（子育て支援センター）
親のしゃべり場で子どもを見てないから、安心して利用ができないので、そこをしっかりと見てほしい（先生方が）
近くの子どもの遊び場の情報が少ない。
幼稚園で遊ばせているので、それで十分だと思っている。
参加しやすいイベントの詳細などをHP（SNSなど）に上げていただけると嬉しいです。
平日は保育園、土日は家で遊んでいる。相談があればネット検索する。保健センターではおとなしく室内遊びしかできないので、外で元気に遊ばせたい。
タクシー代の補助があると助かります
支援センターはあくまで親同伴なので、親が子を預けて家の用事を済ませたりするように利用できるものではないので、そこまで利用したいと思いません。
児童館だと駐車場が遠い。あと建物が古い。図書館は全体的に暗く入りにくい。駐車場が広い、近いが大事だと思う。
仕事で無理
知り合いをつくる。利用しやすい雰囲気をつくる。知らない人ばかりだと親も子供も不安。
校区ごとにそのような施設を設ける
支援センターは小さい子（0～3歳）向けの遊びが多く、児童館は中学生も利用するため中間の子供（4～10歳）が楽しく安全に遊べる環境であるとよいと思います。
こども園等に児童センターだよりを配布する
子どもが1人で出かけられる年齢になったら好きに利用してくれればいいと思う
・児童館について 近くにある（校区内など）。開所時間が短い（18時まで）。清潔感がある（館内、玩具、空調）。年間の登録制ではなく単発でも参加できる工作や体操教室など企画されている。子どもの発達を促したり創造性をはぐくむような玩具がある。のびのびと遊べる
特に利用したい理由はない
平日にイベントが多く、土日の利用できるものが少ないので利用できないことが多いです。
質の良い保育士を入れる。質が良いとは、保育のレベルだけでなく、人間としての対人能力
定期的に案内（ハガキなどのお知らせ）があるといい
プールの送迎、習い事の送迎をもっと安価で習い事ごとに対応してほしい。ファミサポは1回3,000円以上かかるので、とても頼めない
上の子は児童館で月2回ほど利用させてもらっているが、小学生対象なので幼稚園生である本人は利用しにくい。
小学生も未就学児も幼児も過ごせる場所が欲しい
親1人で3人子供を連れていくと目が行き届かないから、保育士と一緒に見てくれるといい
9時～12時、13時～16時のため、行こうとしたときに午前の部が終わりそうだったり、お昼寝後だと午後の部も終りがけと行くタイミングに悩んでしまう。12時～13時も開放してもらえると連れて行きやすい

意見
在留外国人向けの案内が欲しい
保育園が終わる時間と支援センターの閉まる時間が同じだからいけない（16時）上の子が小学生になると一緒に入れないからいけない
新規利用でも参加しやすいイベントの開催。その施設での実施でなく、公園やヨシヅヤのフリースペースなど。
サービス内容がよく分からないため、SNSを利用して内容を見やすくする
親同士の交流があっていいと思うが、サービス提供時の見守りの体制の質が物すごく悪いのと、専門的分野の知識が圧倒的に不足していると思う。職員は最低でも1日5時間くらいは本を読むべきと思う。
同じくらいの年代が分かれば友達にもなりやすいし、同じ遊びができて子供も楽しくて次も行きたくなると思う
小学生と一緒に利用できるようにする
名古屋市並みのレベル（量、質）にする
子どもの成長とか性格しだいなので、なんとも
近くに児童館がありますが、たてものが古くて怖いです。先生方は優しくて行けば、子どもも遊びますが、もっと外の遊具を充実してもらい、施設も新しくしてほしい。
おもちゃの種類を増やしてほしい。
乳児の頃は、毎日に近いくらい利用させて頂きました。少し難しい組み立てるおもちゃがあると3・4・5歳も利用しやすいのかもしれませんが。乳児が多く同じ部屋で、幼児の親が気をつけていないと危ない時もある。支援センターの先生に慣れ、親が側に居なくても泣かずに過ごしていたので2・3時間の一時預かりがあればと思うこともありました。

問23 子育て支援センターや児童館について、今は利用していないが、できれば利用したい。あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
《あてはまるものすべてに○》

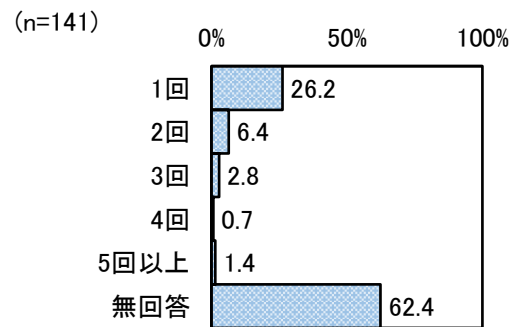
「子育て支援センター」が27.4%、「児童館」が16.9%となっています。
また、「特に利用したくない、必要がない」が55.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、特に「子育て支援センター」が5.3ポイント増加しています。



ア. 子育て支援センター

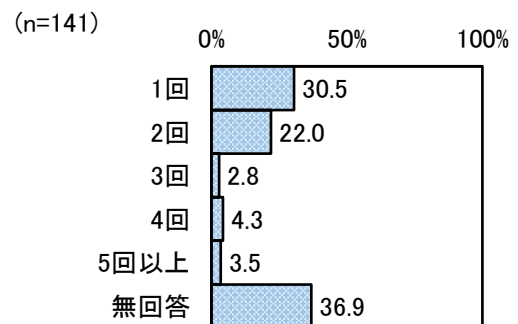
(ア) 1週当たり利用回数

「1回」が26.2%で最も多く、次いで「2回」が6.4%、「3回」が2.8%、「5回以上」が1.4%、「4回」が0.7%となっています。



(イ) 1月当たり利用回数

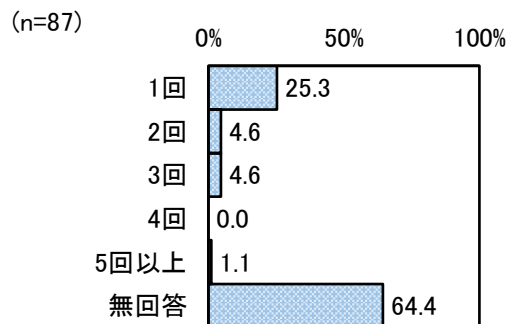
「1回」が30.5%で最も多く、次いで「2回」が22.0%、「4回」が4.3%、「5回以上」が3.5%、「3回」が2.8%となっています。



イ. 児童館

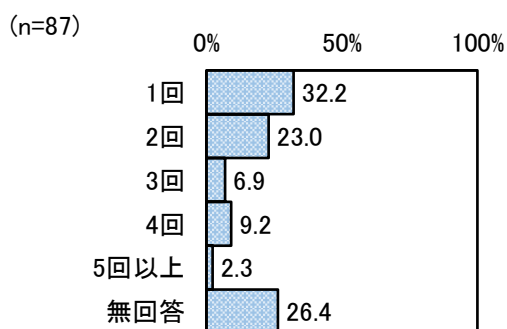
(ア) 1週当たり利用回数

「1回」が25.3%で最も多く、次いで「2回」と「3回」がともに4.6%、「5回以上」が1.1%となっています。



(イ) 1月当たり利用回数

「1回」が32.2%で最も多く、次いで「2回」が23.0%、「4回」が9.2%、「3回」が6.9%、「5回以上」が2.3%となっています。



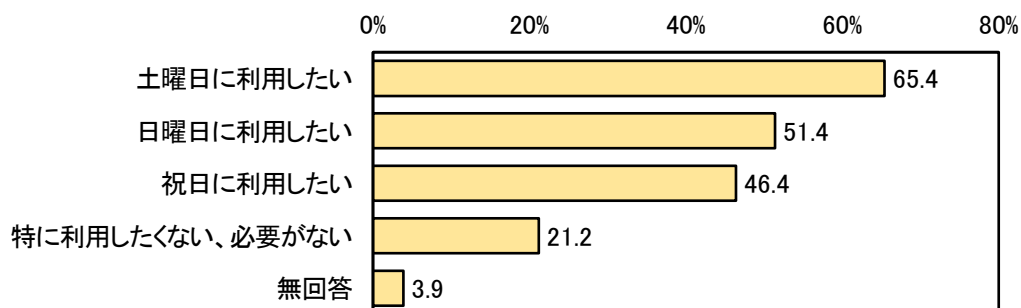
(問23で「1. 子育て支援センター」または「2. 児童館」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問23-1 土曜日や日曜日・祝日の利用希望はありますか。《あてはまるものすべてに○》

「土曜日に利用したい」が65.4%で最も多く、次いで「日曜日に利用したい」が51.4%、「祝日に利用したい」が46.4%となっています。

また、「特に利用したくない、必要がない」が21.2%となっています。

(n=179)

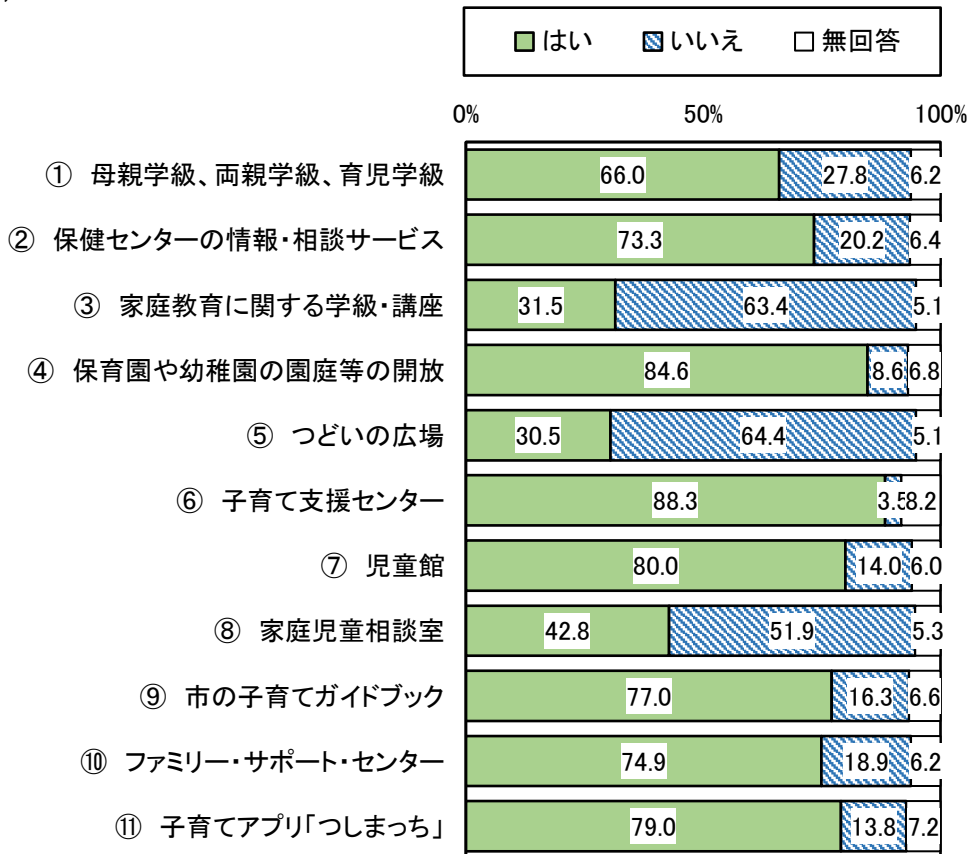


問24 下記の①～⑪のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○)

A 知っている(認知度)

知っているでは、「⑥ 子育て支援センター」が88.3%で最も多く、次いで「④ 保育園や幼稚園の園庭等の開放」が84.6%、「⑦ 児童館」が80.0%となっています。

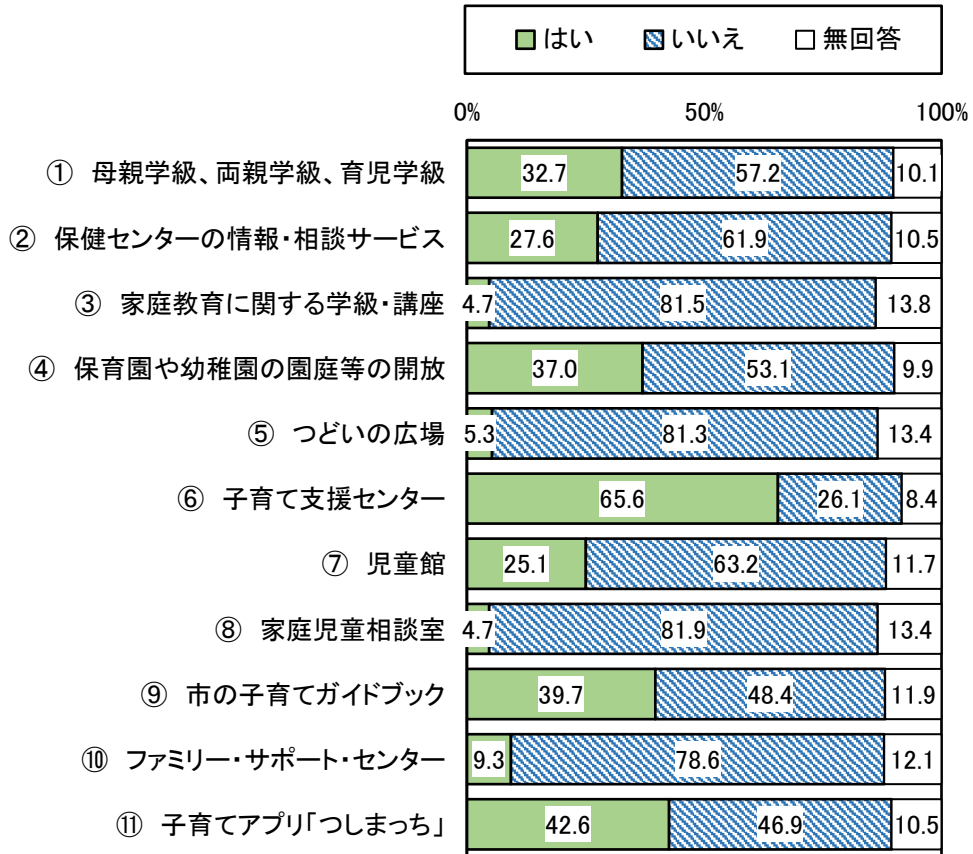
(n=514)



B 利用したことがある（利用状況）

利用したことがあるでは、「⑥ 子育て支援センター」が 65.6%で最も多く、次いで「⑪ 子育てアプリ「つしまっち」」が 42.6%、「⑨ 市の子育てガイドブック」が 39.7%となっています。

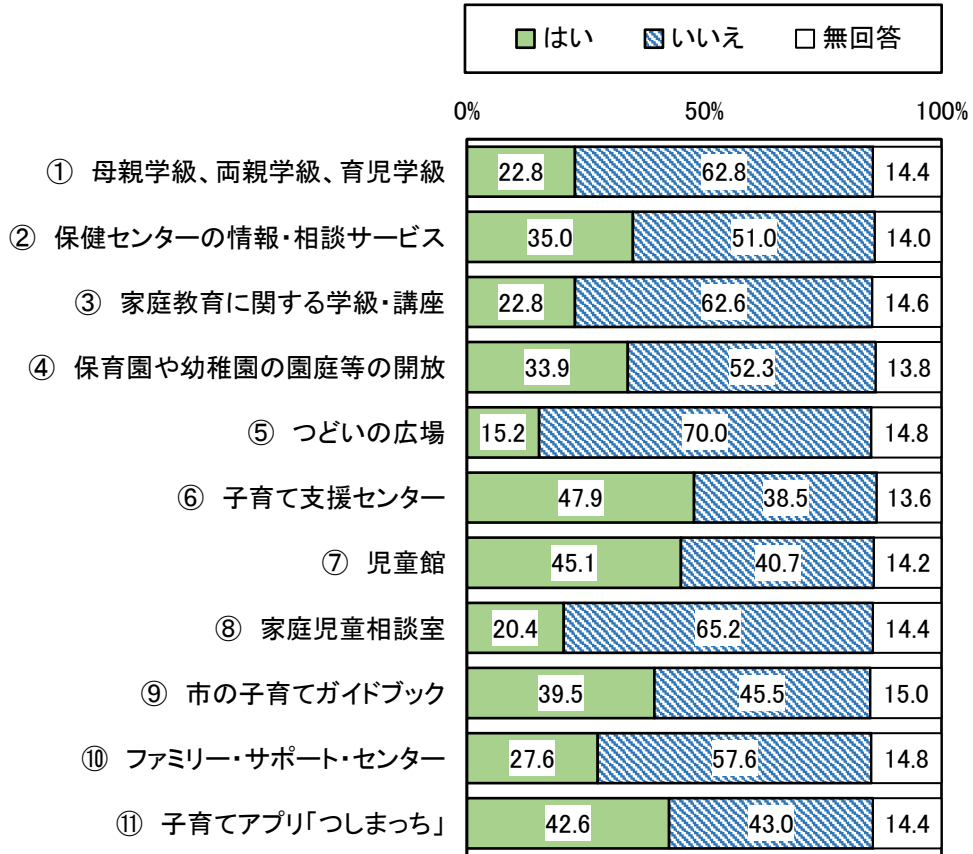
(n=514)



C 今後、利用したい（利用意向）

今後利用したいでは、「⑥ 子育て支援センター」が47.9%で最も多く、次いで「⑦ 児童館」が45.1%、「⑪ 子育てアプリ「つしまっち」」が42.6%となっています。

(n=514)



●平成 30 年度調査との比較

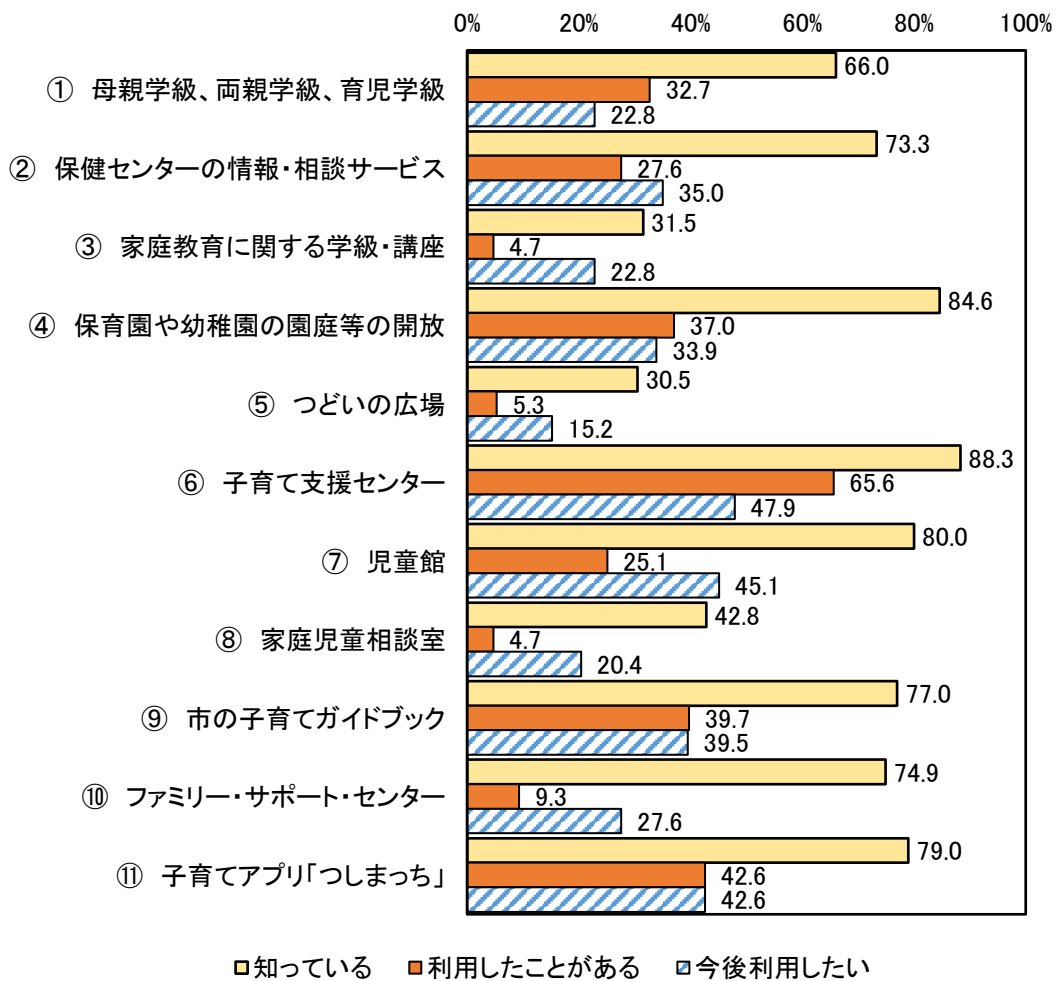
平成 30 年度調査と比較すると、認知度については「⑪ 子育てアプリ「つしまっち」」が 23.8 ポイント増加しています。

利用状況については「⑪ 子育てアプリ「つしまっち」」が 17.6 ポイント増加している一方、「⑦ 児童館」が 13.3 ポイント減少しています。

利用意向については「⑩ ファミリー・サポート・センター」と「⑪ 子育てアプリ「つしまっち」」を除く項目で減少しています。

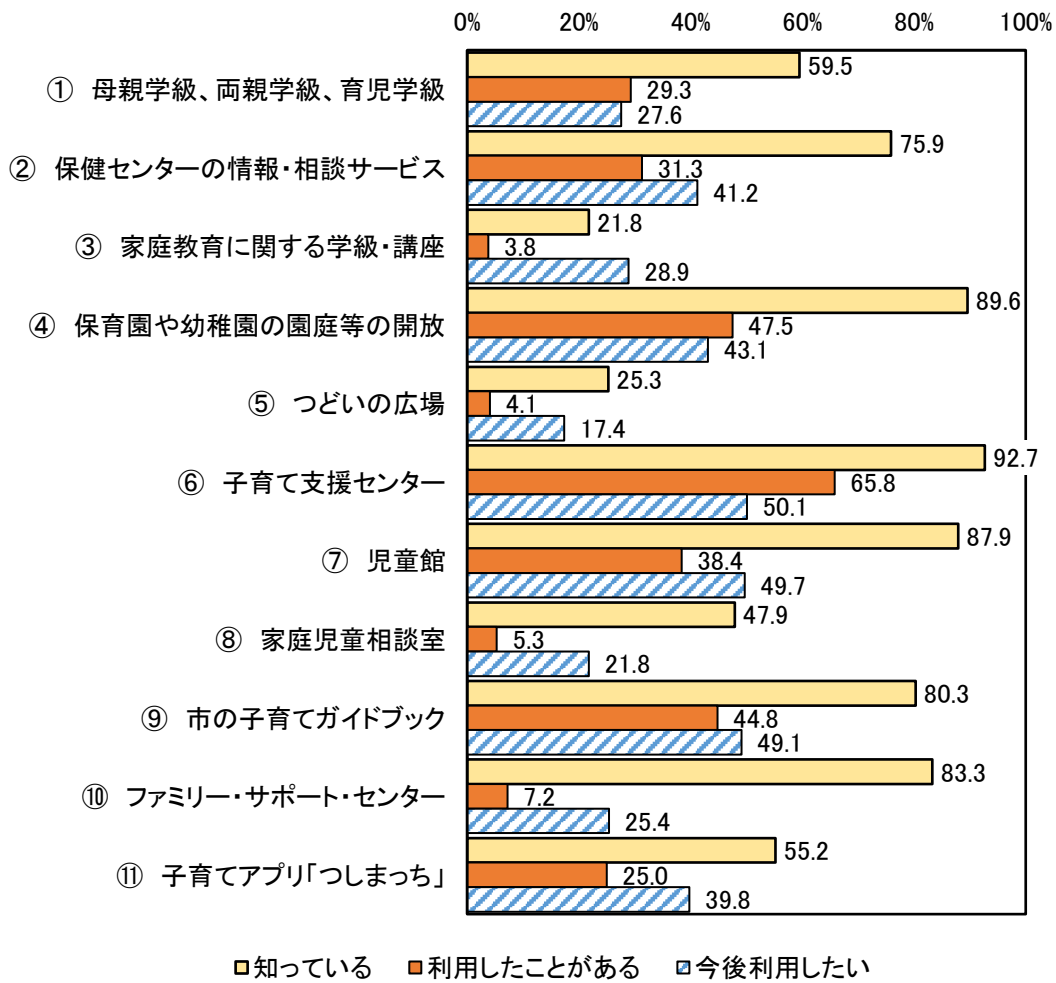
(ア) 令和 5 年度調査

(令和5年度調査 n=514)



(イ) 平成 30 年度調査

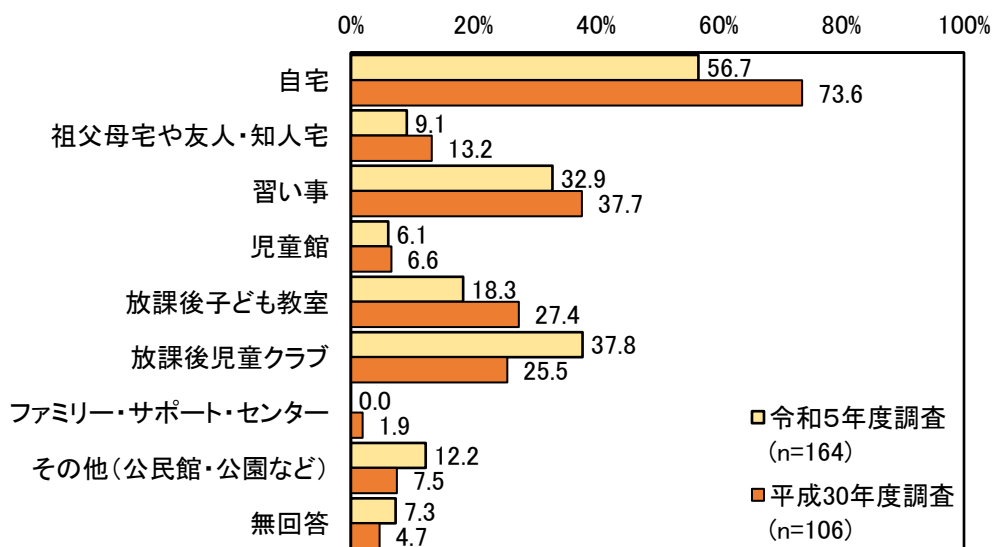
(平成30年度調査 n=1,024)



(9) あて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について（宛名のお子さんが5歳以上の方のみ）

問25 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が56.7%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が37.8%、「習い事」が32.9%、「放課後子ども教室」が18.3%、「その他（公民館・公園など）」が12.2%となっています。平成30年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ」が12.3ポイント増加しています。



ア. 利用希望

利用希望をみると、他に比べ、「放課後児童クラブ」で「5日」が高くなっています。

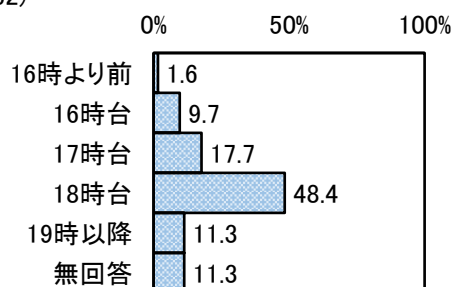
単位：％

	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	93	8.6	12.9	16.1	10.8	38.7	1.1	4.3	7.5
祖父母宅や友人、知人宅	15	40.0	13.3	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	20.0
習い事（ピアノ/教室、サッカークラブ、学習塾など）	54	40.7	40.7	11.1	5.6	1.9	0.0	0.0	0.0
児童館	10	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0
放課後子ども教室	30	16.7	26.7	23.3	6.7	20.0	0.0	0.0	6.7
放課後児童クラブ	62	0.0	4.8	9.7	8.1	66.1	6.5	0.0	4.8
ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他（公園など）	20	25.0	15.0	40.0	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0

イ. 学童保育 利用終了時刻

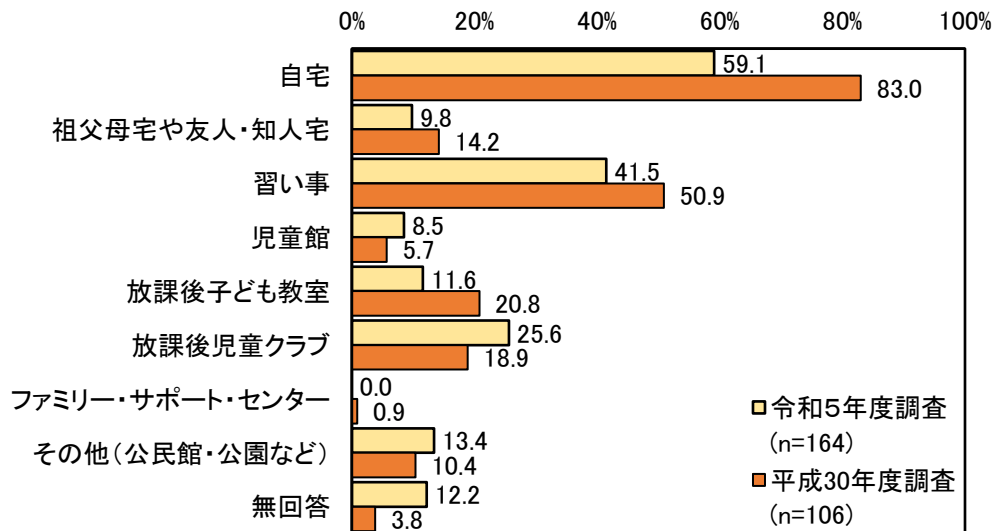
「18時台」が48.4%で最も多く、次いで「17時台」が17.7%、「19時以降」が11.3%、「16時台」が9.7%、「16時より前」が1.6%となっています。

(n=62)



問26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が59.1%で最も多く、次いで「習い事」が41.5%、「放課後児童クラブ」が25.6%、「その他（公民館・公園など）」が13.4%、「放課後子ども教室」が11.6%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「自宅」が23.9ポイント減少しています。



ア. 利用希望

他に比べ、「放課後児童クラブ」で「5日」が高くなっています。

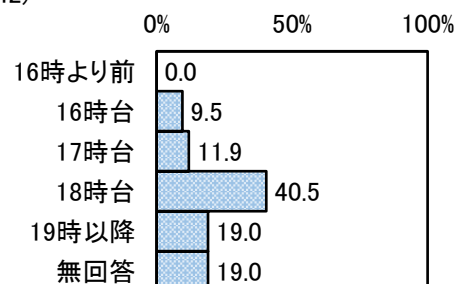
単位：％

	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	97	3.1	22.7	17.5	5.2	40.2	0.0	4.1	7.2
祖父母宅や友人、知人宅	16	43.8	31.3	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	68	25.0	42.6	23.5	4.4	2.9	0.0	0.0	1.5
児童館	14	7.1	21.4	21.4	0.0	28.6	0.0	0.0	21.4
放課後子ども教室	19	15.8	42.1	15.8	5.3	10.5	0.0	0.0	10.5
放課後児童クラブ	42	0.0	2.4	11.9	7.1	66.7	7.1	0.0	4.8
ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他（公園など）	22	18.2	36.4	27.3	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0

イ. 学童保育 利用終了時刻

「18時台」が40.5%で最も多く、次いで「19時以降」が19.0%、「17時台」が11.9%、「16時台」が9.5%となっています。

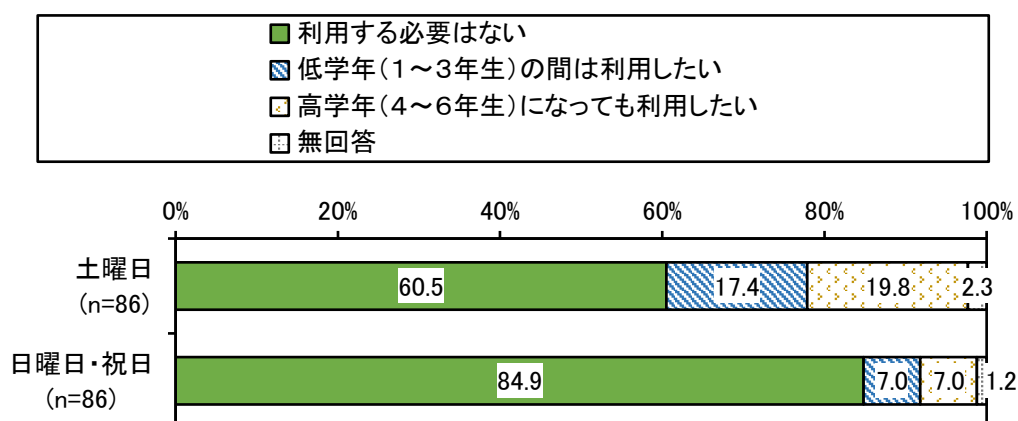
(n=42)



(問25または問26で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。)
 問27 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の
 休暇期間中、放課後児童クラブの利用希望はありますか。《1つに○》

土曜日では、「利用する必要はない」が60.5%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が17.4%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が19.8%となっています。

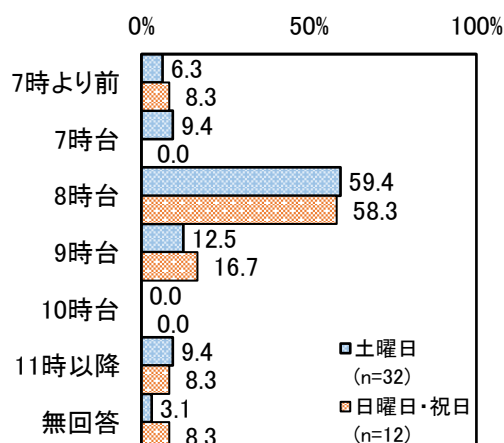
日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が84.9%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」と「高学年(4~6年生)になっても利用したい」がともに7.0%となっています。



(ア) 利用開始時間

土曜日では、「8時台」が59.4%で最も多く、次いで「9時台」が12.5%、「7時台」と「11時以降」がともに9.4%、「7時より前」が6.3%となっています。

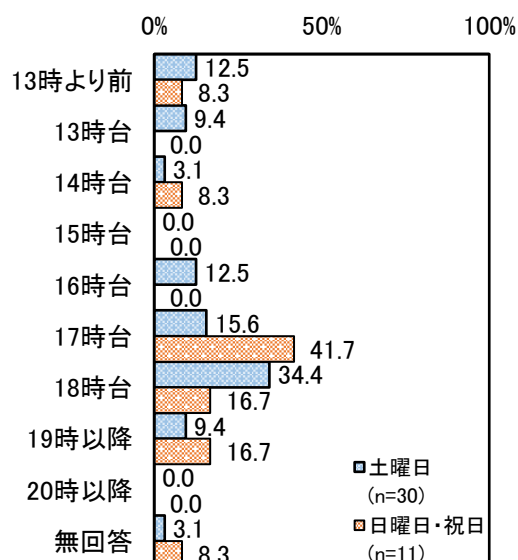
日曜日・祝日では、「8時台」が58.3%で最も多く、次いで「9時台」が16.7%、「7時より前」と「11時以降」がともに8.3%となっています。



(イ) 利用終了時間

土曜日では、「18時台」が34.4%で最も多く、次いで「17時台」が15.6%、「13時より前」と「16時台」がともに12.5%、「13時台」が9.4%となっています。

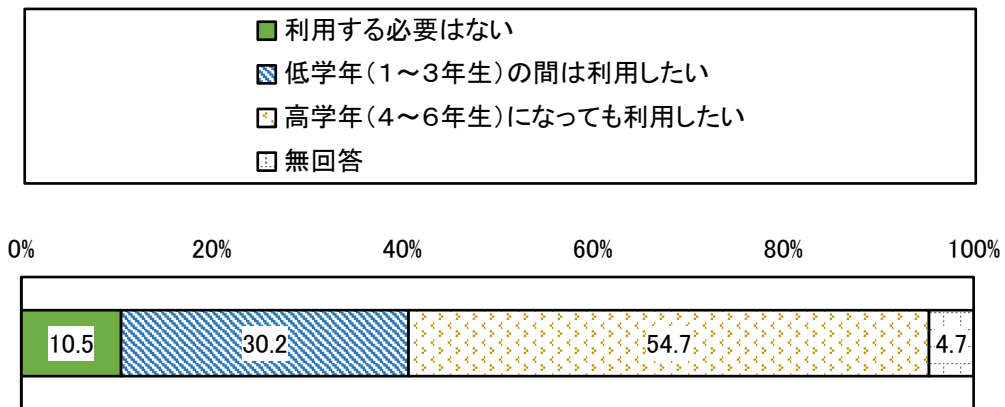
日曜日・祝日では、「17時台」が41.7%で最も多く、次いで「18時台」と「19時以降」がともに16.7%、「13時より前」と「14時台」がともに8.3%となっています。



【夏休み・冬休みなどの長期休暇中】

「利用する必要はない」が10.5%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が30.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が54.7%となっています。

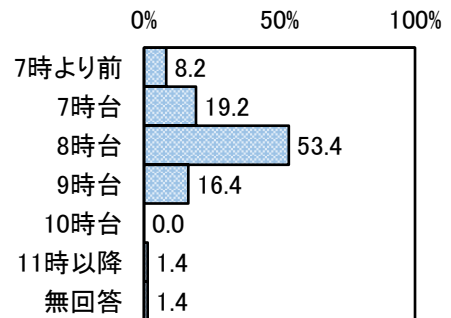
(n=86)



(ア) 利用開始時間

「8時台」が53.4%で最も多く、次いで「7時台」が19.2%、「9時台」が16.4%、「7時より前」が8.2%、「11時以降」が1.4%となっています。

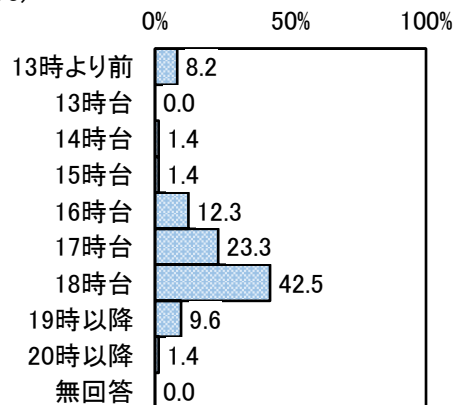
(n=73)



(イ) 利用終了時間

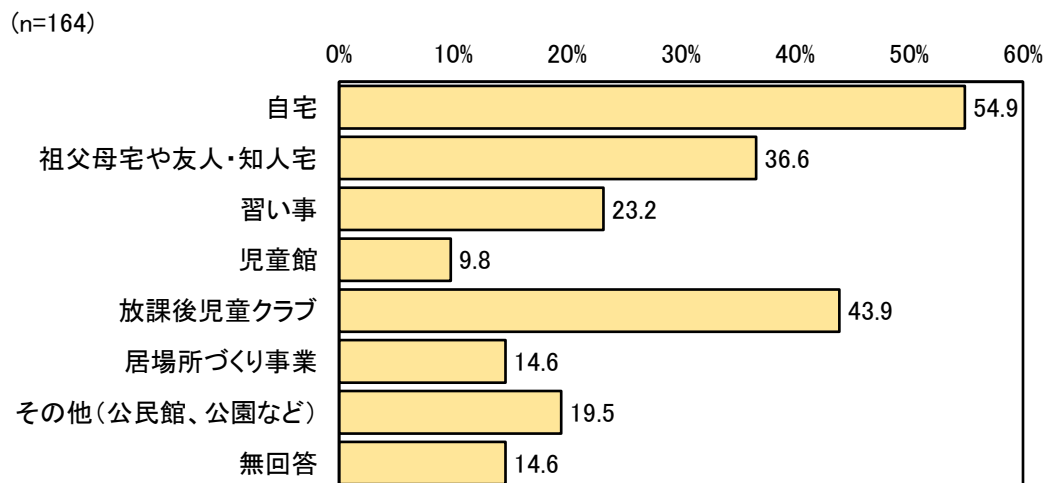
「18時台」が42.5%で最も多く、次いで「17時台」が23.3%、「16時台」が12.3%、「19時以降」が9.6%、「13時より前」が8.2%となっています。

(n=73)



問28 あて名のお子さんについて、長期休暇中（夏休み等）の日中、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が54.9%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が43.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が36.6%、「習い事」が23.2%、「その他（公民館、公園など）」が19.5%となっています。



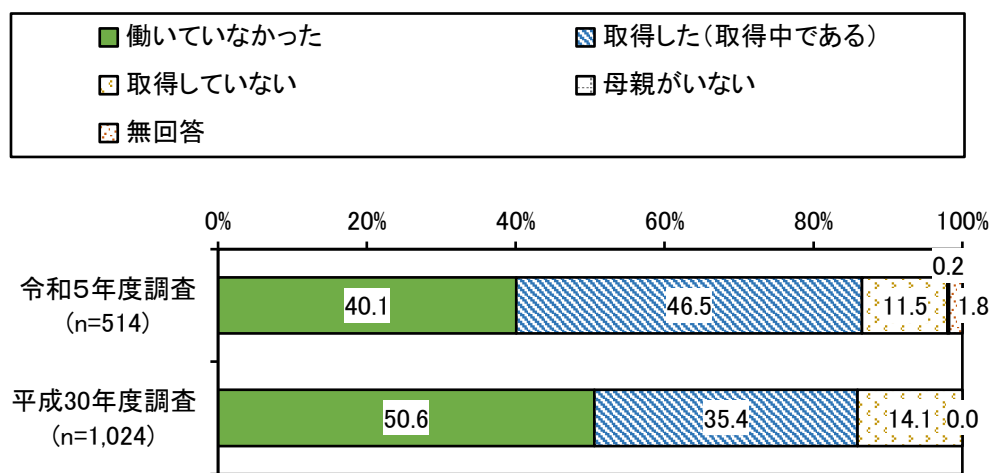
(10) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問29 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。

ア. 母親

「働いていなかった」が40.1%、「取得した(取得中である)」が46.5%、「取得していない」が11.5%となっています。

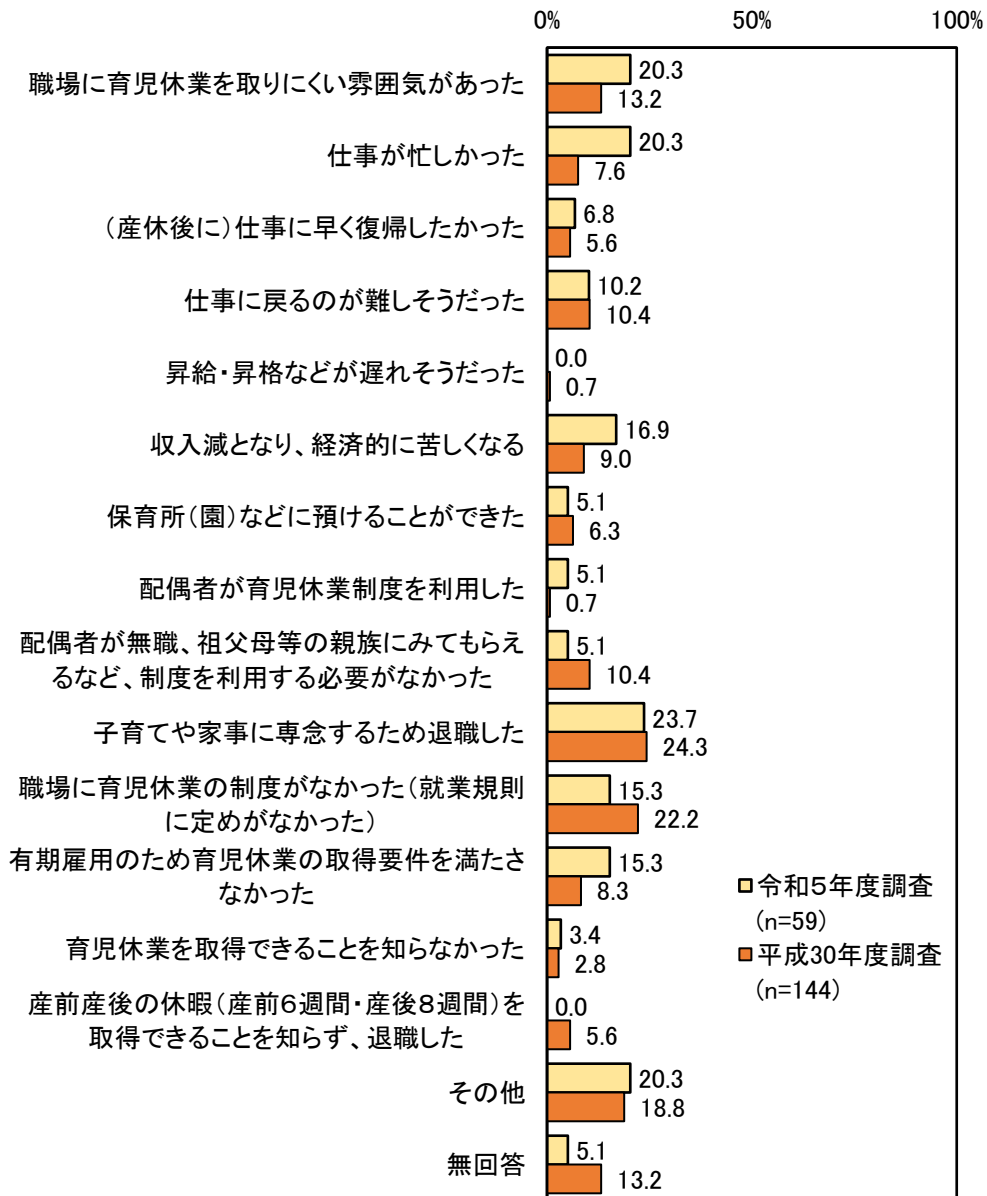
平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」が11.1ポイント増加しています。



【取得していない理由】

「子育てや家事に専念するため退職した」が23.7%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」がともに20.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が16.9%、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに15.3%となっています。

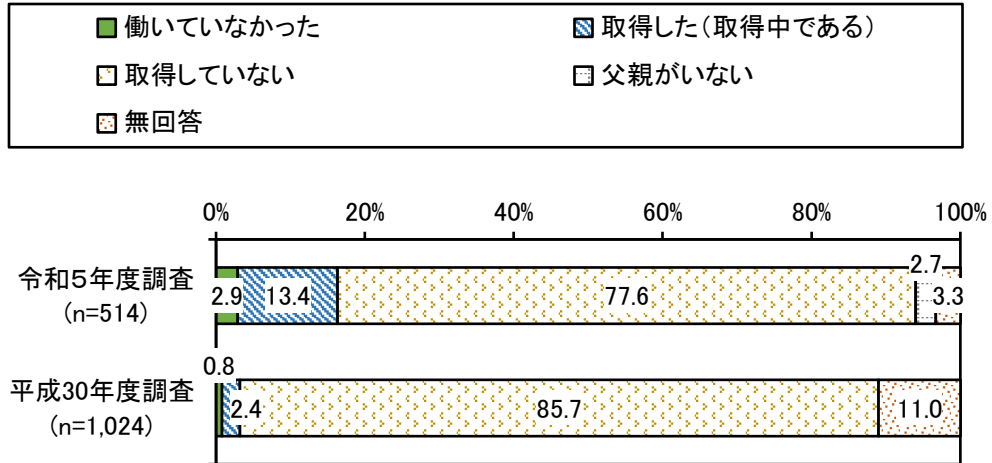
平成30年度調査と比較すると、特に「仕事が忙しかった」が12.7ポイント増加しています。



イ. 父親

「働いていなかった」が 2.9%、「取得した（取得中である）」が 13.4%、「取得していない」が 77.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が 11.0 ポイント増加しています。

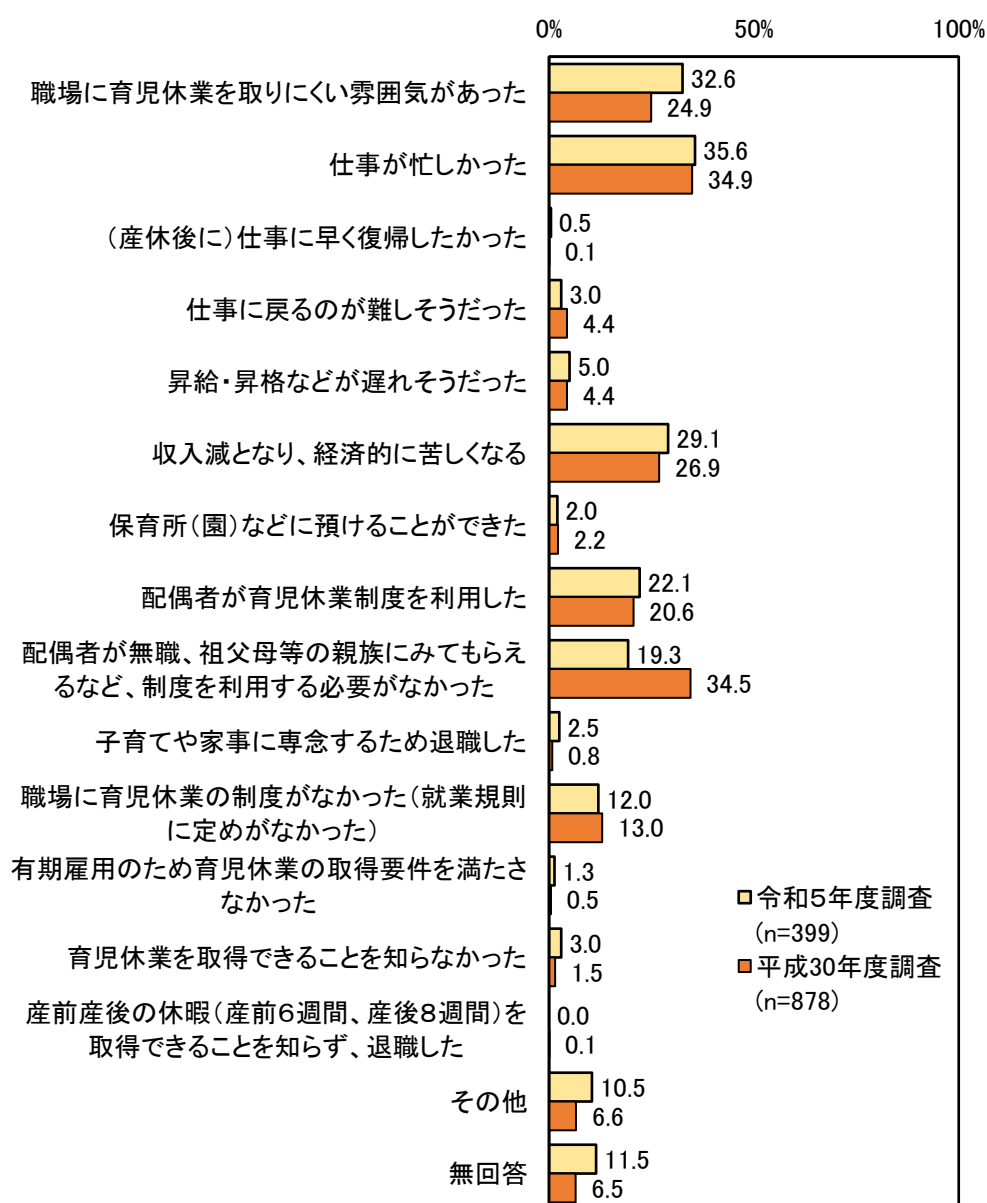


取得していない理由

「仕事が忙しかった」が35.6%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が29.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が22.1%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が19.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が7.7ポイント増加しています。

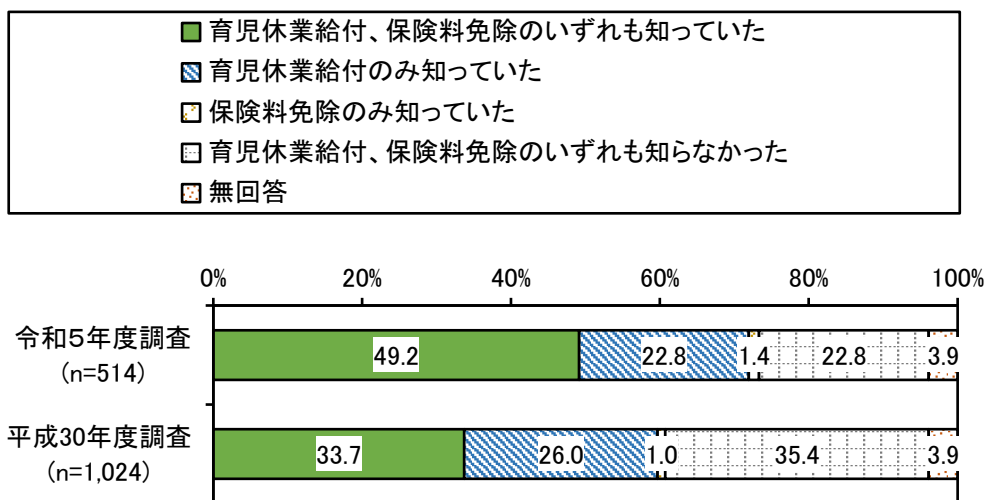
(n=399)



問29-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が49.2%で最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が22.8%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が22.8%、「保険料免除のみ知っていた」が1.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が15.5ポイント増加しています。



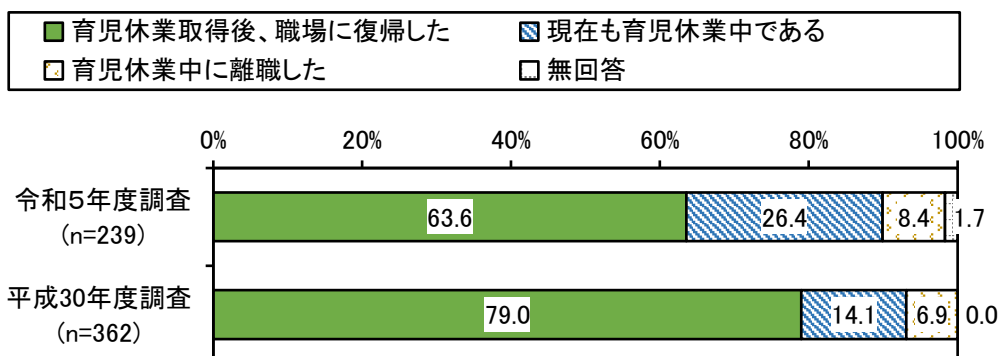
(問29で母親または父親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にかがいます。)

問29-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。《1つに○》

ア. 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が63.6%、「現在も育児休業中である」が26.4%、「育児休業中に離職した」が8.4%となっています。

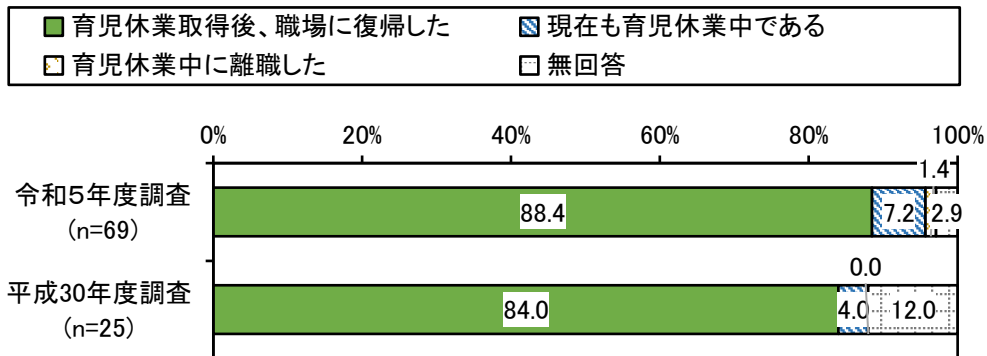
平成30年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」が12.3ポイント増加しています。



イ. 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 88.4%、「現在も育児休業中である」が 7.2%、「育児休業中に離職した」が 1.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」が 3.2 ポイント増加しています。



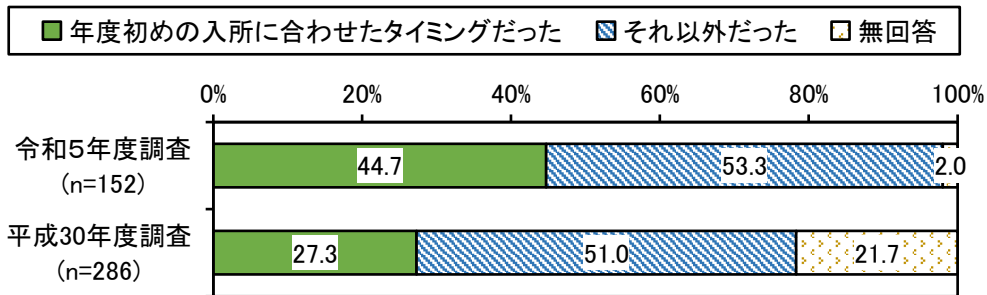
(問 29-2 で母親または父親が「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。)

問 29-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。《1つに○》

ア. 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 44.7%、「それ以外だった」が 53.3%となっています。

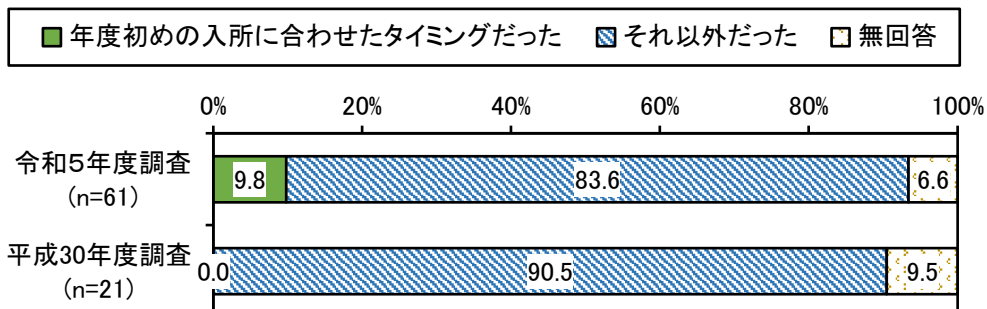
平成 30 年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 17.4 ポイント増加しています。



イ. 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 9.8%、「それ以外だった」が 83.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 9.8 ポイント増加しています。



(問29-2で母親または父親が「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。)

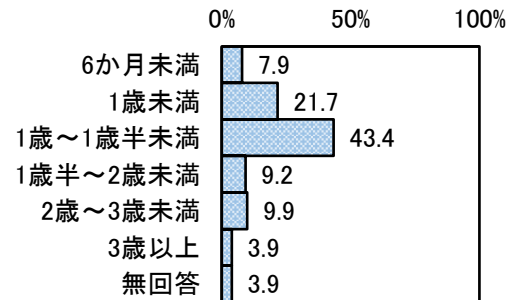
問29-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

ア. 母親

(ア) 実際の復帰時期

「1歳～1歳半未満」が43.4%で最も多く、次いで「1歳未満」が21.7%、「2歳～3歳未満」が9.9%、「1歳半～2歳未満」が9.2%、「6か月未満」が7.9%となっています。

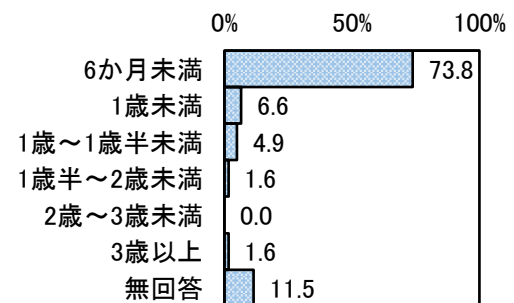
(n=152)



(イ) 希望の復帰時期

「6か月未満」が73.8%で最も多く、次いで「1歳未満」が6.6%、「1歳～1歳半未満」が4.9%、「1歳半～2歳未満」と「3歳以上」がともに1.6%となっています。

(n=61)

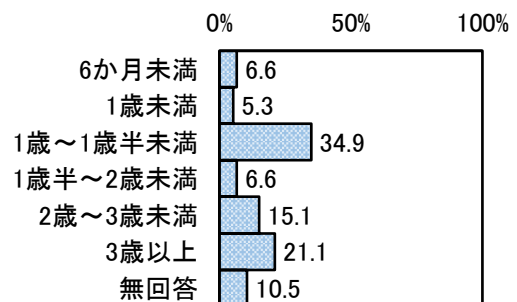


イ. 父親

(ア) 実際の復帰時期

「1歳～1歳半未満」が34.9%で最も多く、次いで「3歳以上」が21.1%、「2歳～3歳未満」が15.1%、「6か月未満」が6.6%、「1歳半～2歳未満」が6.6%となっています。

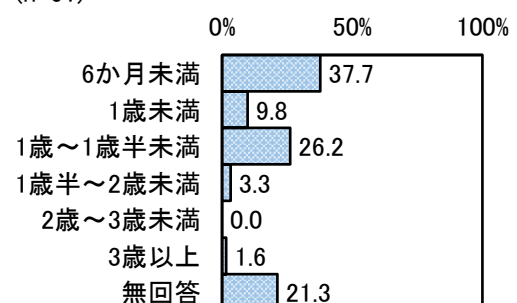
(n=152)



(イ) 希望の復帰時期

「6か月未満」が37.7%で最も多く、次いで「1歳～1歳半未満」が26.2%、「1歳未満」が9.8%、「1歳半～2歳未満」が3.3%、「3歳以上」が1.6%となっています。

(n=61)

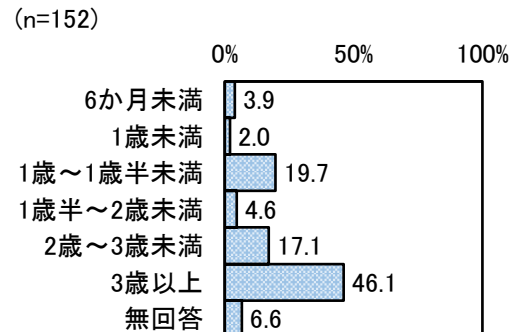


(問29-2で母親または父親が「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。)

問29-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

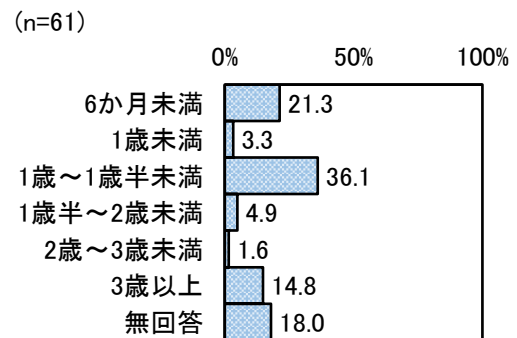
ア. 母親

「3歳以上」が46.1%で最も多く、次いで「1歳～1歳半未満」が19.7%、「2歳～3歳未満」が17.1%、「1歳半～2歳未満」が4.6%、「6か月未満」が3.9%となっています。



イ. 父親

「1歳～1歳半未満」が36.1%で最も多く、次いで「6か月未満」が21.3%、「3歳以上」が14.8%、「1歳半～2歳未満」が4.9%、「1歳未満」が3.3%となっています。



(問29-4で「実際の取得期間」と「希望」が異なる方にうかがいます。)

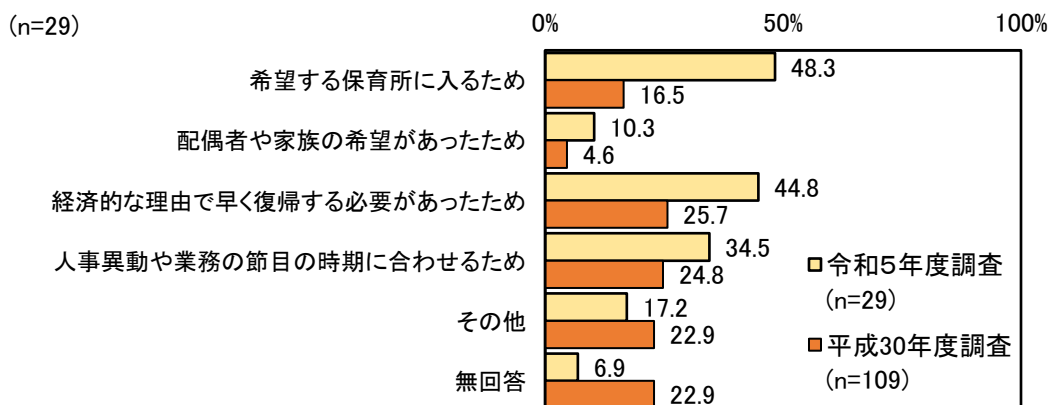
問29-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア. 「希望」より早く復帰した方

(ア) 母親

「希望する保育所に入るため」が48.3%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が44.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が34.5%、「配偶者や家族の希望があったため」が10.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」が31.8ポイント増加しています。



(イ) 父親

有効回答がありませんでした。

平成 30 年度調査では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が3件、「希望する保育所に入るため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が1件となっています。

イ. 「希望」より遅く復帰した方

(ア) 母親

「希望する保育所に入れなかったため」が3件、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が1件となっています。

平成 30 年度調査では、「希望する保育所に入れなかったため」が2件、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が1件となっています。

(イ) 父親

有効回答がありませんでした。

平成 30 年度調査では、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が1件となっています。

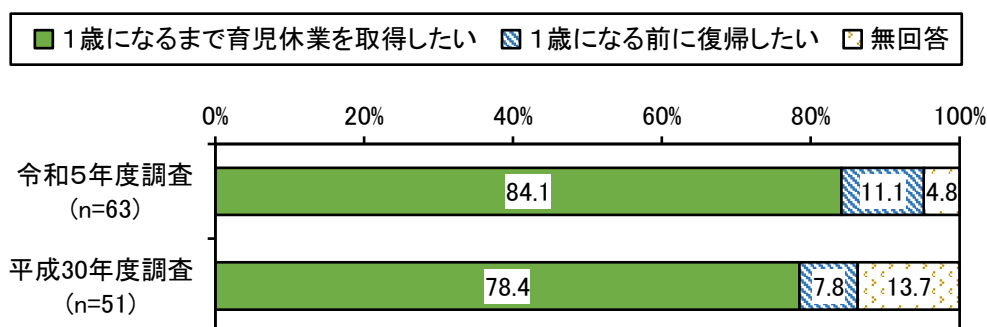
(問29-2で母親または父親が「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。)

問29-7 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

ア. 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が84.1%、「1歳になる前に復帰したい」が11.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が5.7ポイント増加しています。



イ. 父親

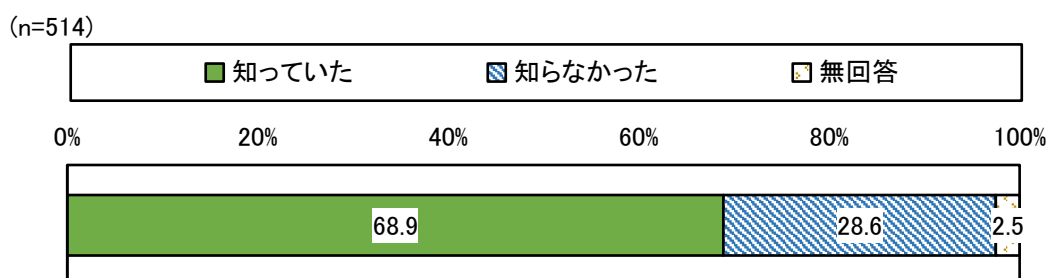
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が4件、「1歳になる前に復帰したい」が1件となっています。

平成 30 年度調査では、「1歳になる前に復帰したい」が1件となっています。

(11) ヤングケアラーについて

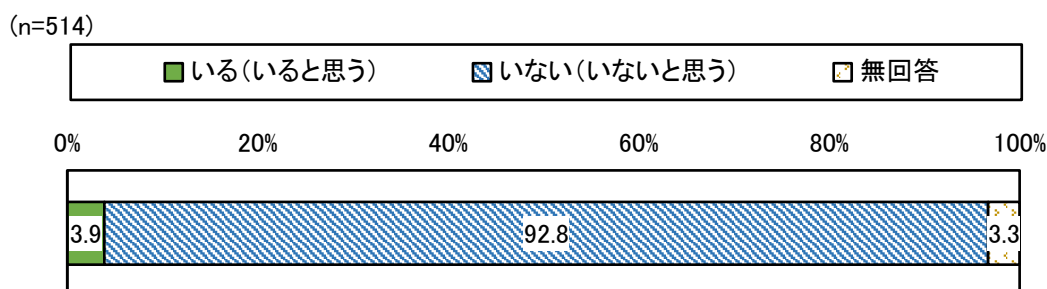
問30 あなたは、「ヤングケアラー」の定義を知っていましたか。《1つに○》

「知っていた」が68.9%、「知らなかった」が28.6%となっています。



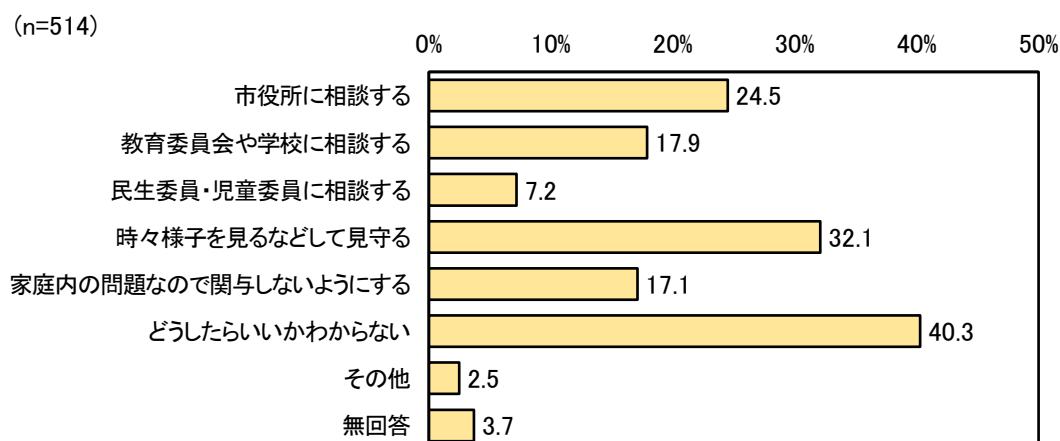
問31 あなたのご家庭、またはあなたの周りに「ヤングケアラー」と思われる児童はいますか。《1つに○》

「いる (いると思う)」が3.9%、「いない (いないと思う)」が92.8%となっています。



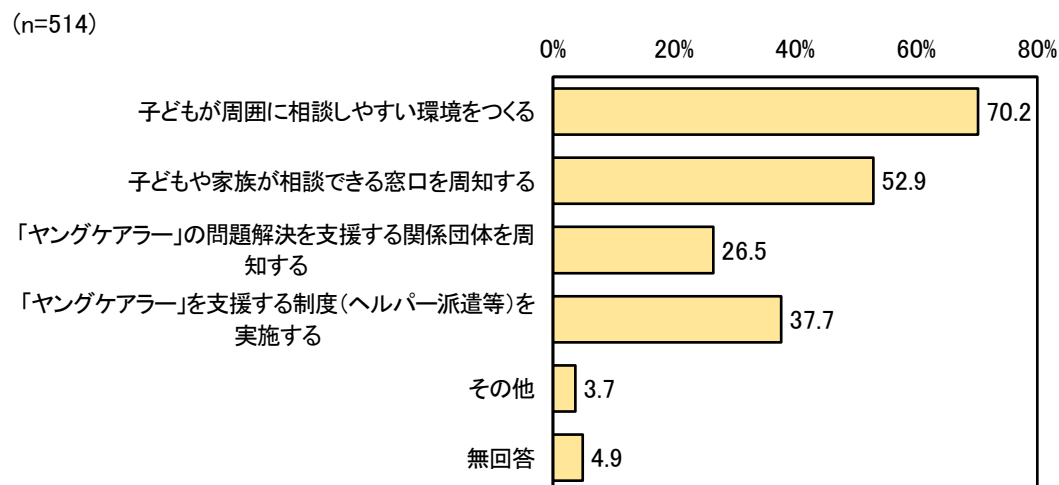
問32 「ヤングケアラー」と思われる児童を把握した場合、どのように対応しますか。《あてはまるものすべてに○》

「どうしたらいいかわからない」が40.3%で最も多く、次いで「時々様子を見るなどして見守る」が32.1%、「市役所に相談する」が24.5%、「教育委員会や学校に相談する」が17.9%、「家庭内の問題なので関与しないようにする」が17.1%となっています。



問33 「ヤングケアラー」を支援するためには何が重要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

「子どもが周囲に相談しやすい環境をつくる」が70.2%で最も多く、次いで「子どもや家族が相談できる窓口を周知する」が52.9%、「ヤングケアラー」を支援する制度（ヘルパー派遣等）を実施する」が37.7%、「ヤングケアラー」の問題解決を支援する関係団体を周知する」が26.5%となっています。



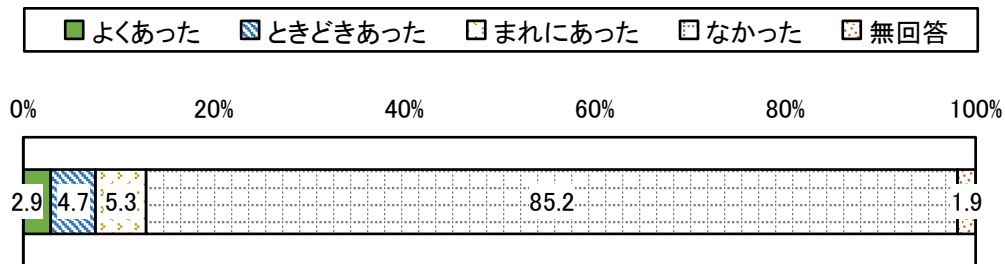
(12) ご家庭の状況について

問34 あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で以下のものが買えなかったことがありますか。《1つに○》

(1) 家族が必要とする食料

「なかった」が85.2%で最も多く、次いで「まれにあった」が5.3%、「ときどきあった」が4.7%、「よくあった」が2.9%となっています。

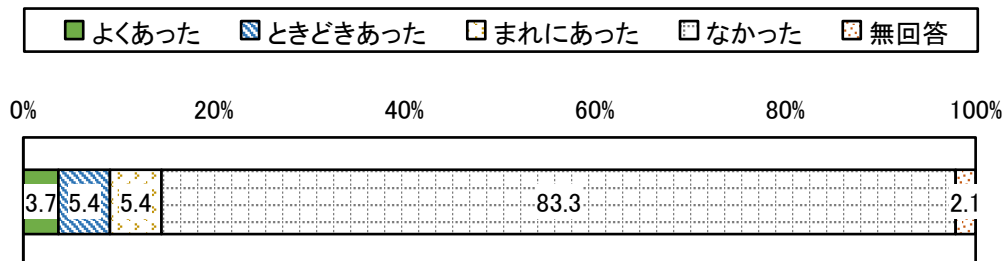
(n=514)



(2) 家族が必要とする衣類

「なかった」が83.3%で最も多く、次いで「ときどきあった」が5.4%、「まれにあった」が5.4%、「よくあった」が3.7%となっています。

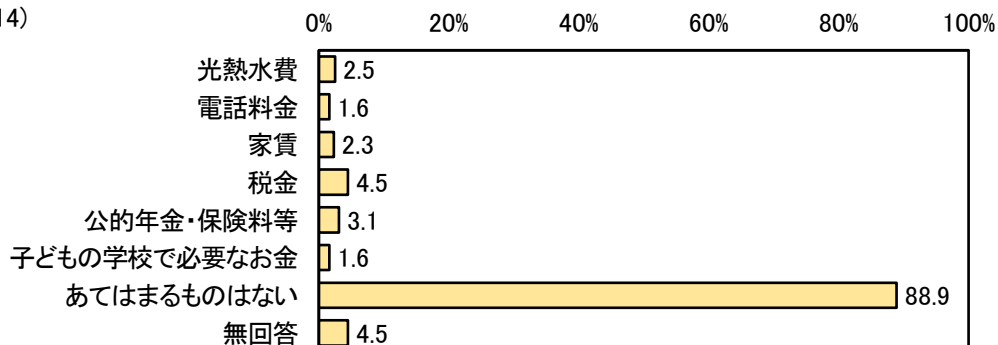
(n=514)



問35 過去1年の間に、経済的な理由で以下の料金について支払えなかったことがありますか。《あてはまるものすべてに○》

「税金」が4.5%、「公的年金・保険料等」が3.1%、「光熱水費」が2.5%、「家賃」が2.3%、「電話料金」と「子どもの学校で必要なお金」がともに1.6%となっています。また、「あてはまるものはない」が88.9%となっています。

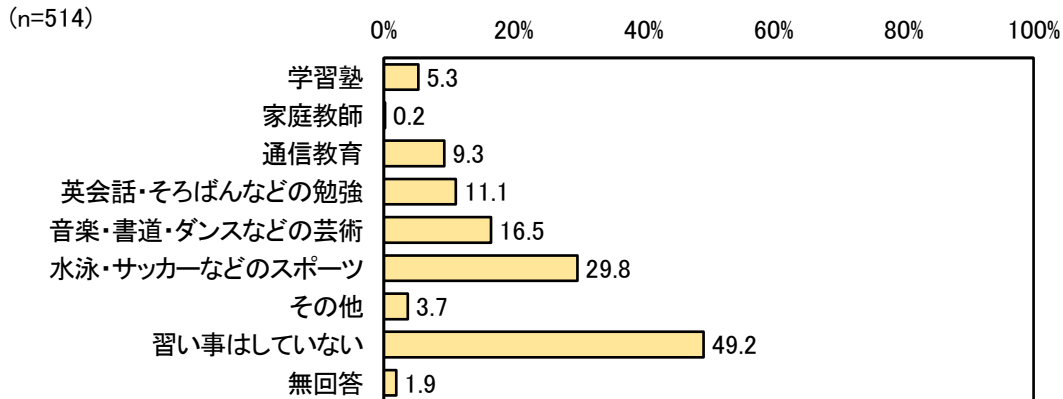
(n=514)



問36 あなたのご家庭のお子さんは、習い事をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

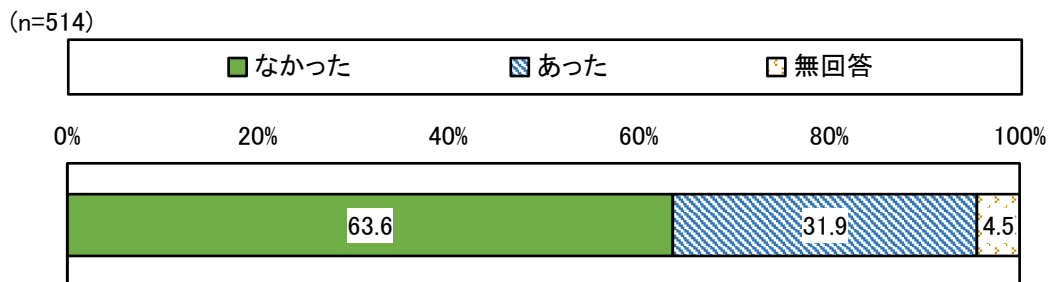
「水泳・サッカーなどのスポーツ」が29.8%で最も多く、次いで「音楽・書道・ダンスなどの芸術」が16.5%、「英会話・そろばんなどの勉強」が11.1%、「通信教育」が9.3%、「学習塾」が5.3%となっています。

また、「習い事はしていない」が49.2%となっています。



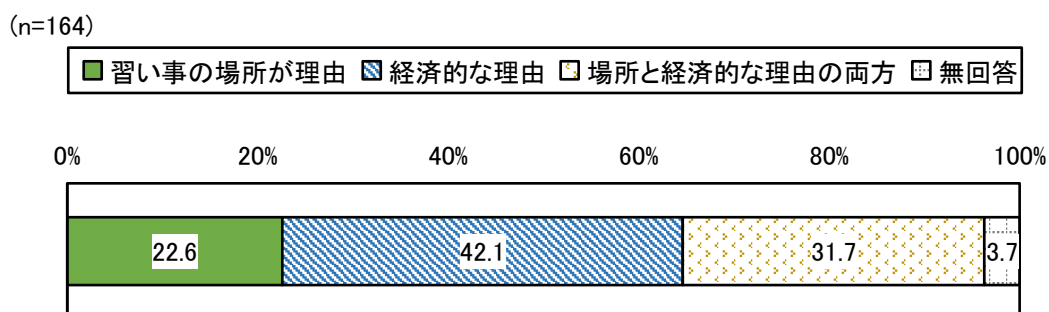
問37 あなたのご家庭のお子さんで、習い事をさせたかったが、通える範囲に習い事の場所がなくてできなかったことや、通える範囲にあっても経済的な理由でできなかったことはありますか。《1つに○》

「なかった」が63.6%、「あった」が31.9%となっています。



【理由】

「経済的な理由」が42.1%で最も多く、次いで「場所と経済的な理由の両方」が31.7%、「習い事の場所が理由」が22.6%となっています。

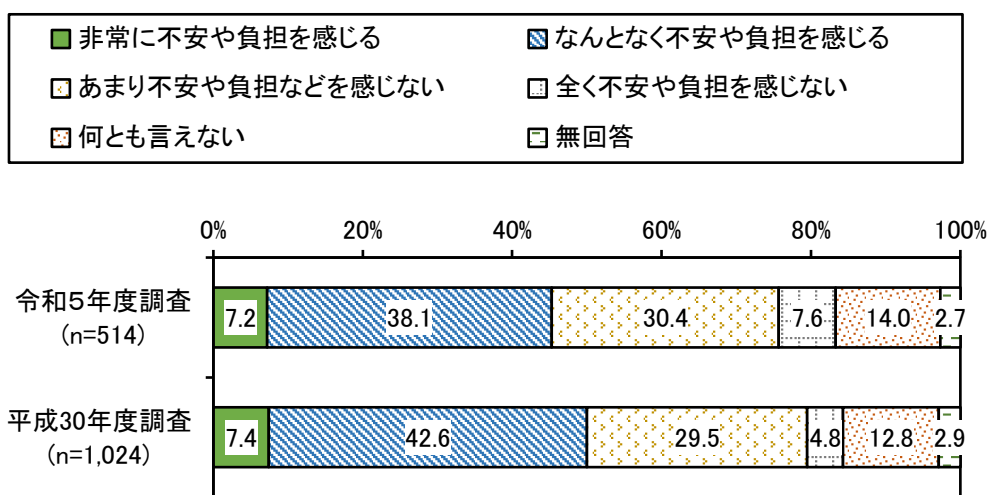


(13) 子育て全般について

問38 あなたは、子育てをどのように感じる人が多いですか。《1つに○》

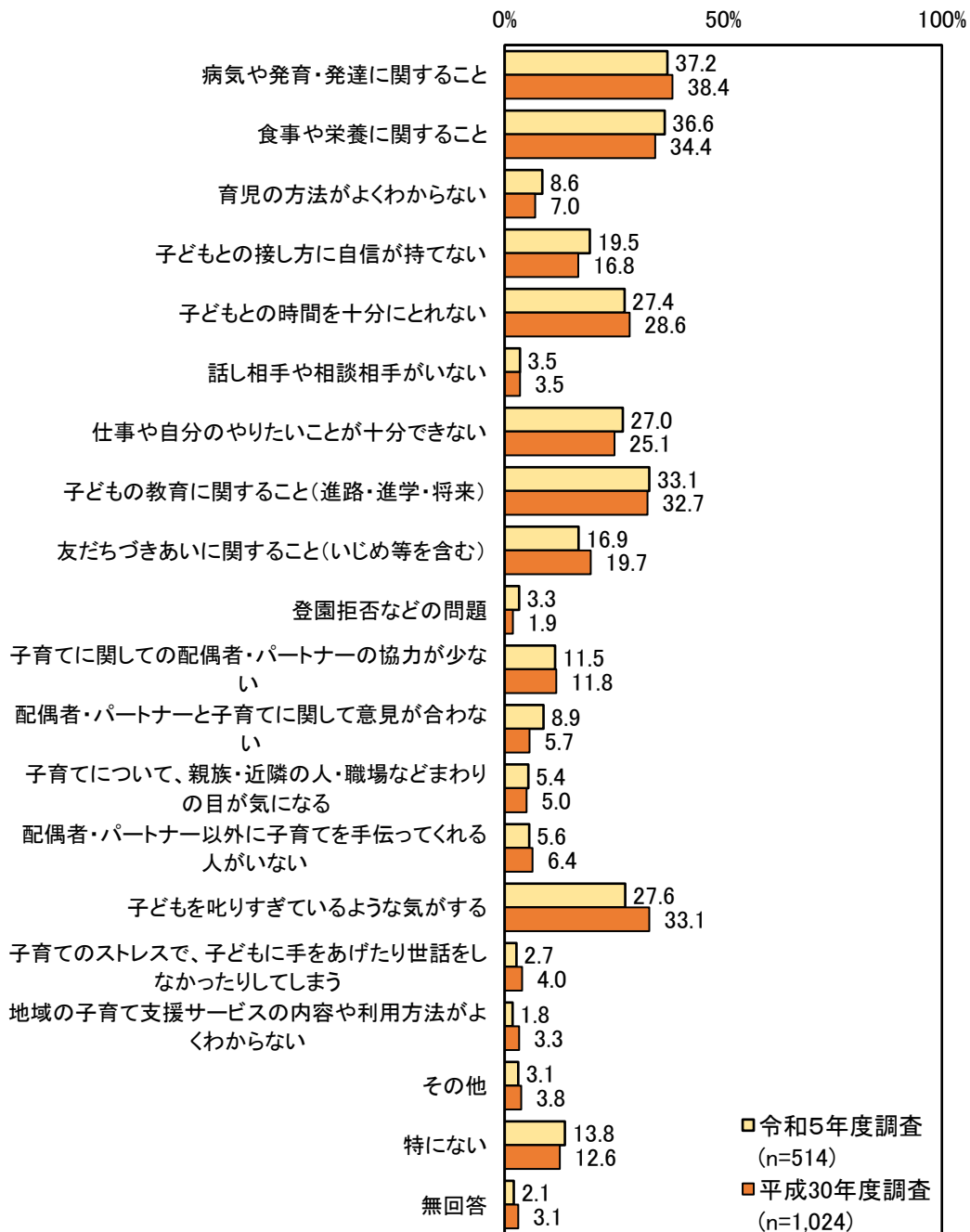
「なんとなく不安や負担を感じる」が38.1%で最も多く、次いで「あまり不安や負担などを感じない」が30.4%、「何とも言えない」が14.0%、「全く不安や負担を感じない」が7.6%、「非常に不安や負担を感じる」が7.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「なんとなく不安や負担を感じる」が4.5ポイント減少しています。



問39 あなたが子育てに関して日常的に悩んでいること、気になることは何ですか。
《あてはまるものすべてに○》

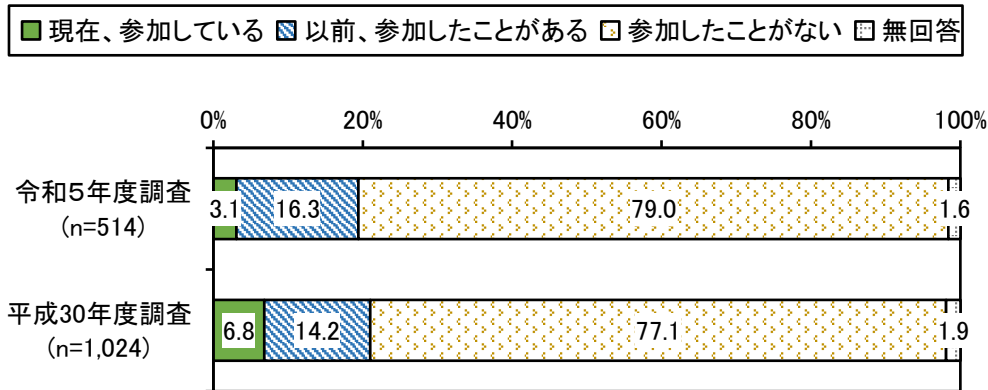
「病気や発育・発達に関すること」が37.2%で最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が36.6%、「子どもの教育に関すること（進路・進学・将来）」が33.1%、「子どもを叱りすぎているような気がする」が27.6%、「子どもとの時間を十分にとれない」が27.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問40 あなたは、あて名のお子さんについて、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。《1つに○》

「現在、参加している」が3.1%、「以前、参加したことがある」が16.3%、「参加したことがない」が79.0%となっています。

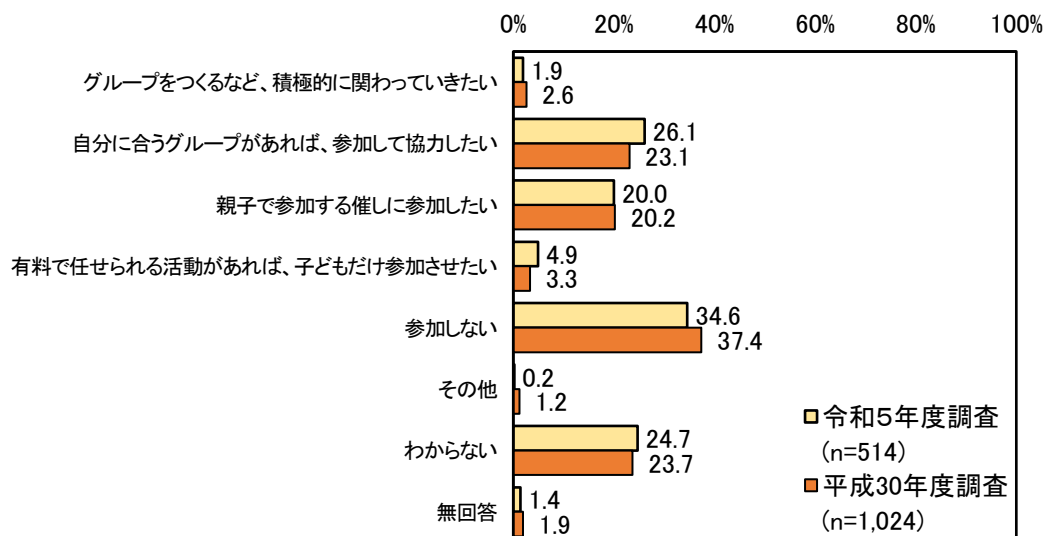
平成30年度調査と比較すると、「現在、参加している」が3.7ポイント減少しています。



問41 あなたは、今後、あて名のお子さんについて、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加するつもりはありますか。《あてはまるものすべてに○》

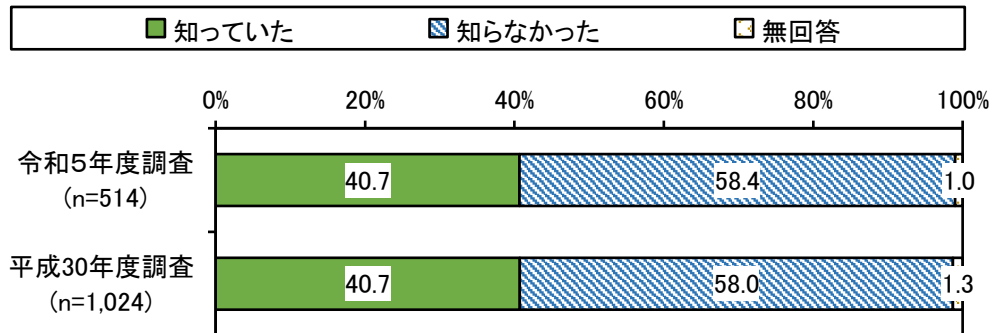
「参加しない」が34.6%で最も多く、次いで「自分に合うグループがあれば、参加して協力したい」が26.1%、「親子で参加する催しに参加したい」が20.0%、「有料で任せられる活動があれば、子どもだけ参加させたい」が4.9%、「グループをつくるなど、積極的に関わっていききたい」が1.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問42 あなたは、児童虐待相談の窓口として児童相談所（海部児童・障害者相談センター）の他に、市が窓口になっていることを知っていますか。《1つに○》

「知っていた」が40.7%、「知らなかった」が58.4%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

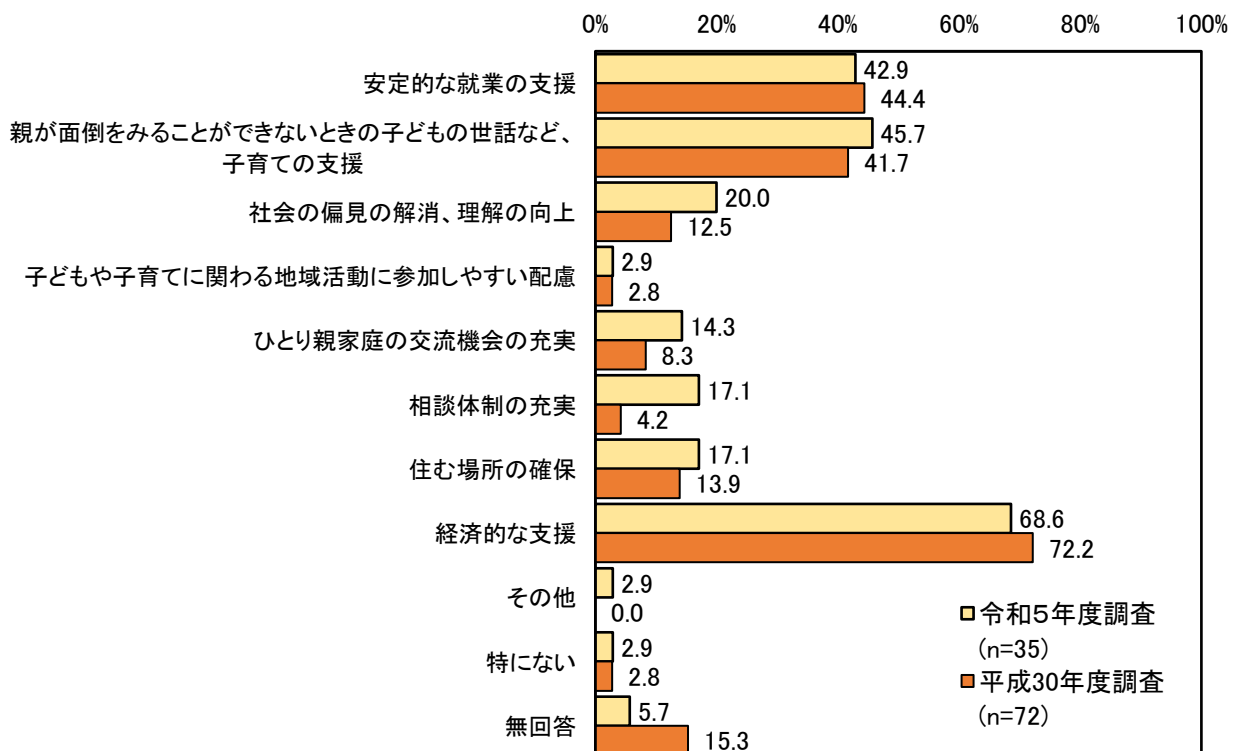


（【ひとり親家庭】の方にかがいます。）

問43 あて名のお子さんを育てるために必要な支援は、次のうちどれでしょうか。《あてはまるもの3つまでに○》

「経済的な支援」が68.6%で最も多く、次いで「親が面倒をみるできないときの子ども
の世話など、子育ての支援」が45.7%、「安定的な就業の支援」が42.9%、「社会の偏見の解消、
理解の向上」が20.0%、「相談体制の充実」と「住む場所の確保」がともに17.1%となっていま
す。

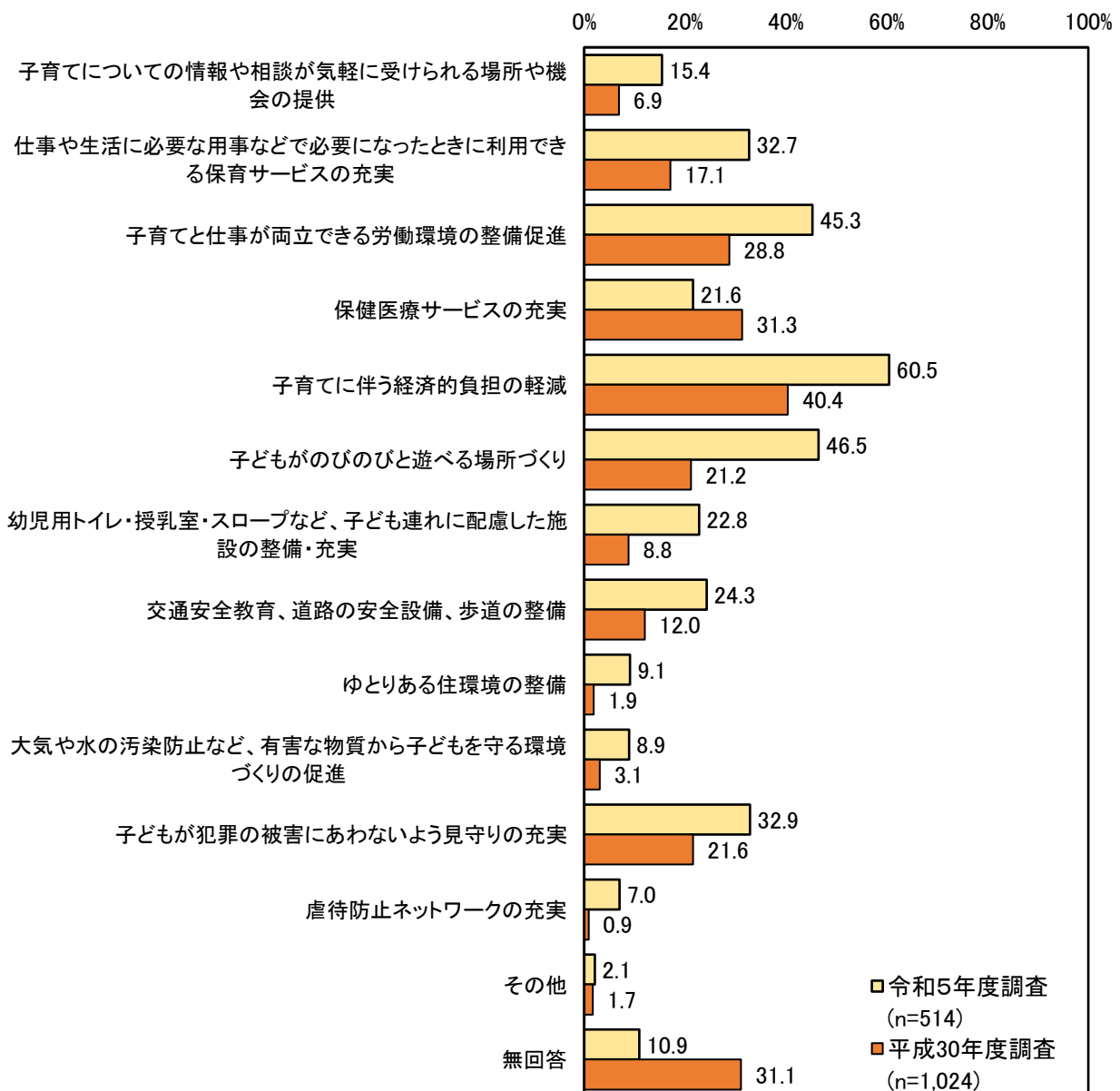
平成30年度調査と比較すると、特に「相談体制の充実」が12.9ポイント増加しています。



問44 あなたは、あて名のお子さんを健やかに育てるために、今後、市・県・国にどのようなことを期待しますか。《あてはまるもの3つまでに○》

「子育てに伴う経済的負担の軽減」が60.5%で最も多く、次いで「子どもがのびのびと遊べる場所づくり」が46.5%、「子育てと仕事が両立できる労働環境の整備促進」が45.3%、「子どもが犯罪の被害にあわないよう見守りの充実」が32.9%、「仕事や生活に必要な用事などで必要になったときに利用できる保育サービスの充実」が32.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「保健医療サービスの充実」を除く項目が増加しています。

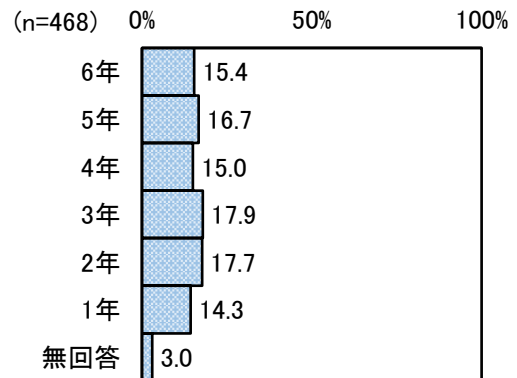


2 就学児童

(1) 宛名のお子さんご家族の状況について

問1 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

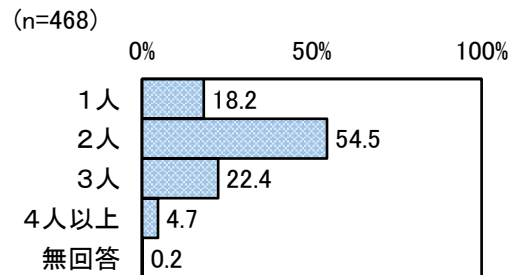
「3年」が17.9%で最も多く、次いで「2年」が17.7%、「5年」が16.7%、「6年」が15.4%、「4年」が15.0%となっています。



問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人ですか。2人以上の場合、末のお子さんの年齢（令和5年10月1日現在の年齢）をお書きください

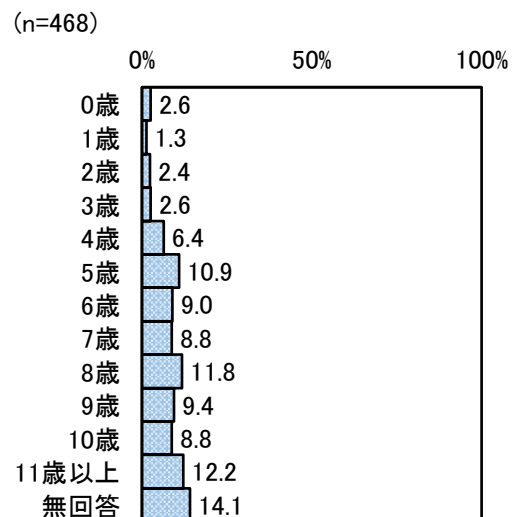
ア. お子さんの数

「2人」が54.5%で最も多く、次いで「3人」が22.4%、「1人(宛名の子どものみ)」が18.2%、「4人以上」が4.7%となっています。



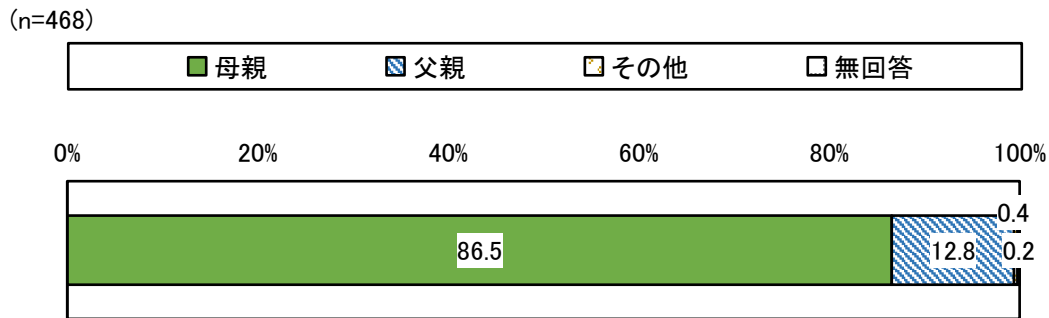
イ. 末子の年齢

「11歳以上」が12.2%で最も多く、次いで「8歳」が11.8%、「5歳」が10.9%、「9歳」が9.4%、「6歳」が9.0%となっています。



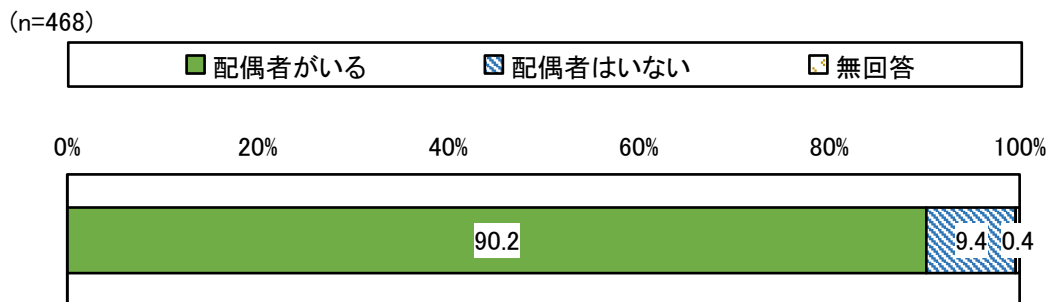
問3 この調査票にご回答いただく方（以後、「あなた」といいます。）は、どなたですか。
《1つに○》

「母親」が86.5%、「父親」が12.8%となっています。



問4 あなたに配偶者（夫または妻）はいらっしゃいますか。《1つに○》

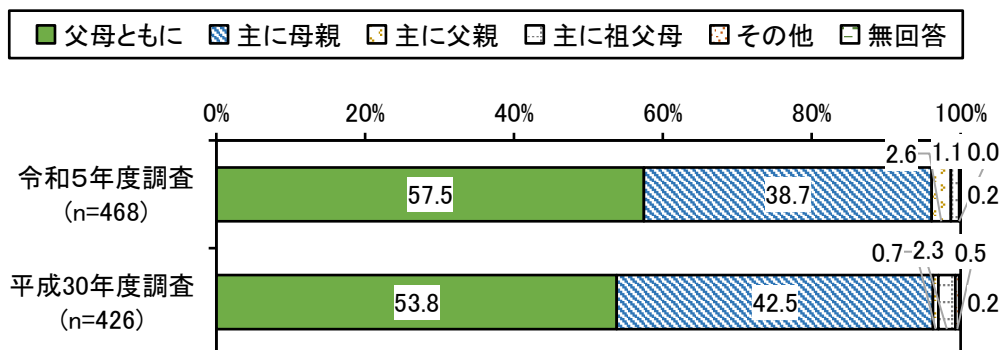
「配偶者がいる」が90.2%、「配偶者はいない」が9.4%となっています。



問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。
《1つに○》

「父母ともに」が57.5%で最も多く、次いで「主に母親」が38.7%、「主に父親」が2.6%、「主に祖父母」が1.1%となっています。

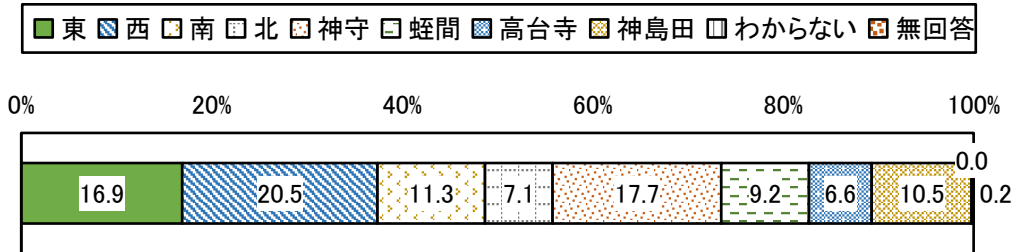
平成30年度調査と比較すると、「主に母親」が3.8ポイント減少しています。



問6 お住まいの小学校区を教えてください。《1つに○》

「西」が20.5%で最も多く、次いで「神守」が17.7%、「東」が16.9%、「南」が11.3%、「神島田」が10.5%となっています。

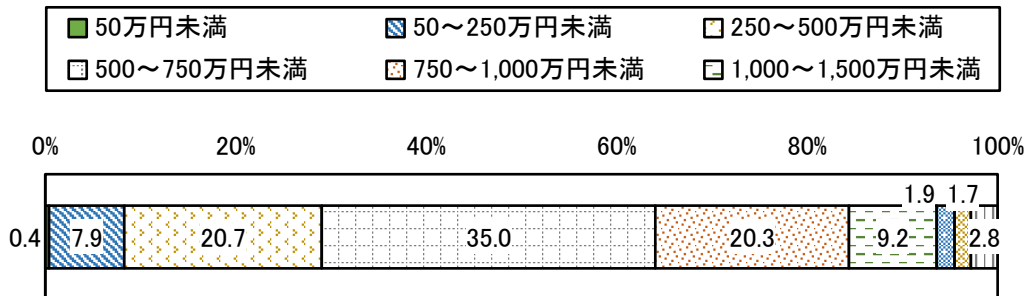
(n=468)



問7 前年（2023年）のあなたのご家庭の家族全員の合計収入金額は、およそいくらでしたか。《1つに○》

「500～750万円未満」が35.0%で最も多く、次いで「250～500万円未満」が20.7%、「750～1,000万円未満」が20.3%、「1,000～1,500万円未満」が9.2%、「50～250万円未満」が7.9%となっています。

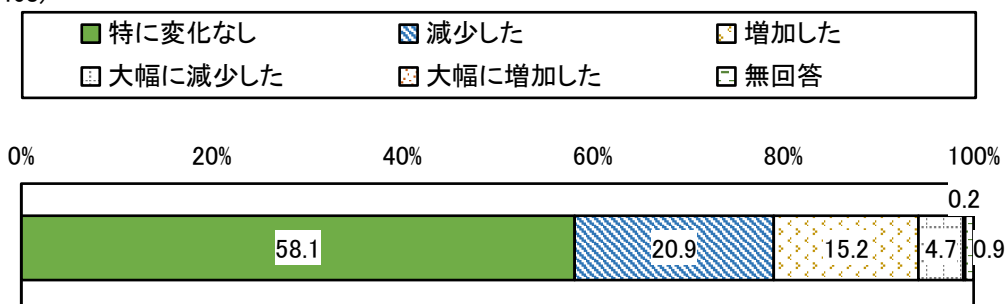
(n=468)



問8 前年（2023年）の家族全員の合計収入金額は、前々年（2022年）と比較してどのように変化しましたか。《1つに○》

「特に変化なし」が58.1%で最も多く、次いで「減少した」が20.9%、「増加した」が15.2%、「大幅に減少した」が4.7%、「大幅に増加した」が0.2%となっています。

(n=468)

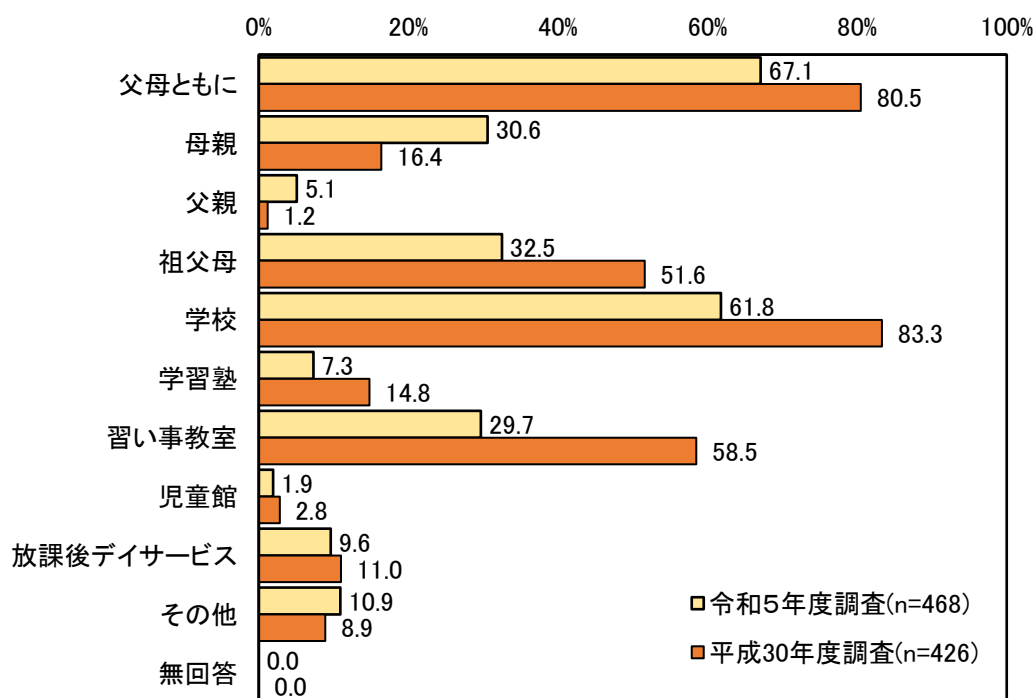


(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問9 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。《あてはまるものすべてに○》

「父母ともに」が67.1%で最も多く、次いで「学校」が61.8%、「祖父母」が32.5%、「母親」が30.6%、「習い事教室」が29.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「母親」が14.2%ポイント増加しています。



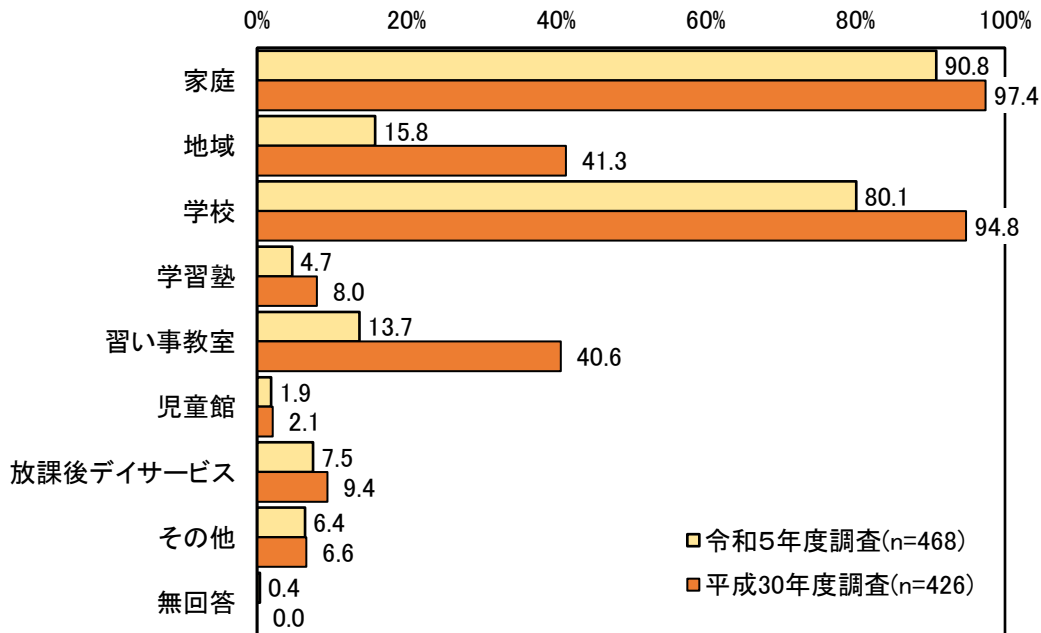
【その他の回答】

学童、放課後児童クラブ、姉、放課後こども教室、元々通っていた幼稚園の学童のようなところ、主治医、こどもの家(学童)、スポーツ少年団、同居人、クラブスポーツ、タブレット学習、なかよし、祖父

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は何だと思えますか。《あてはまるものすべてに○》

「家庭」が90.8%で最も多く、次いで「学校」が80.1%、「地域」が15.8%、「習い事教室」が13.7%、「放課後デイサービス」が7.5%となっています。

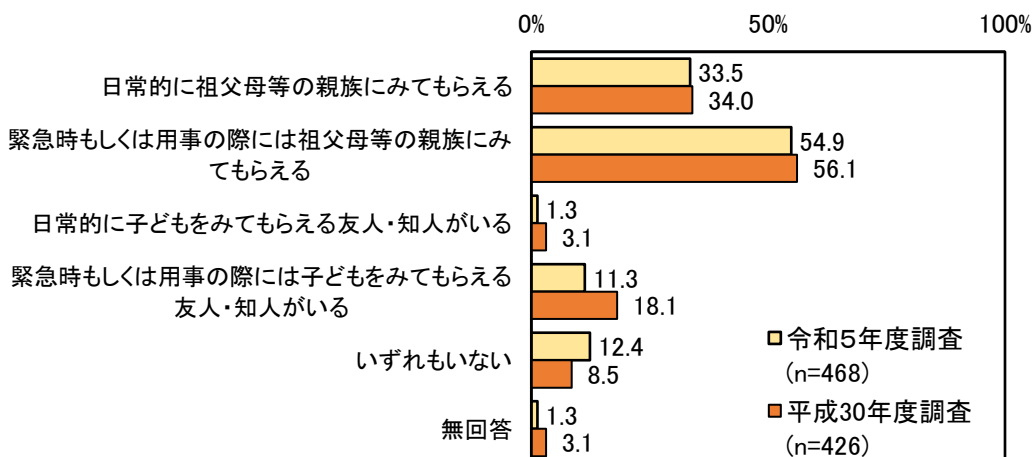
平成30年度調査と比較すると、すべての項目で減少しています。



問11 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。《あてはまるものすべてに○》

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が54.9%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が33.5%、「いずれもない」が12.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が11.3%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が6.8ポイント減少しています。

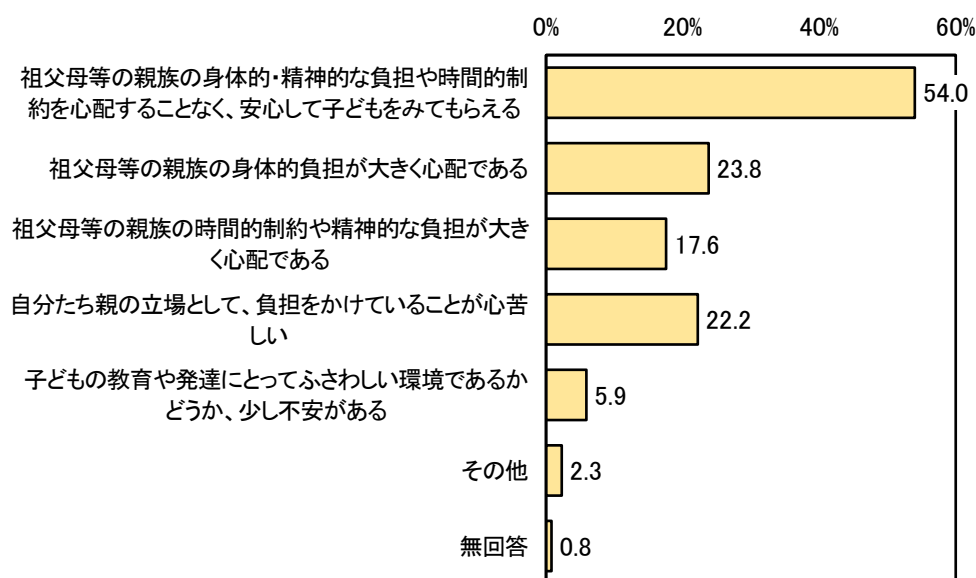


(問11で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてうかがいます。
《あてはまるものすべてに○》

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が54.0%で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が23.8%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.2%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が17.6%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」が5.9%となっています。

(n=387)



【学年別クロス】

単位：%

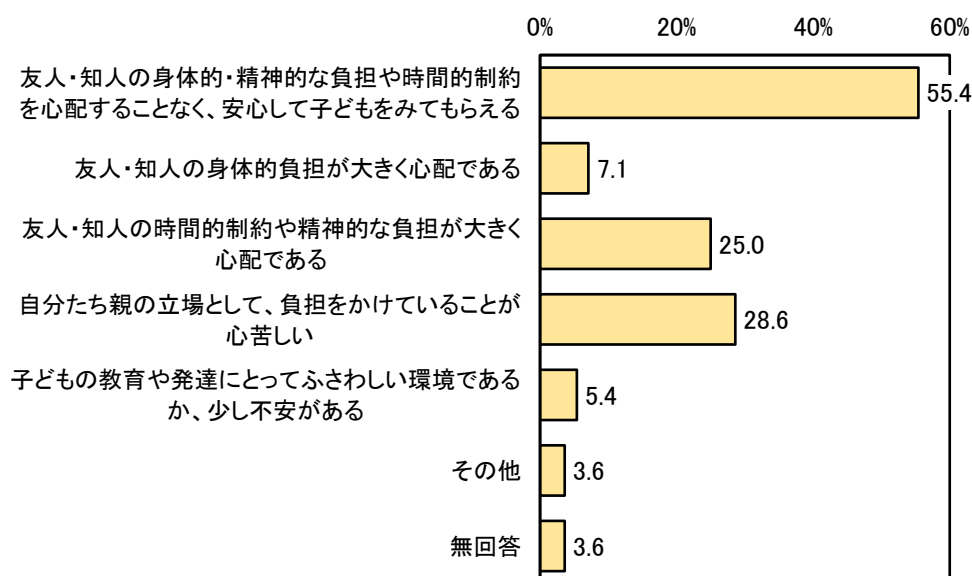
	回答者数 (人)	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある	その他	無回答
全体	387	54.0	23.8	17.6	22.2	5.9	2.3	0.8
6年	60	63.3	23.3	11.7	15.0	8.3	1.7	1.7
5年	60	45.0	30.0	28.3	21.7	5.0	1.7	-
4年	58	56.9	22.4	15.5	22.4	10.3	3.4	3.4
3年	70	51.4	22.9	15.7	22.9	4.3	2.9	-
2年	71	57.7	23.9	18.3	22.5	8.5	2.8	-
1年	57	45.6	21.1	15.8	31.6	-	1.8	-

(問11で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-2 友人・知人にお子さんを見てもらっている状況についてうかがいます
《あてはまるものすべてに○》

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が55.4%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が28.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が25.0%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が7.1%、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が5.4%となっています。

(n=56)



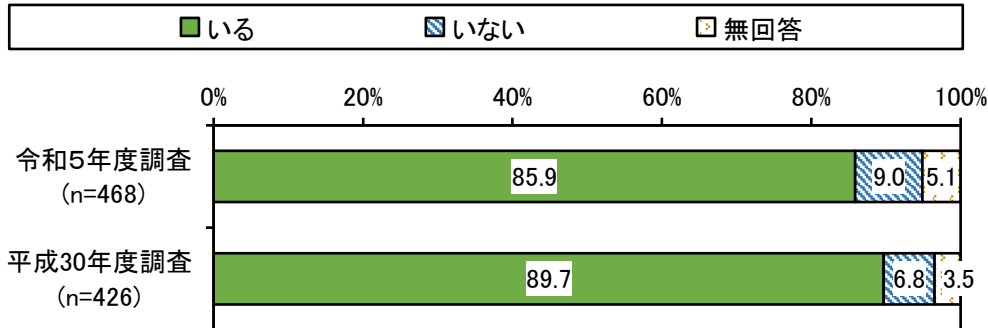
【学年別クロス】

単位：%

	回答者数 (人)	友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる	友人・知人の身体的負担が大きく心配である	友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
全体	56	55.4	7.1	25.0	28.6	5.4	3.6	3.6
6年	8	50.0	-	12.5	25.0	-	-	12.5
5年	11	54.5	-	18.2	27.3	9.1	9.1	-
4年	9	22.2	22.2	55.6	66.7	-	-	-
3年	9	55.6	-	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1
2年	12	75.0	16.7	25.0	25.0	-	-	-
1年	5	60.0	-	20.0	20.0	-	-	-

問12 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がいますか。《1つに○》

「いる」が85.9%、「いない」が9.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

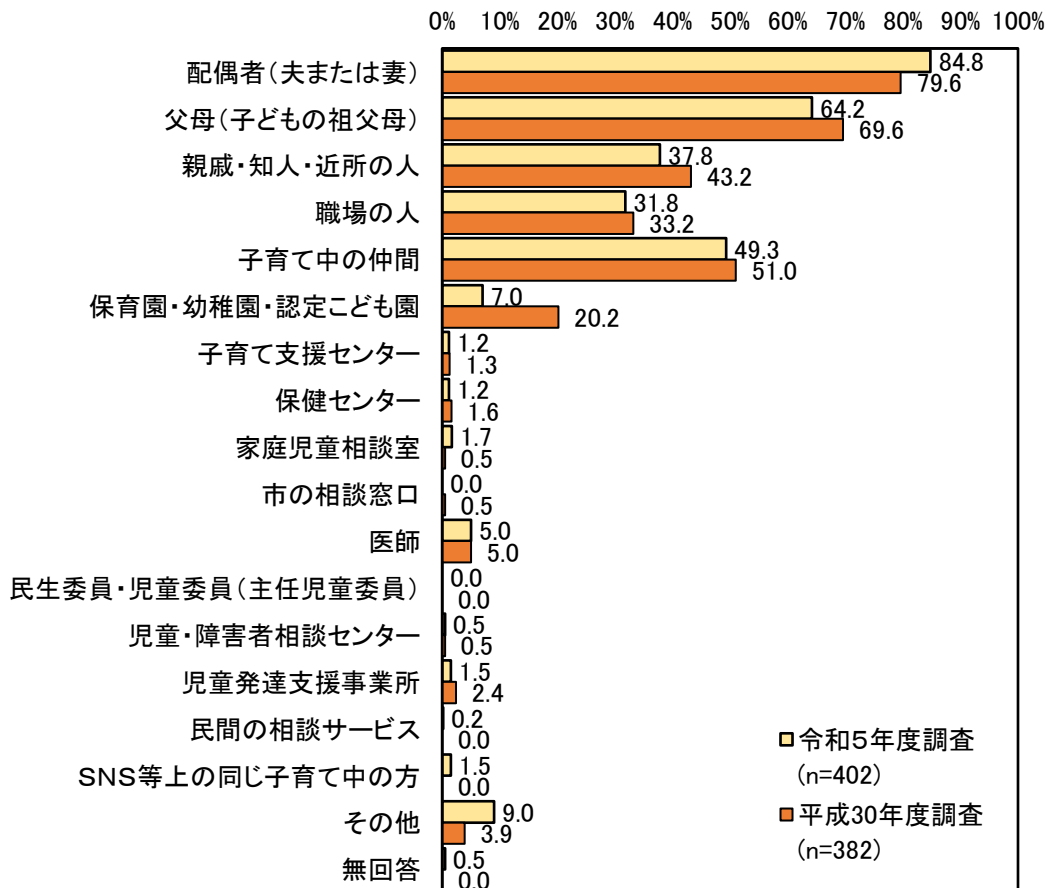


(問12で「1。」に○をつけた方にかがいます。)

問12-1 子育てに関する悩みや不安をどなたに相談していますか。《あてはまるものすべてに○》

「配偶者（夫または妻）」が84.8%で最も多く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が64.2%、「子育て中の仲間」が49.3%、「親戚・知人・近所の人」が37.8%、「職場の人」が31.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「保育園・幼稚園・認定こども園」が13.2ポイント減少しています。



※平成30年度調査では、「SNS等上の同じ子育て中の方」の項目はない。

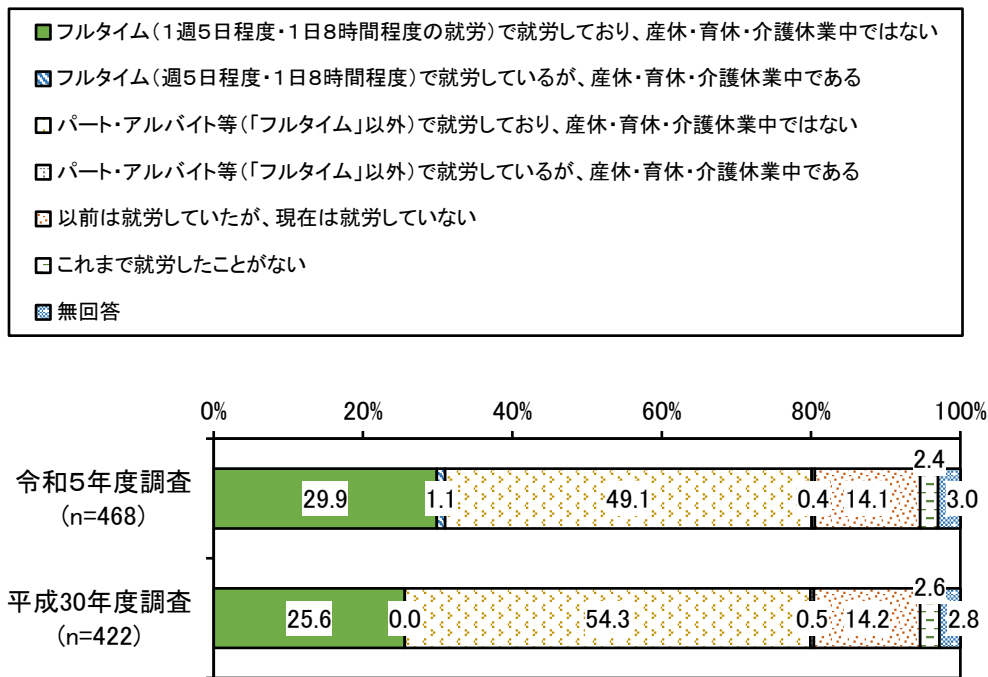
(3) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。1つに○》

ア. 母親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が49.1%で最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.1%、「これまで就労したことがない」が2.4%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、『フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）』が増加しています。



【学年別クロス】

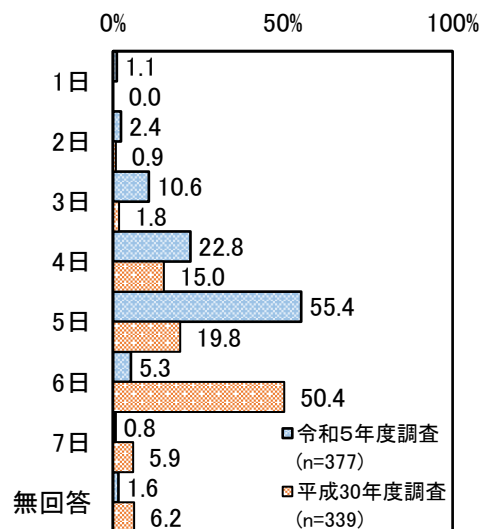
単位：%

	回答者数 (人)	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	468	29.9	1.1	49.1	0.4	14.1	2.4	3.0
6年	72	26.4	1.4	59.7	-	6.9	-	5.6
5年	78	25.6	-	51.3	-	15.4	5.1	2.6
4年	70	34.3	1.4	41.4	-	15.7	4.3	2.9
3年	84	31.0	1.2	47.6	1.2	17.9	-	1.2
2年	83	34.9	-	47.0	1.2	12.0	2.4	2.4
1年	67	28.4	3.0	44.8	-	17.9	3.0	3.0

(ア) 1週あたり就労日数

「5日」が55.4%で最も多く、次いで「4日」が22.8%、「3日」が10.6%、「6日」が5.3%、「2日」が2.4%となっています。

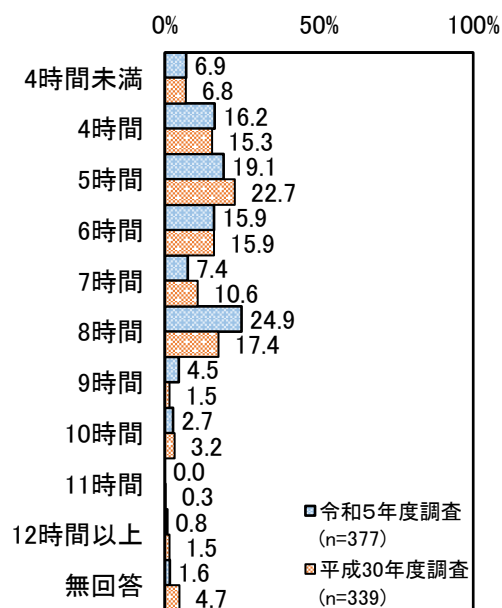
平成30年度調査と比較すると、「5日」が35.6ポイント増加しています。



(イ) 1日あたり就労時間

「8時間」が24.9%で最も多く、次いで「5時間」が19.1%、「4時間」が16.2%、「6時間」が15.9%、「7時間」が7.4%となっています。

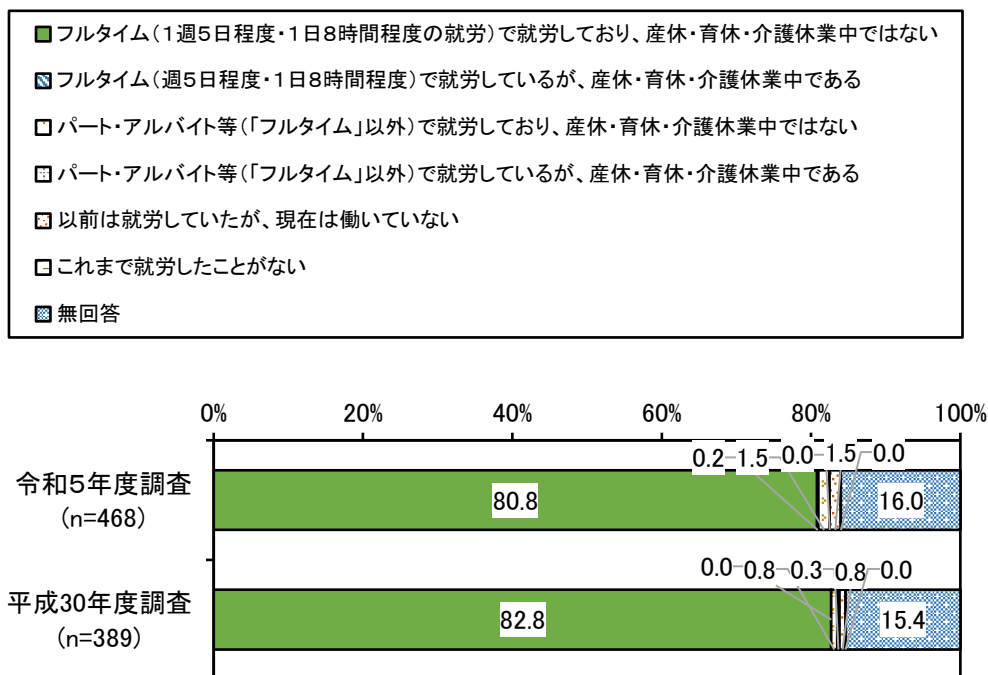
平成30年度調査と比較すると、「8時間」が7.5ポイント増加しています。



イ. 父親

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が80.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が1.5%、「以前は就労していたが、現在は働いていない」が1.5%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別クロス】

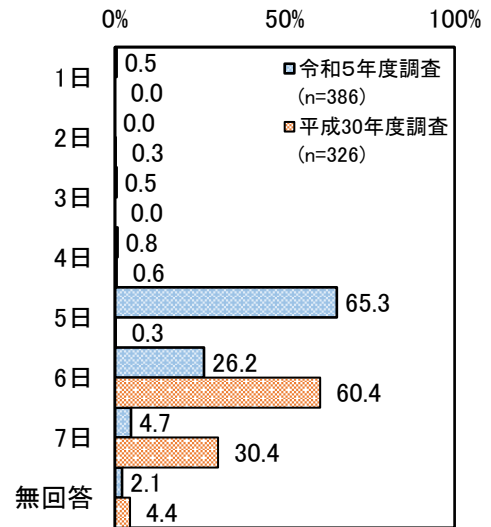
単位：%

	回答者数 (人)	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は働いていない	これまで就労したことがない	無回答
全体	468	80.8	0.2	1.5	-	1.5	-	16.0
6年	72	84.7	-	-	-	-	-	15.3
5年	78	80.8	-	3.8	-	2.6	-	12.8
4年	70	77.1	-	-	-	-	-	22.9
3年	84	78.6	1.2	3.6	-	-	-	16.7
2年	83	85.5	-	1.2	-	1.2	-	12.0
1年	67	77.6	-	-	-	4.5	-	17.9

(ア) 1週あたり就労日数

「5日」が65.3%で最も多く、次いで「6日」が26.2%、「7日」が4.7%、「4日」が0.8%となっています。

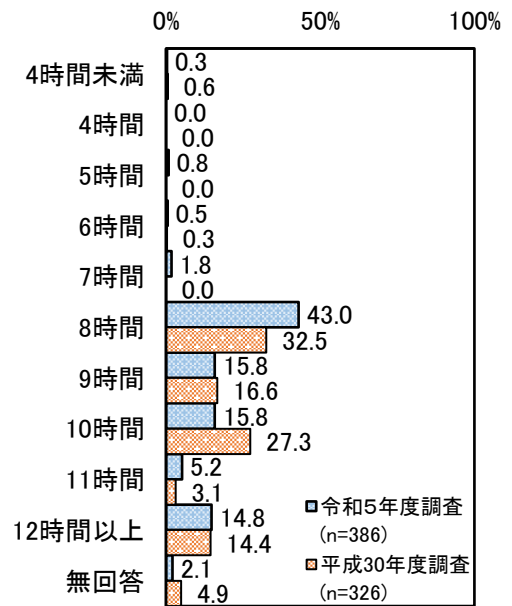
平成30年度調査と比較すると、「5日」が65.0ポイント増加しています。



(イ) 1日あたり就労時間

「8時間」が43.0%で最も多く、次いで「9時間」が15.8%、「10時間」が15.8%、「12時間以上」が14.8%、「11時間」が5.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間」が10.5ポイント増加しています。



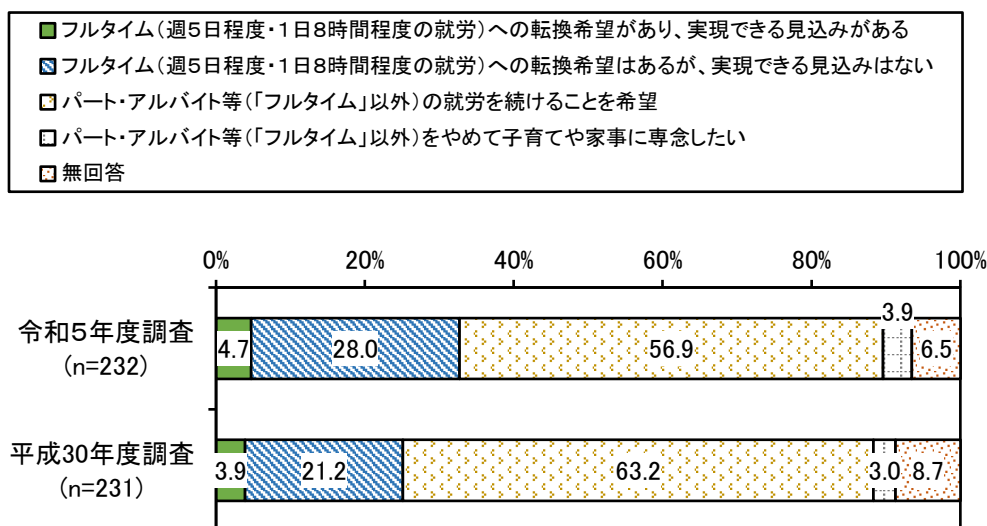
問13の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 フルタイムへの転換希望はありますか。《1つに○》

ア. 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が56.9%で最も多く、次いで「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.0%、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が4.7%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」が3.9%、「無回答」が6.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が6.8ポイント増加しています。



イ. 父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が3件となっています。

平成30年度調査では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件となっています。

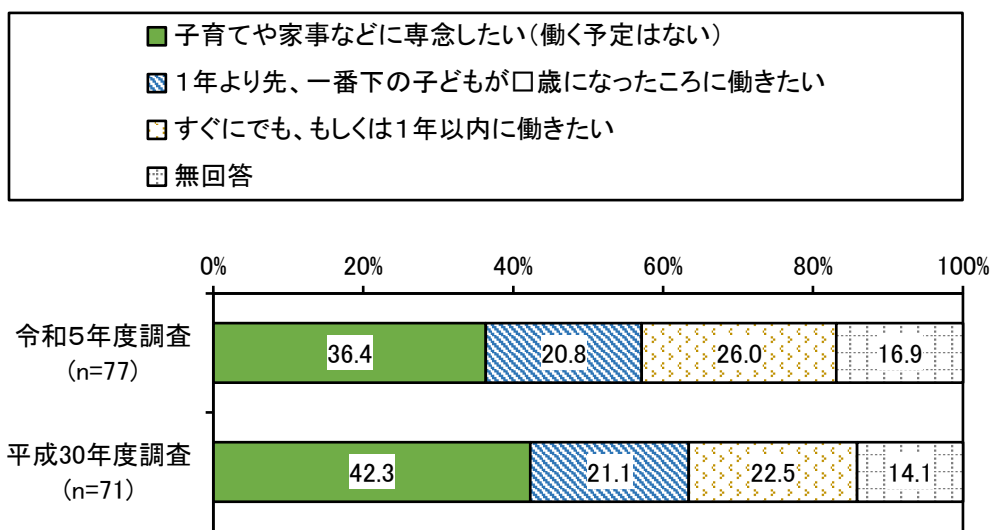
問13の(1)または(2)で「5.」または「6.」(就労していない)に○をつけた方
にうかがいます。

問13-2 就労したいという希望はありますか。《1つに○》

ア. 母親

「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が36.4%で最も多く、次いで「すぐ
でも、もしくは1年以内に働きたい」が26.0%、「1年より先、一番下の子どもが□歳になっ
たころに働きたい」が20.8%となっています。

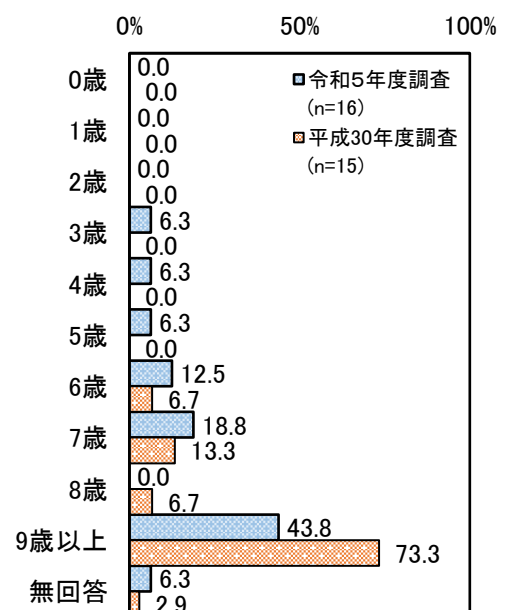
平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が5.9
ポイント増加しています。



(ア) 一番下の子どもが()歳になったころ

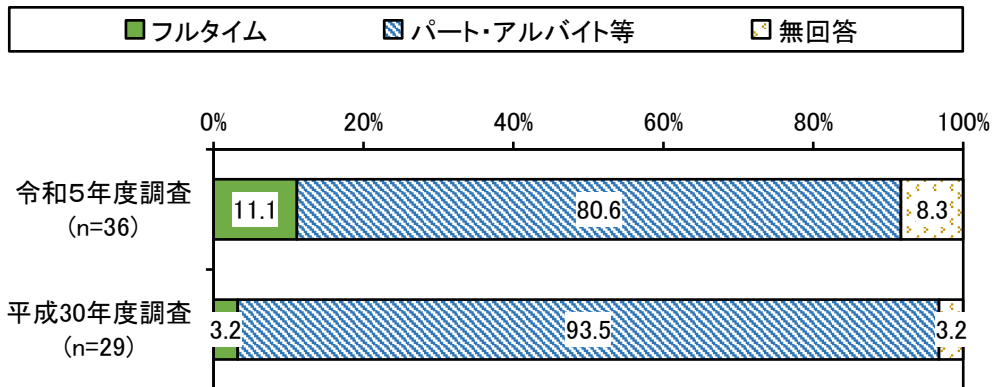
「9歳以上」が43.8%で最も多く、次いで「7歳」が18.8%、「6歳」が12.5%、「3歳」、「4歳」、「5歳」がいずれも6.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9歳以上」が29.5ポイント減少しています。



(イ) 希望する就労形態

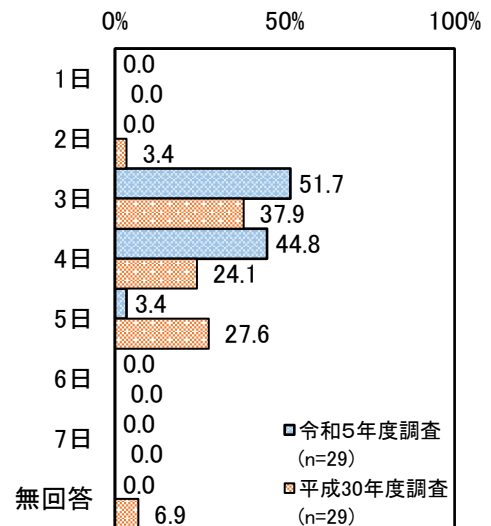
「フルタイム」が11.1%、「パート・アルバイト等」が80.6%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、「フルタイム」が7.9ポイント増加しています。



①希望1週あたり就労日数

「3日」が51.7%で最も多く、次いで「4日」が44.8%、「5日」が3.4%となっています。

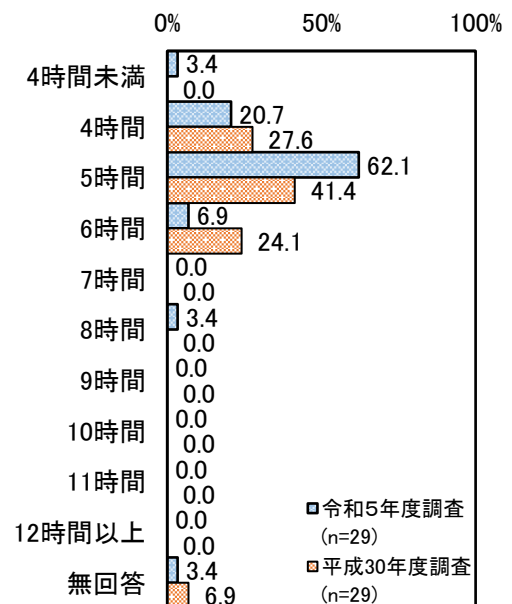
平成30年度調査と比較すると、「4日」が20.7ポイント増加しています。



②希望1日あたり就労時間

「5時間」が62.1%で最も多く、次いで「4時間」が20.7%、「6時間」が6.9%、「4時間未満」と「8時間」が3.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5時間」が20.7ポイント増加しています。



イ. 父親

「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が4件、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が3件となっています。

平成30年度調査では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件となっています。

(ア) 一番下の子どもが（ ）歳になったころ

有効回答がありませんでした。

平成30年度調査では、有効回答がありませんでした。

(イ) 希望する就労形態

「パート・アルバイト等」が2件となっています。

平成30年度調査では、「フルタイム」が3件、「パートタイム・アルバイト等」が0件となっています。

①希望1週あたり就労日数

「4日」が1件、「5日」が1件となっています。

平成30年度調査では、有効回答がありませんでした。

②希望1日あたり就労時間

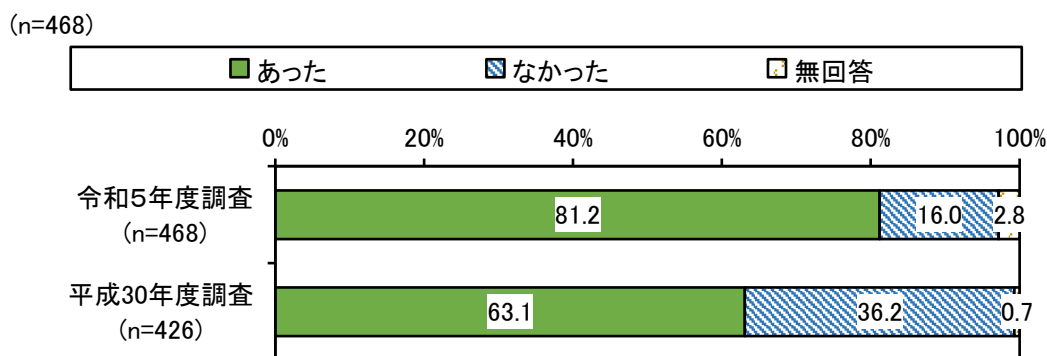
「5時間」が1件、「8時間」が1件となっています。

平成30年度調査では、有効回答がありませんでした。

(4) あて名のお子さんが病気の際の対応、宿泊を伴う一時預かりについて

問14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。《1つに○》

「あった」が81.2%、「なかった」が16.0%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「あった」が18.1ポイント増加しています。



【学年別クロス】

学年別で見ると、他に比べ、小学2年生で「あった」が9割以上と高くなっています。

単位：%

	回答者数 (人)	あった	なかった	無回答
全体	468	81.2	16.0	2.8
6年	72	77.8	22.2	-
5年	78	76.9	20.5	2.6
4年	70	78.6	14.3	7.1
3年	84	79.8	14.3	6.0
2年	83	94.0	6.0	-
1年	67	80.6	19.4	-

【母親の就労別】

母親の就労別で見ると、いずれの就労形態でも「あった」が多くなっています。

単位：%

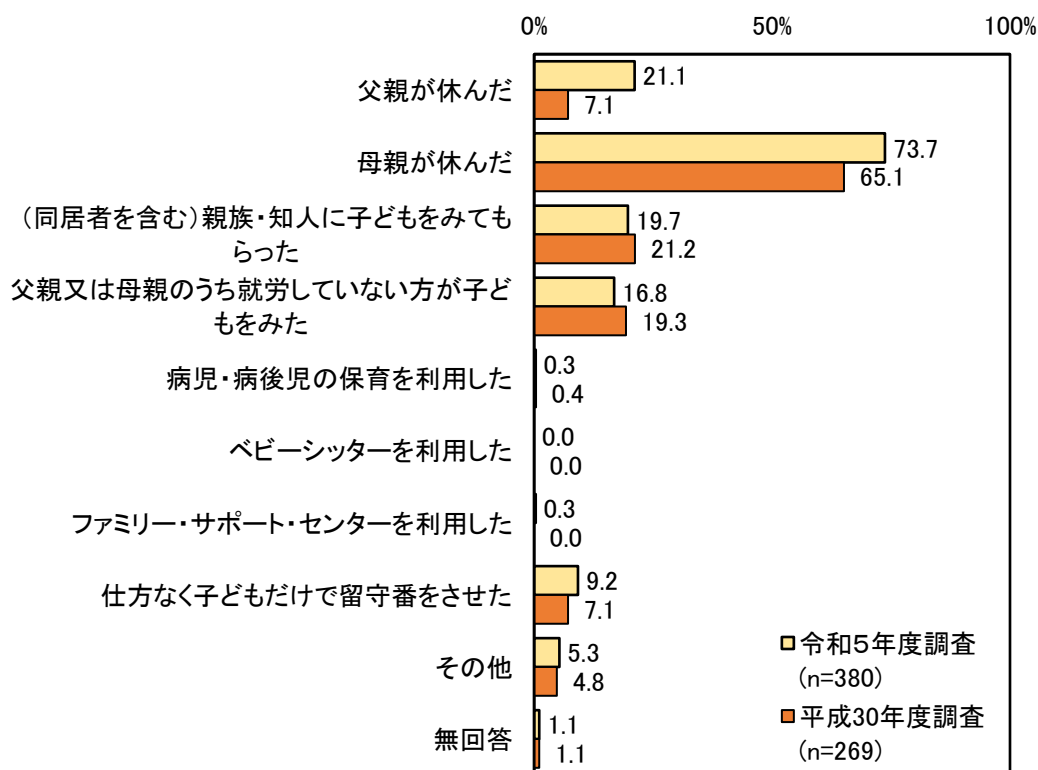
	回答者数 (人)	あった	なかった	無回答
全体	468	81.2	16.0	2.8
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	140	78.6	15.7	5.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	60.0	40.0	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	230	82.6	16.1	1.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	100.0	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	66	83.3	15.2	1.5
これまで就労したことがない	11	72.7	27.3	-

問14で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問14-1 あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

「母親が休んだ」が73.7%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が21.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が19.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が16.8%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が9.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると「父親が休んだ」が14.0ポイント増加しています。



【対処日数】

対処日数をみると、他に比べ、「父親が休んだ」では「1日」が、「母親が休んだ」では「5～9日」が多くなっています。

単位：%

	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5～9日	10～19日	20～29日	30～39日	40～49日	50日以上	無回答
父親が休んだ	80	26.3	17.5	15.0	5.0	16.3	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3
母親が休んだ	280	8.2	14.6	12.9	5.4	26.8	15.0	3.6	1.1	0.0	0.4	12.1
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	75	13.3	16.0	12.0	8.0	25.3	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	64	3.1	17.2	12.5	3.1	21.9	14.1	7.8	1.6	0.0	0.0	18.8
病児・病後児の保育を利用した	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	35	11.4	40.0	22.9	0.0	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0	5.7	8.6
その他	20	10.0	5.0	0.0	15.0	25.0	20.0	0.0	5.0	0.0	0.0	20.0

【年齢別】

年齢別でみると、いずれの学年も「母親が休んだ」が最も多くなっており、特に小学3年生では8割以上となっています。

単位：％

	回答者数 (人)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	380	21.1	73.7	19.7	16.8	0.3	-	0.3	9.2	5.3	1.1
6年	56	19.6	75.0	19.6	12.5	-	-	-	17.9	1.8	3.6
5年	60	18.3	63.3	16.7	13.3	-	-	-	13.3	8.3	1.7
4年	55	20.0	69.1	20.0	23.6	1.8	-	-	12.7	5.5	-
3年	67	20.9	80.6	16.4	11.9	-	-	1.5	7.5	7.5	-
2年	78	17.9	79.5	21.8	21.8	-	-	-	2.6	2.6	1.3
1年	54	27.8	72.2	24.1	18.5	-	-	-	3.7	5.6	-

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「母親が休んだ」が最も多くなっています。

単位：％

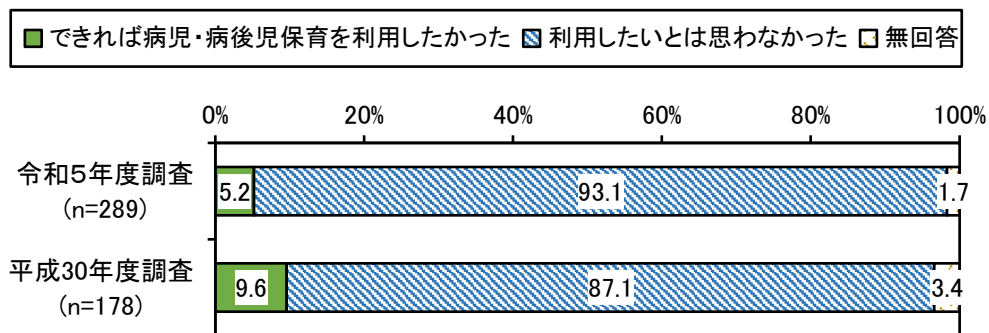
	合計	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	380	21.1	73.7	19.7	16.8	0.3	-	0.3	9.2	5.3	1.1
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	110	32.7	81.8	34.5	1.8	-	-	0.9	10.9	4.5	0.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	190	17.4	90.5	15.8	5.8	0.5	-	-	11.1	4.7	0.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	55	10.9	23.6	1.8	67.3	-	-	-	-	7.3	3.6
これまで就労したことがない	8	12.5	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-

(問14-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問14-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

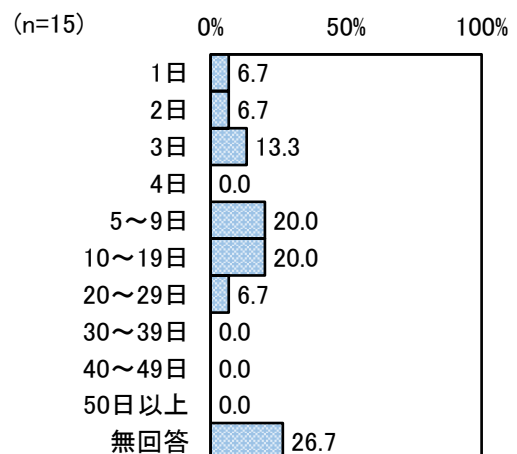
「できれば病児・病後児保育を利用したかった」が5.2%、「利用したいとは思わなかった」が93.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用したいとは思わなかった」が6.0ポイント増加しています。



【病児・病後児保育施設等を利用したい日数】

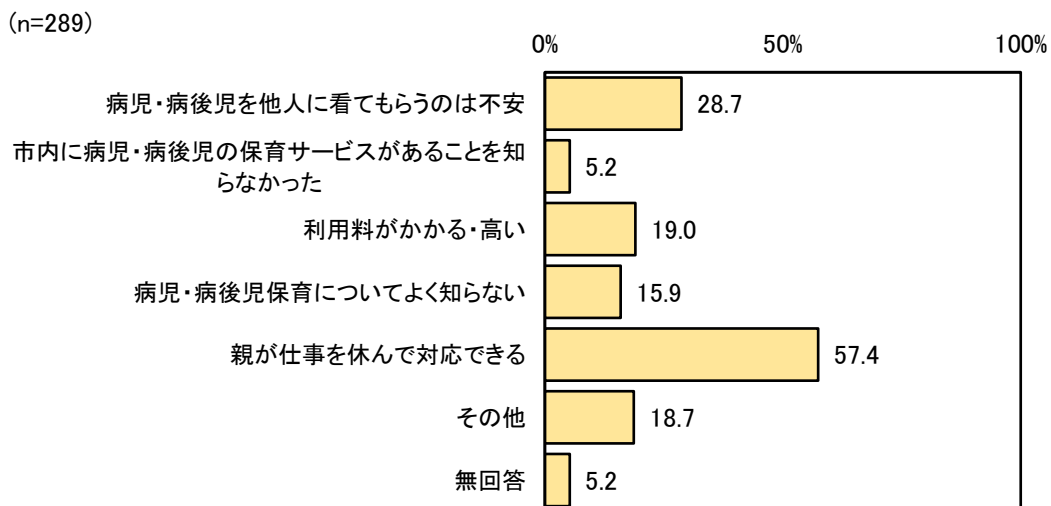
「5～9日」と「10～19日」が20.0%で最も多く、次いで「3日」が13.3%、「1日」、「2日」、「20～29日」がいずれも6.7%となっています。



(問14-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問14-3 病児・病後児保育を利用したくても利用できなかった、あるいは利用したいと思わなかったという理由は何ですか。《あてはまるものすべてに○》

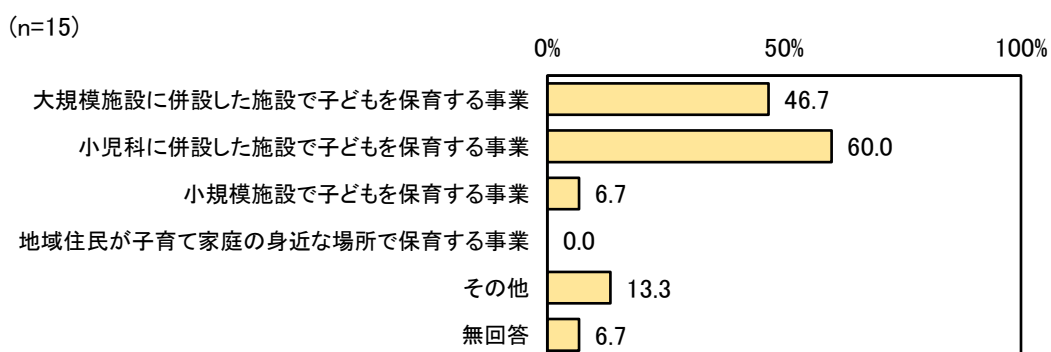
「親が仕事を休んで対応できる」が57.4%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が28.7%、「利用料がかかる・高い」が19.0%、「病児・病後児保育についてよく知らない」が15.9%、「市内に病児・病後児の保育サービスがあることを知らなかった」が5.2%となっています。



(問14-2で「1. できれば病児・病後児保育を利用したかった」に○をつけた方にうかがいます。)

問14-4 病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。《あてはまるものすべてに○》

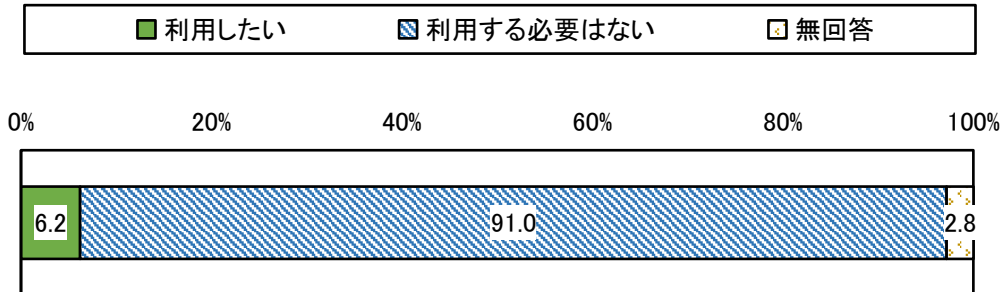
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が60.0%で最も多く、次いで「大規模施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が46.7%、「小規模施設で子どもを保育する事業」が6.7%となっています。



問15 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

「利用したい」が6.2%、利用する必要はないが91.0%となっています。

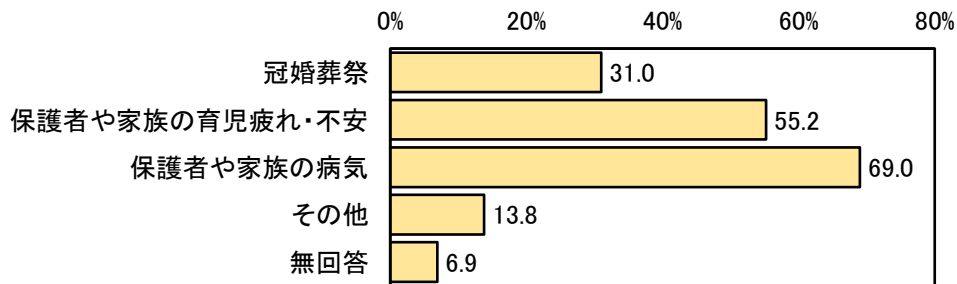
(n=468)



【対処方法】

「保護者や家族の病気」が69.0%で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が55.2%、「冠婚葬祭」が31.0%となっています。

(n=29)



【年間泊数】

単位：%

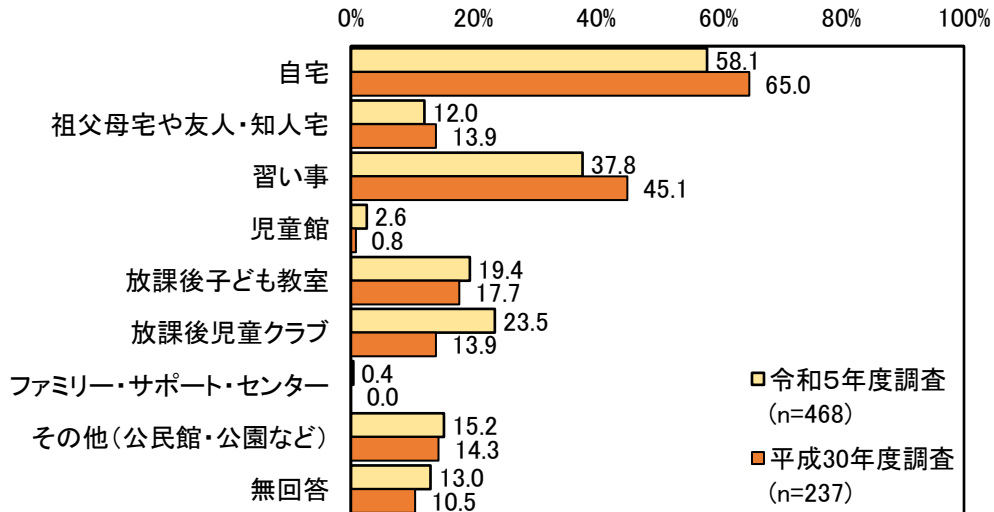
	回答者数 (人)	1泊	2泊	3泊	4泊	5~9泊	10~14泊	15~19泊	20~29泊	30泊以上	無回答
利用したい年間泊数	29	6.9	13.8	6.9	10.3	31.0	13.8	0.0	0.0	3.4	13.8
ア. 冠婚葬祭	9	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	16	37.5	18.8	18.8	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3
ウ. 保護者や家族の病気	20	10.0	30.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
エ. その他	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

(5) あて名のお子さんの放課後の過ごし方について

問16 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が58.1%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカー、学習塾など）」が37.8%、「放課後児童クラブ」が23.5%、「放課後子ども教室」が19.4%、「その他（公民館・公園など）」が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「放課後児童クラブ」が9.6ポイント増加しています。



ア. 利用希望

利用希望をみると、他に比べ、「放課後児童クラブ」で「5日」が多くなっています。

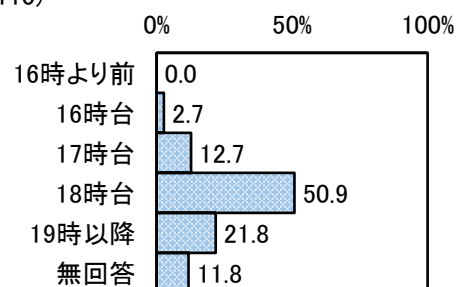
単位：%

	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	272	9.2	15.8	17.6	7.0	35.7	0.7	5.9	8.1
祖父母宅や友人、知人宅	56	41.1	26.8	3.6	0.0	12.5	1.8	0.0	14.3
習い事（ピアノ教室、サッカー、学習塾など）	177	29.9	38.4	18.1	7.3	1.7	0.0	0.0	4.5
児童館	12	0.0	25.0	8.3	0.0	33.3	8.3	0.0	25.0
放課後子ども教室	91	11.0	34.1	19.8	11.0	17.6	0.0	0.0	6.6
放課後児童クラブ	110	0.9	7.3	3.6	4.5	77.3	2.7	0.0	3.6
ファミリー・サポート・センター	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他（公園など）	71	28.2	31.0	16.9	1.4	9.9	1.4	1.4	9.9

イ. 学童保育 利用終了時刻

「18時台」が50.9%で最も多く、次いで「19時以降」が21.8%、「17時台」が12.7%、「16時台」が2.7%となっています。

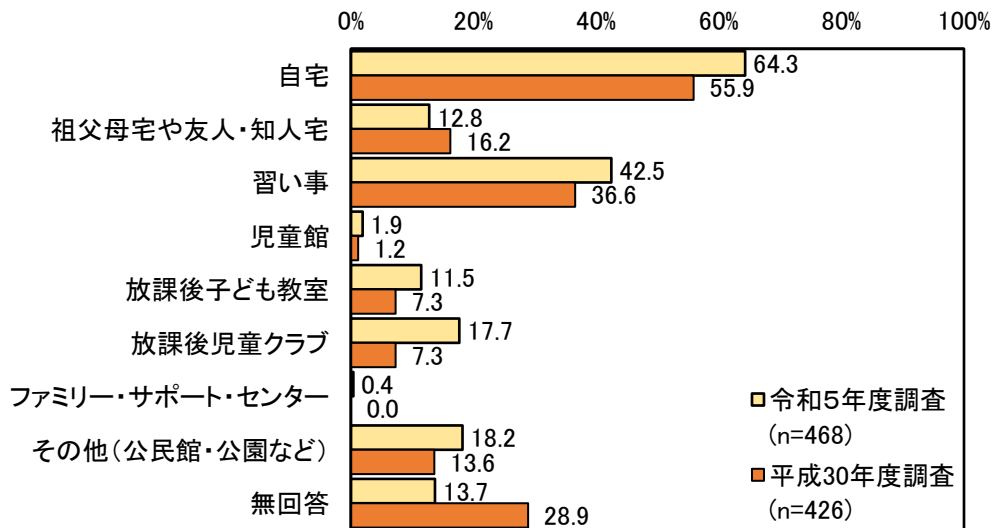
(n=110)



問17 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が64.3%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカー、学習塾など）」が42.5%、「その他（公民館・公園など）」が18.2%、「放課後児童クラブ」が17.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が12.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「放課後児童クラブ」が10.4ポイント増加しています。



ア. 利用希望

利用希望をみると、他に比べ、「放課後児童クラブ」で「5日」が多くなっています。

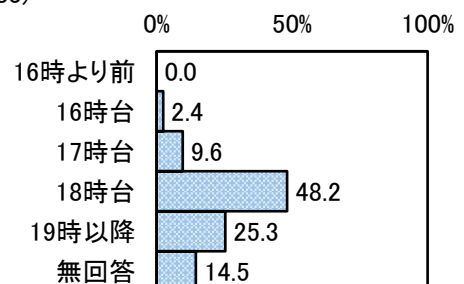
単位：%

	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	301	8.6	19.9	17.9	6.6	31.2	1.0	6.3	8.3
祖父母宅や友人、知人宅	60	38.3	35.0	5.0	0.0	5.0	1.7	0.0	15.0
習い事（ピアノ教室、サッカー、学習塾など）	199	23.6	36.7	23.6	6.0	4.0	0.0	0.0	6.0
児童館	9	11.1	11.1	0.0	11.1	33.3	11.1	0.0	22.2
放課後子ども教室	54	13.0	48.1	9.3	11.1	13.0	1.9	0.0	3.7
放課後児童クラブ	83	2.4	4.8	9.6	1.2	73.5	3.6	0.0	4.8
ファミリー・サポート・センター	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
その他（公園など）	85	24.7	30.6	14.1	8.2	12.9	1.2	0.0	8.2

イ. 学童保育 利用終了時刻

「18時台」が48.2%で最も多く、次いで「19時以降」が25.3%、「17時台」が9.6%、「16時台」が2.4%となっています。

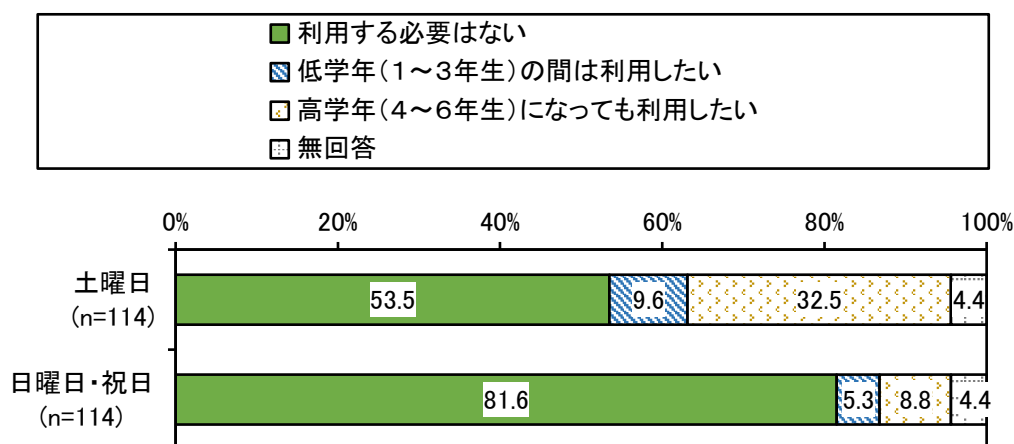
(n=83)



(問16または問17で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。)
 問18 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の
 休暇期間中、放課後児童クラブの利用希望はありますか。《1つに○》

土曜日では、「利用する必要はない」が53.5%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」
 が9.6%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が32.5%となっています。

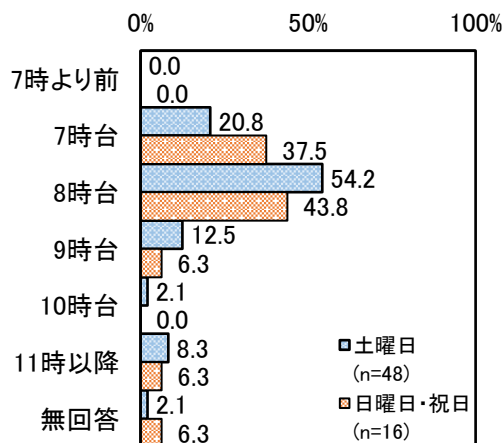
日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が81.6%、「低学年(1~3年生)の間は利用した
 い」が5.3%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が8.8%となっています。



(ア) 利用開始時間

土曜日では、「8時台」が54.2%で最も多く、
 次いで「7時台」が20.8%、「9時台」が12.5%、
 「11時以降」が8.3%、「10時台」が2.1%とな
 っています。

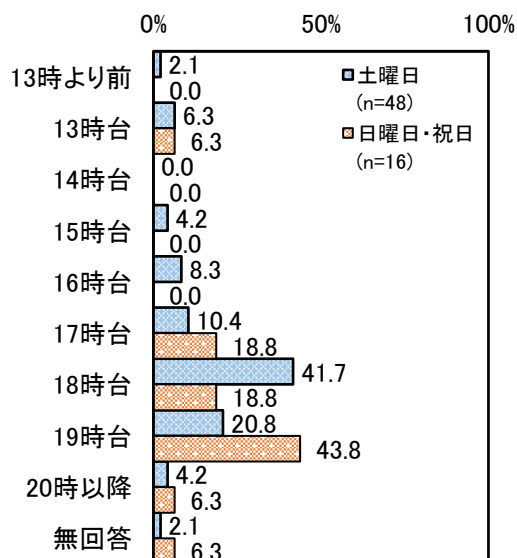
日曜日・祝日では、「8時台」が43.8%で最も
 多く、次いで「7時台」が37.5%、「9時台」が
 6.3%、「11時以降」が6.3%となっています。



(イ) 利用終了時間

土曜日では、「18時台」が41.7%で最も多く、
 次いで「19時台」が20.8%、「17時台」が10.4%、
 「16時台」が8.3%、「13時台」が6.3%とな
 っています。

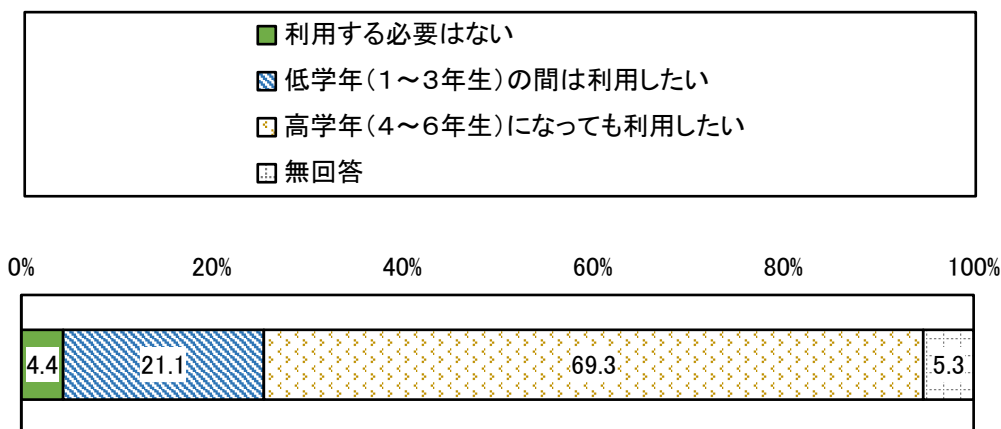
日曜日・祝日では、「19時台」が43.8%で最も
 多く、次いで「17時台」が18.8%、「18時台」
 が18.8%、「13時台」が6.3%、「20時以降」が
 6.3%となっています。



【夏休み・冬休みなどの長期休暇中】

「利用する必要はない」が4.4%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が69.3%となっています。

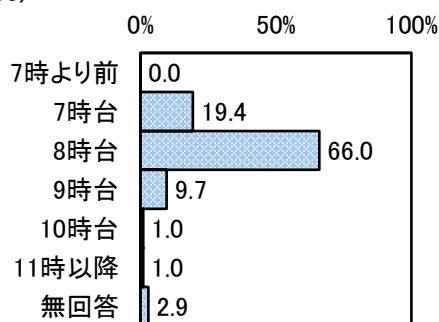
(n=114)



(ア) 利用開始時間

「8時台」が66.0%で最も多く、次いで「7時台」が19.4%、「9時台」が9.7%、「10時台」と「11時以降」がともに1.0%となっています。

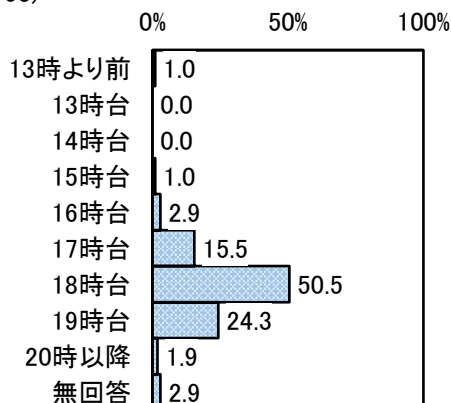
(n=103)



(イ) 利用終了時間

「18時台」が50.5%で最も多く、次いで「19時台」が24.3%、「17時台」が15.5%、「16時台」が2.9%、「20時以降」が1.9%となっています。

(n=103)

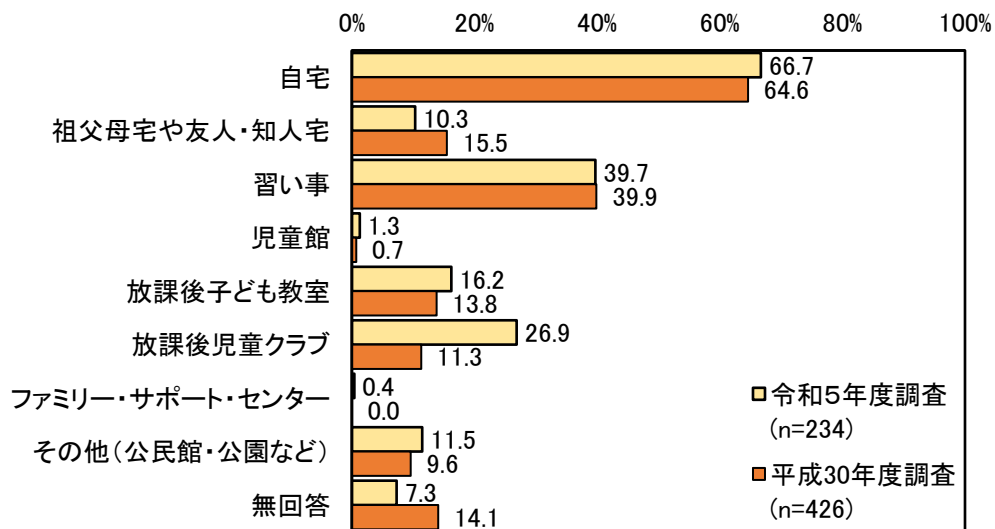


(あて名のお子さんが小学校低学年(1~3年生)の方にうかがいます。)

問19 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。
《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が66.7%で最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が39.7%、「放課後児童クラブ」が26.9%、「放課後子ども教室」が16.2%、「その他(公民館・公園など)」が11.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「放課後児童クラブ」が15.6ポイント増加しています。



ア. 利用希望

利用希望をみると、他に比べ、「放課後児童クラブ」で「5日」が多くなっています。

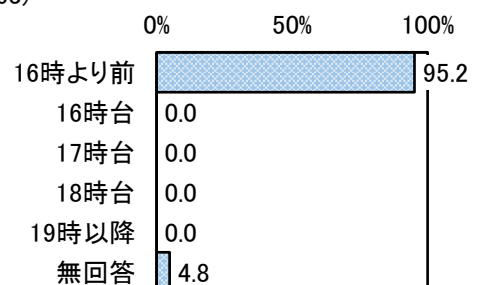
単位：%

	回答者数(人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	156	10.3	17.3	17.9	7.1	37.2	1.3	5.1	3.8
祖父母宅や友人、知人宅	24	41.7	29.2	4.2	4.2	12.5	0.0	0.0	8.3
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	93	32.3	34.4	25.8	6.5	0.0	0.0	0.0	1.1
児童館	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
放課後子ども教室	38	15.8	78.9	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0
放課後児童クラブ	63	1.6	4.8	4.8	4.8	77.8	1.6	0.0	4.8
ファミリー・サポート・センター	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(公園など)	27	51.9	11.1	14.8	7.4	7.4	0.0	0.0	7.4

イ. 学童保育 利用終了時刻

「16時より前」が95.2%で最も多くなっています。

(n=63)

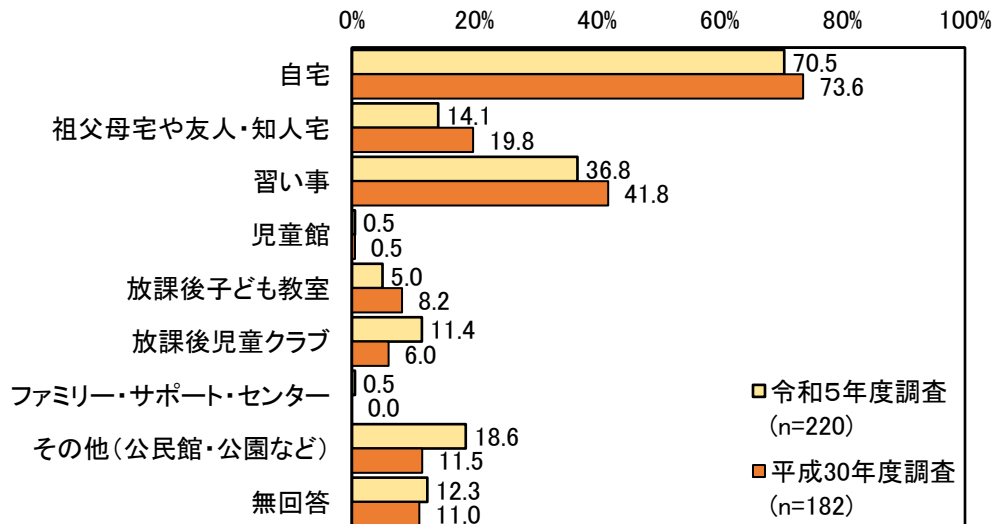


(あて名のお子さんが小学校高学年(4~6年生)の方にうかがいます。)

問20 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。
《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が70.5%で最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカー、学習塾など)」が36.8%、「その他(公民館・公園など)」が18.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が14.1%、「放課後児童クラブ」が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「放課後児童クラブ」が5.4ポイント増加しています。



ア. 利用希望

利用希望をみると、他に比べ、「放課後児童クラブ」で「5日」が多くなっています。

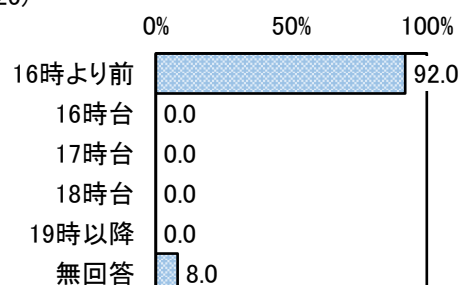
単位：%

	回答者数(人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	155	7.1	12.3	11.6	12.3	38.1	0.6	7.7	10.3
祖父母宅や友人、知人宅	31	29.0	35.5	9.7	3.2	9.7	0.0	0.0	12.9
習い事(ピアノ教室、サッカー、学習塾など)	81	29.6	27.2	18.5	4.9	6.2	1.2	0.0	12.3
児童館	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
放課後子ども教室	11	0.0	72.7	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2
放課後児童クラブ	25	0.0	4.0	4.0	4.0	80.0	4.0	0.0	4.0
ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他(公園など)	41	22.0	26.8	19.5	9.8	9.8	0.0	0.0	12.2

イ. 学童保育 利用終了時刻

(n=25)

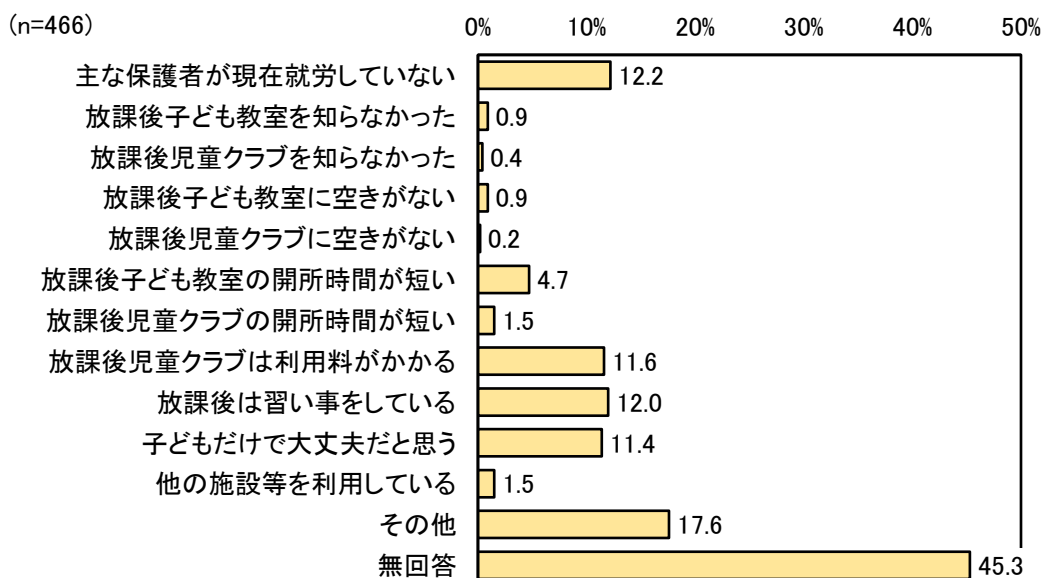
「16時より前」が92.0%で最も多くなっています。



(問19または問20で「5. 放課後子ども教室」「6. 放課後児童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。)

問20-1 放課後子ども教室、放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。
《あてはまるものすべてに○》

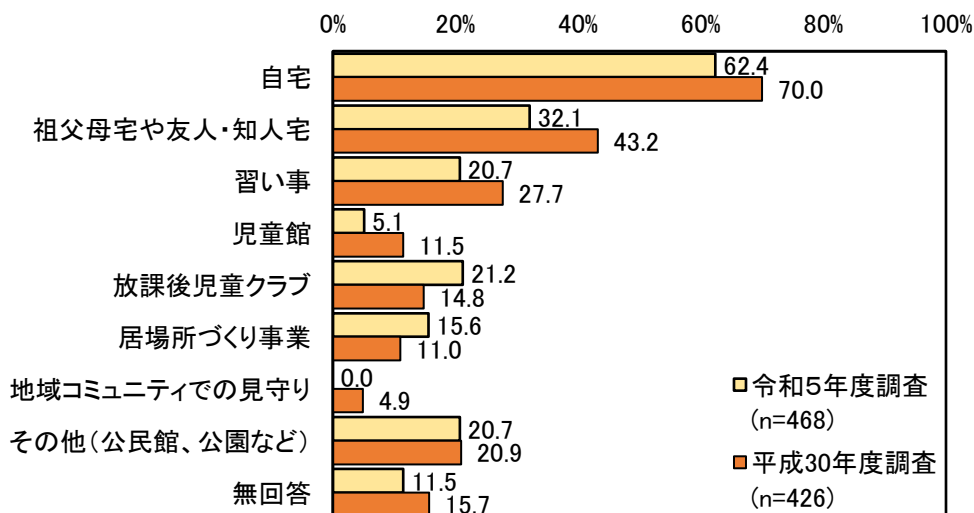
「主な保護者が現在就労していない」が12.2%で最も多く、次いで「放課後は習い事をしている」が12.0%、「放課後児童クラブは利用料がかかる」が11.6%、「子どもだけで大丈夫だと思う」が11.4%、「放課後子ども教室の開所時間が短い」が4.7%となっています。



問21 あて名のお子さんについて、長期休暇中（夏休み等）の日中、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。
《あてはまるものすべてに○》

「自宅」が62.4%で最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が32.1%、「放課後児童クラブ」が21.2%、「習い事」が20.7%、「その他（公民館、公園など）」が20.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、特に「祖父母宅や友人・知人宅」が11.1ポイント減少しています。

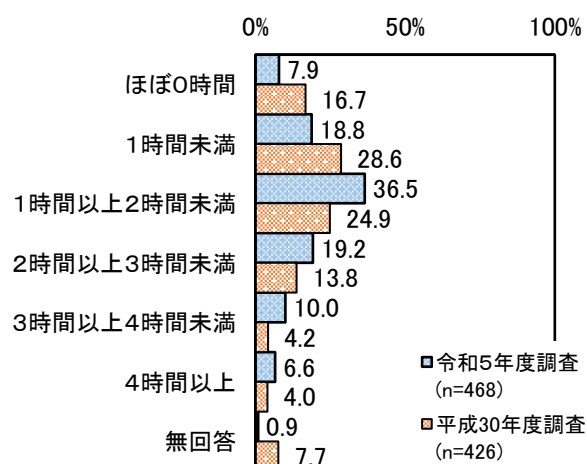


(6) あて名のお子さんの生活状況について

問22 あて名のお子さんは、平日にスマートフォンやゲーム機等を利用している時間は1日平均どのくらいでしょうか。《1つに○》

「1時間以上2時間未満」が36.5%で最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」が19.2%、「1時間未満」が18.8%、「3時間以上4時間未満」が10.0%、「ほぼ0時間」が7.9%となっています。

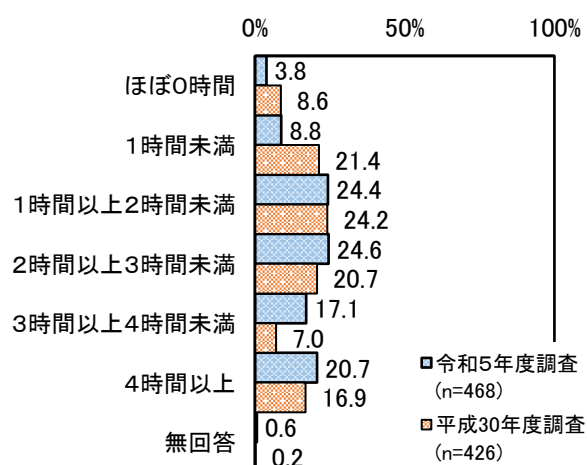
平成30年度調査と比較すると、「1時間以上2時間未満」が11.6ポイント増加しています。



問23 あて名のお子さんは、休日にスマートフォンやゲーム機等を利用している時間は1日平均どのくらいでしょうか。《1つに○》

「2時間以上3時間未満」が24.6%で最も多く、次いで「1時間以上2時間未満」が24.4%、「4時間以上」が20.7%、「3時間以上4時間未満」が17.1%、「1時間未満」が8.8%となっています。

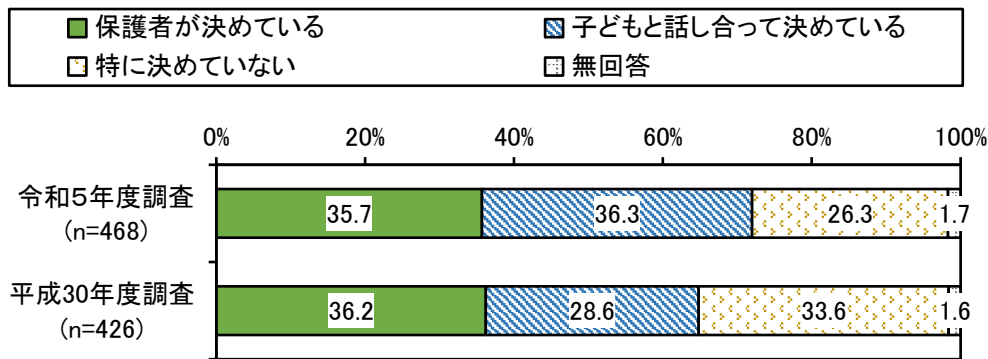
平成30年度調査と比較すると、「3時間以上4時間未満」が10.1ポイント増加しています。



問24 あて名のお子さんのスマートフォンやゲーム機等を利用する時間は決めていますか。《1つに○》

「保護者が決めている」が35.7%、「子どもと話し合っている」が36.3%、「特に決めていない」が26.3%となっています。

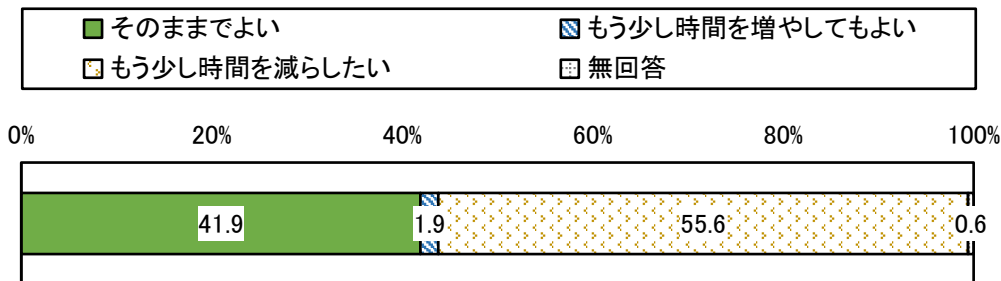
平成30年度調査と比較すると、「子どもと話し合っている」が7.7ポイント増加しています。



問25 あて名のお子さんのスマートフォンやゲーム機等を利用する時間について、どのように感じますか。《1つに○》

「そのままよい」が41.9%、「もう少し時間を増やしてもよい」が1.9%、「もう少し時間を減らしたい」が55.6%となっています。

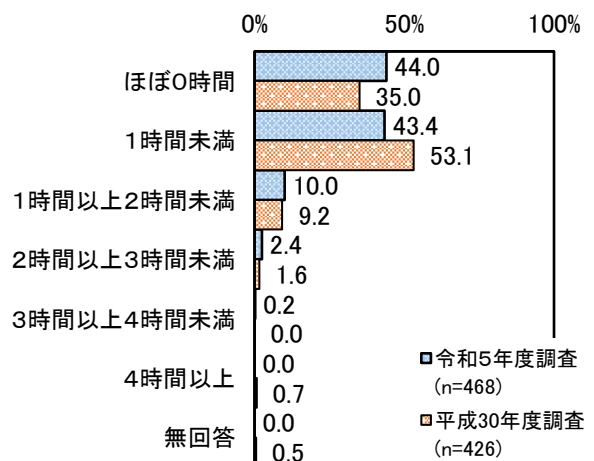
(n=468)



問26 あて名のお子さんは、ご家庭での読書時間は1日平均どのくらいでしょうか。(本・漫画・雑誌等、種類は問いません)《1つに○》

「ほぼ0時間」が44.0%で最も多く、次いで「1時間未満」が43.4%、「1時間以上2時間未満」が10.0%、「2時間以上3時間未満」が2.4%、「3時間以上4時間未満」が0.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると「ほぼ0時間」が9.0ポイント増加しています。



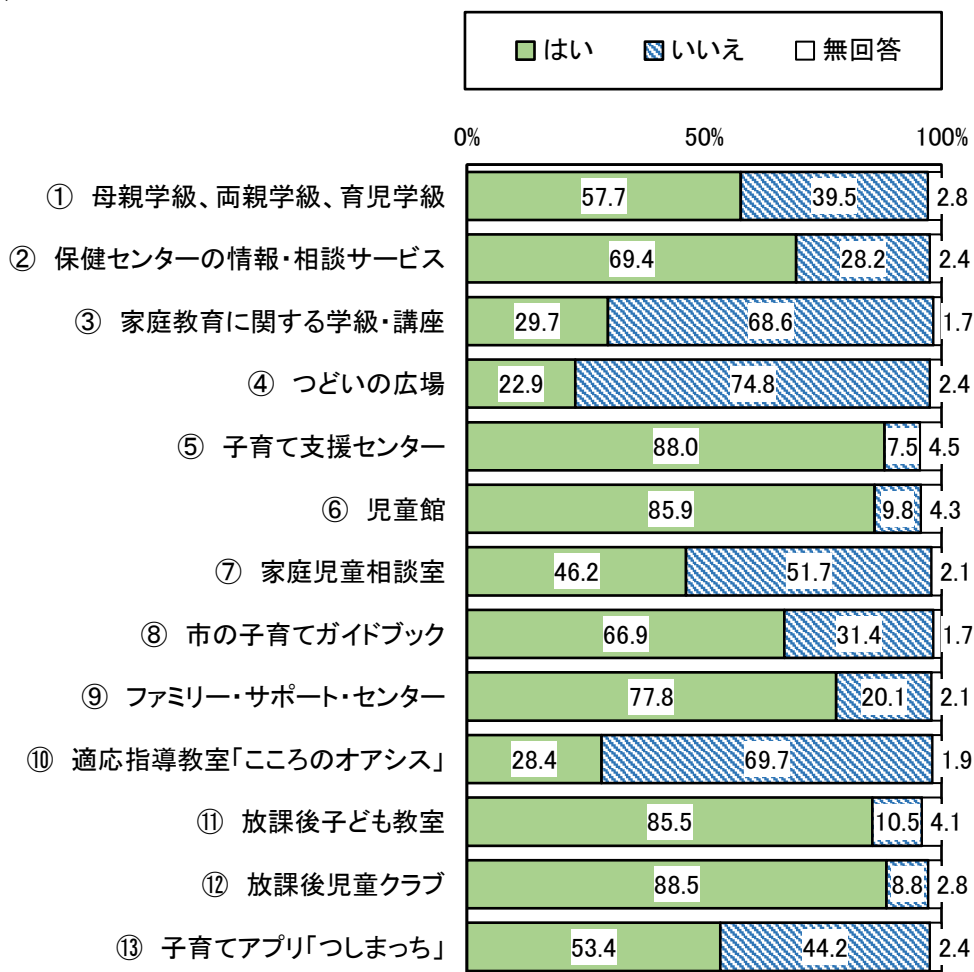
(7) 子育て支援サービス全般について

問27 下記の①～⑬のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○)

A 知っている(認知度)

知っているでは、「⑫ 放課後児童クラブ」が88.5%で最も多く、次いで「⑤ 子育て支援センター」が88.0%、「⑥ 児童館」が85.9%となっています。

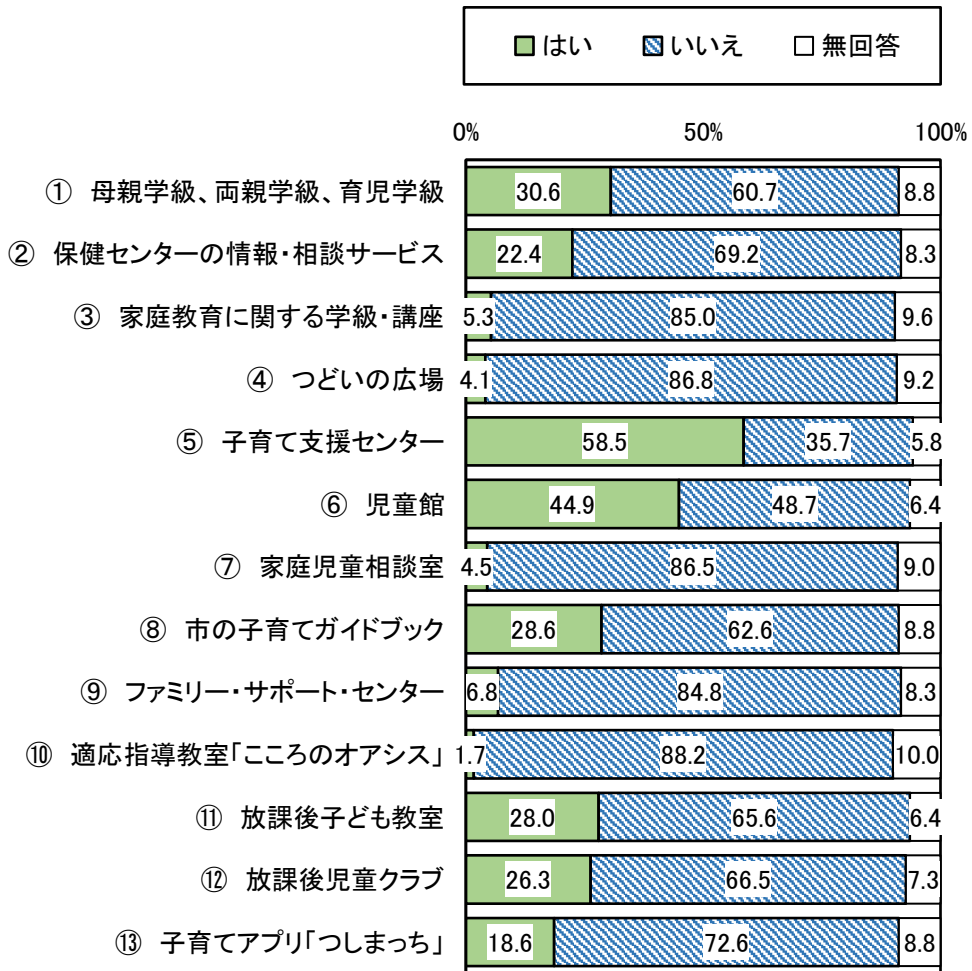
(n=468)



B 利用したことがある（利用状況）

利用したことがあるでは、「⑤ 子育て支援センター」が 58.5%で最も多く、次いで「⑧ 児童館」が 44.9%、「① 母親学級、両親学級、育児学級」が 30.6%となっています。

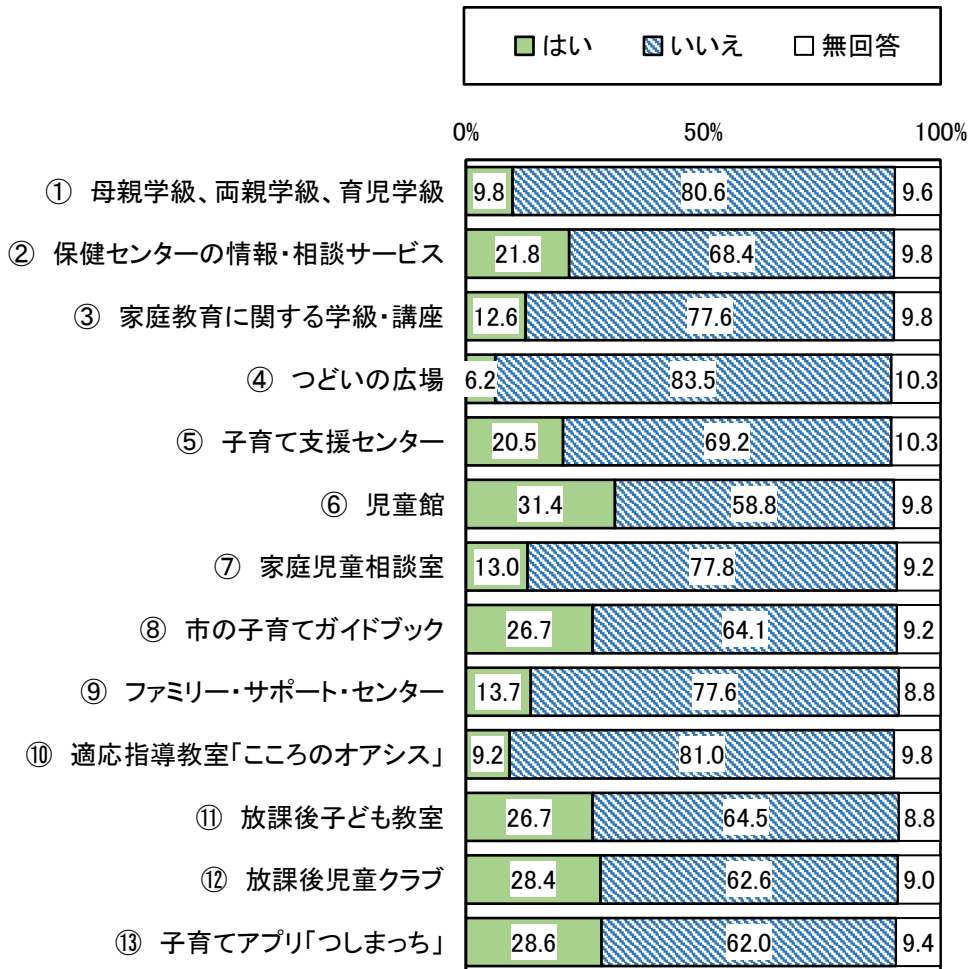
(n=468)



C 今後、利用したい（利用意向）

今後利用したいでは、「⑥ 児童館」が 31.4%で最も多く、次いで「⑬ 子育てアプリ「つまっち」」が 28.6%、「⑫ 放課後児童クラブ」が 28.4%となっています。

(n=468)



●平成 30 年度調査との比較

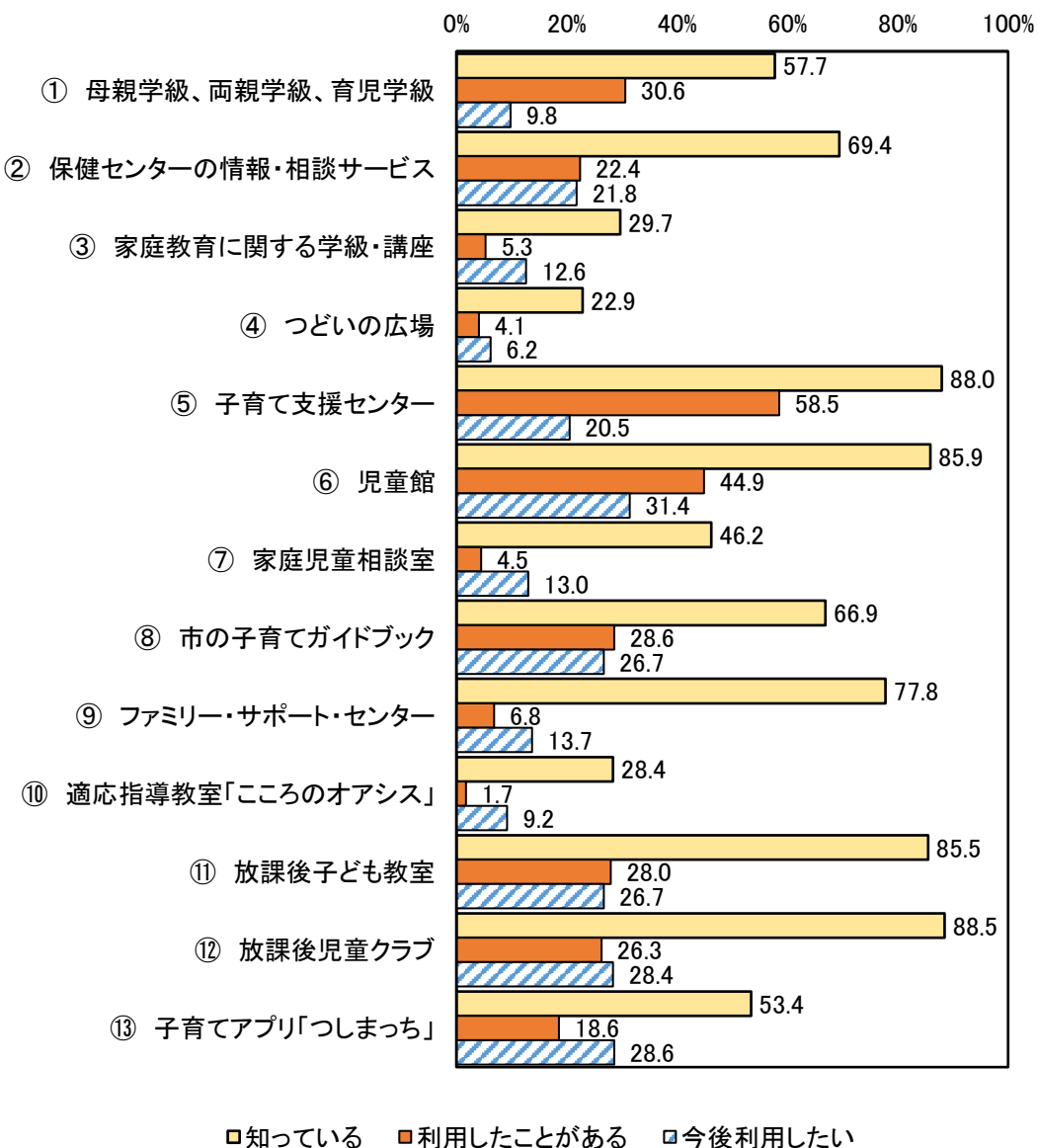
平成 30 年度調査と比較すると、認知度については「⑬ 子育てアプリ「つしまっち」」が 28.0 ポイント増加しています。

利用状況については「⑤ 子育て支援センター」が 11.8 ポイント増加している一方、「⑥ 児童館」が 10.5 ポイント減少しています。

利用意向については「⑫ 放課後児童クラブ」が 9.6 ポイント増加しています。

(ア) 令和 5 年度調査

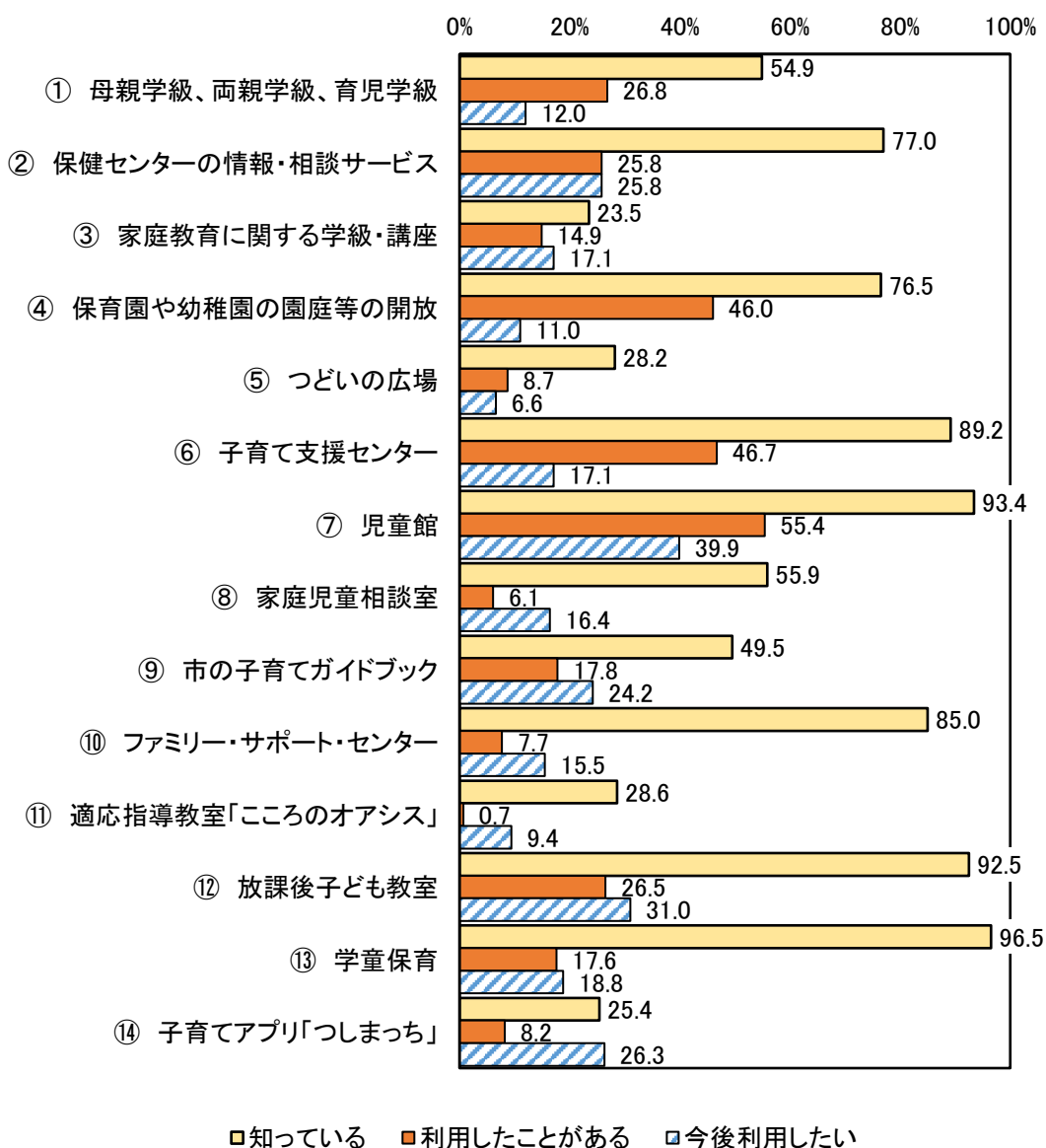
(令和 5 年度調査 n=468)



※令和 5 年度調査では「保育園や幼稚園の園庭等の開放」はない。

(イ) 平成 30 年度調査

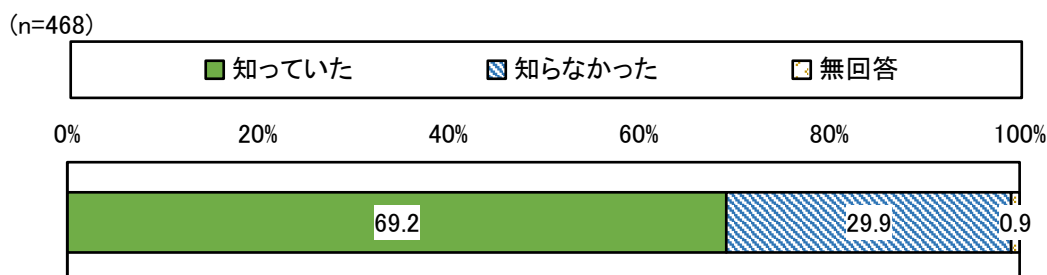
(平成30年度調査 n=426)



(8) ヤングケアラーについて

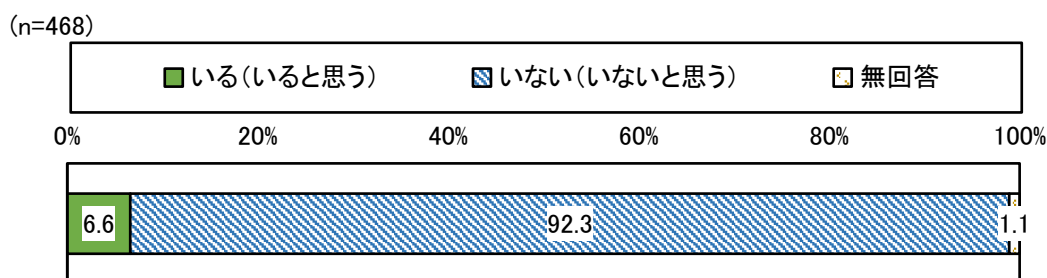
問28 あなたは、「ヤングケアラー」の定義を知っていましたか。《1つに○》

「知っていた」が69.2%、「知らなかった」が29.9%となっています。



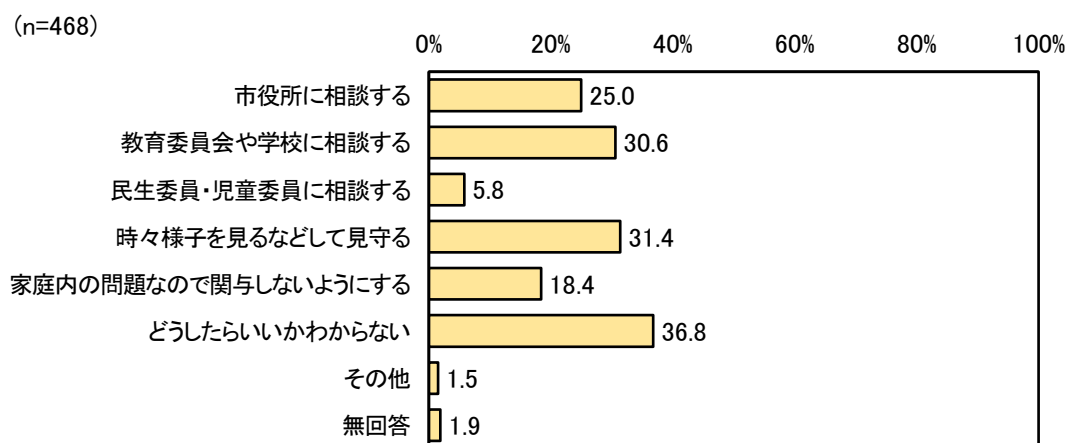
問29 あなたのご家庭、またはあなたの周りに「ヤングケアラー」と思われる児童はいますか。《1つに○》

「いる (いると思う)」が6.6%、「いない (いないと思う)」が92.3%となっています。



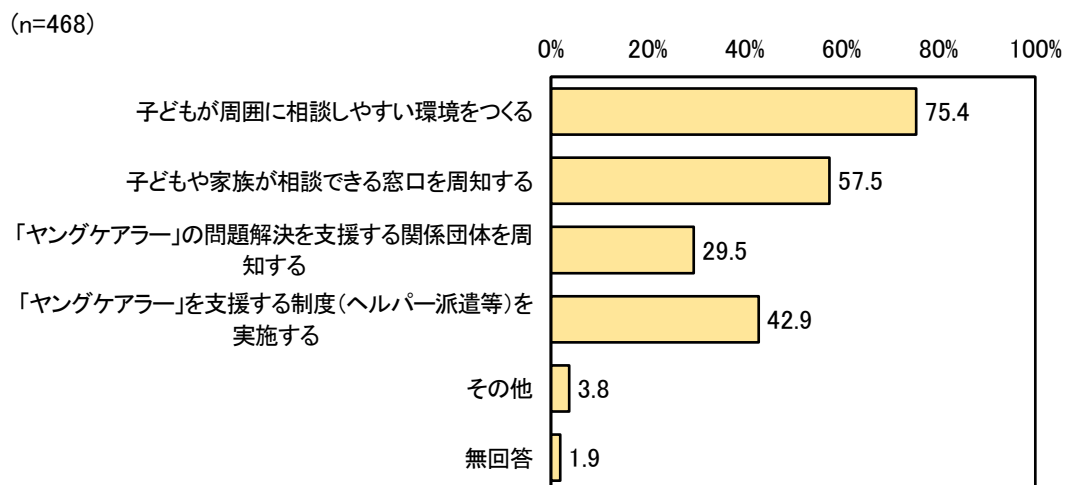
問30 「ヤングケアラー」と思われる児童を把握した場合、どのように対応しますか。《あてはまるものすべてに○》

「どうしたらいいかわからない」が36.8%で最も多く、次いで「時々様子を見るなどして見守る」が31.4%、「教育委員会や学校に相談する」が30.6%、「市役所に相談する」が25.0%、「家庭内の問題なので関与しないようにする」が18.4%となっています。



問3 1 「ヤングケアラー」を支援するためには何が重要だと思いますか。《あてはまるものすべてに○》

「子どもが周囲に相談しやすい環境をつくる」が75.4%で最も多く、次いで「子どもや家族が相談できる窓口を周知する」が57.5%、「ヤングケアラー」を支援する制度（ヘルパー派遣等）を実施する」が42.9%、「ヤングケアラー」の問題解決を支援する関係団体を周知する」が29.5%となっています。



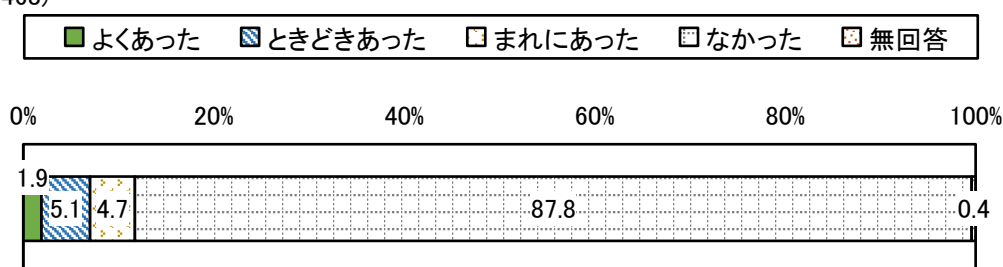
(9) ご家庭の状況について

問32 あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で以下のものが買えなかったことがありましたか。《1つに○》

(1) 家族が必要とする食料

「なかった」が87.8%で最も多く、次いで「ときどきあった」が5.1%、「まれにあった」が4.7%、「よくあった」が1.9%となっています。

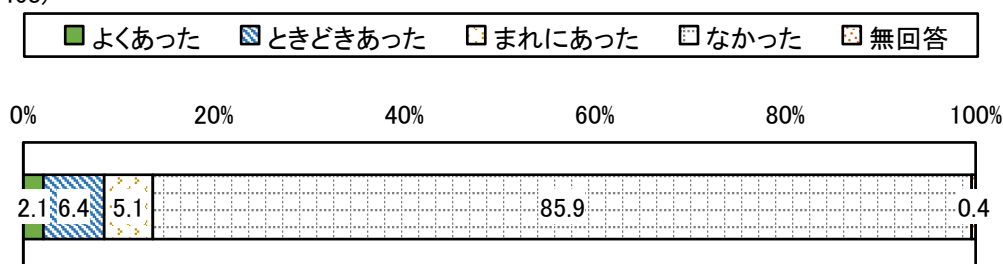
(n=468)



(2) 家族が必要とする衣類

「なかった」が85.9%で最も多く、次いで「ときどきあった」が6.4%、「まれにあった」が5.1%、「よくあった」が2.1%となっています。

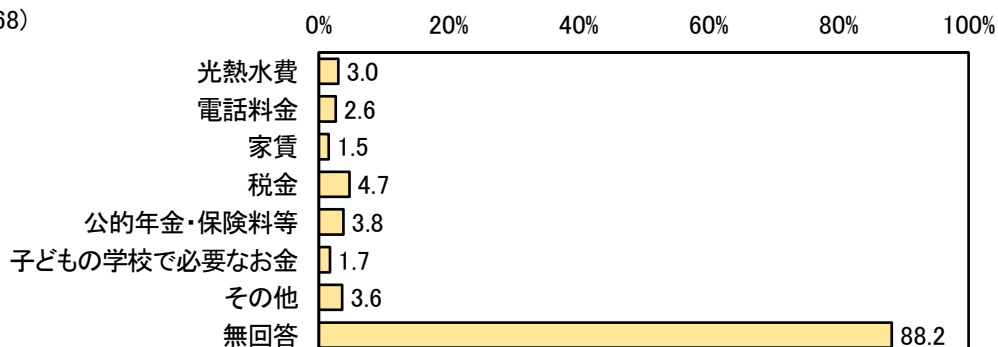
(n=468)



問33 過去1年の間に、経済的な理由で以下の料金について支払えなかったことがありましたか。《あてはまるものすべてに○》

「税金」が4.7%で最も多く、次いで「公的年金・保険料等」が3.8%、「光熱水費」が3.0%、「電話料金」が2.6%、「子どもの学校で必要なお金」が1.7%となっています。

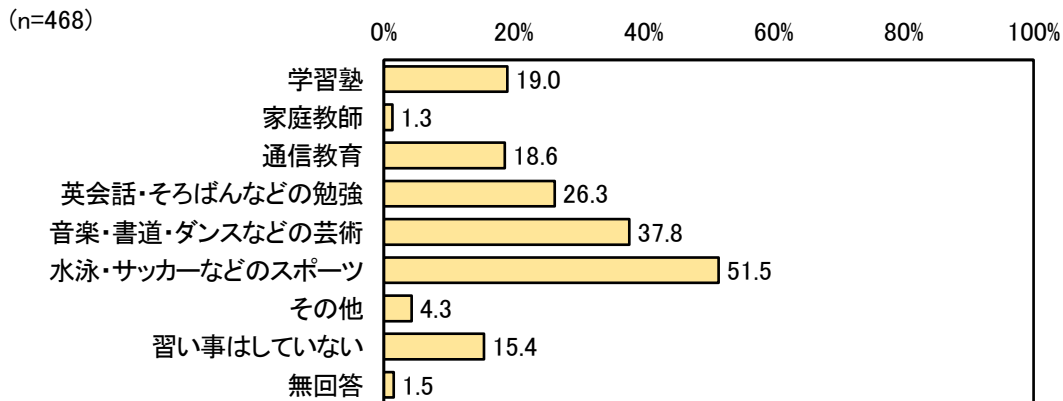
(n=468)



問34 あなたのご家庭のお子さんは、習い事をしていますか。《あてはまるものすべてに○》

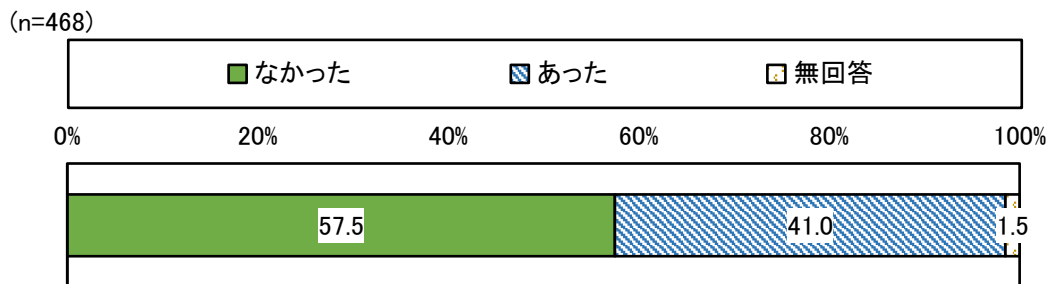
「水泳・サッカーなどのスポーツ」が51.5%で最も多く、次いで「音楽・書道・ダンスなどの芸術」が37.8%、「英会話・そろばんなどの勉強」が26.3%、「学習塾」が19.0%、「通信教育」が18.6%となっています。

また、「習い事はしていない」が15.4%となっています。



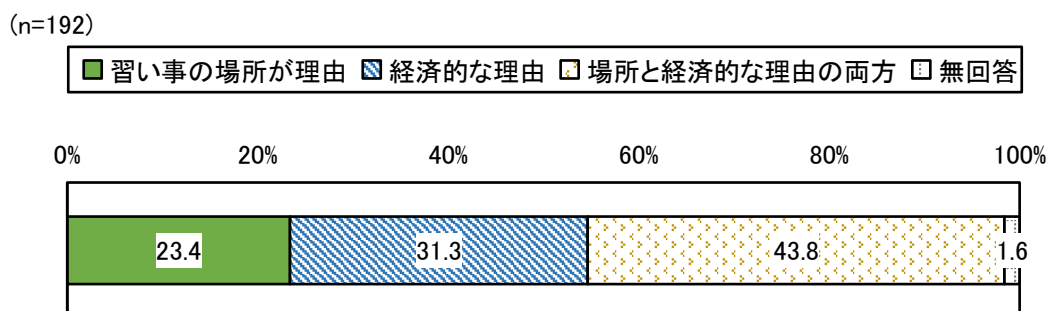
問35 あなたのご家庭のお子さんで、習い事をさせたかったが、通える範囲に習い事の場所がなくてできなかったことや、通える範囲にあっても経済的な理由でできなかったことはありますか。《1つに○》

「なかった」が57.5%、「あった」が41.0%となっています。



【理由】

「場所と経済的な理由の両方」が43.8%で最も多く、次いで「経済的な理由」が31.3%、「習い事の場所が理由」が23.4%となっています。

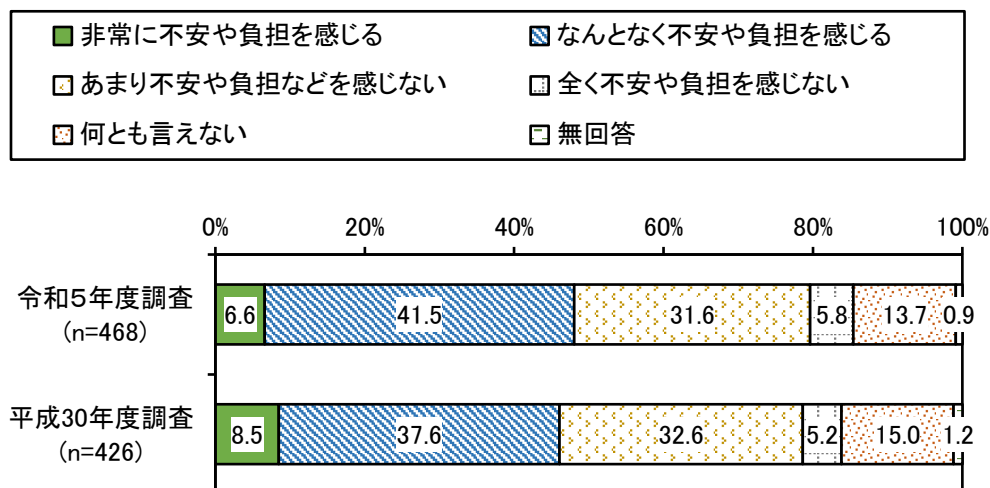


(10) 子育て全般について

問36 あなたは、子育てをどのように感じることが多いですか。《1つに○》

「なんとなく不安や負担を感じる」が41.5%で最も多く、次いで「あまり不安や負担などを感じない」が31.6%、「何とも言えない」が13.7%、「非常に不安や負担を感じる」が6.6%、「全く不安や負担を感じない」が5.8%となっています。

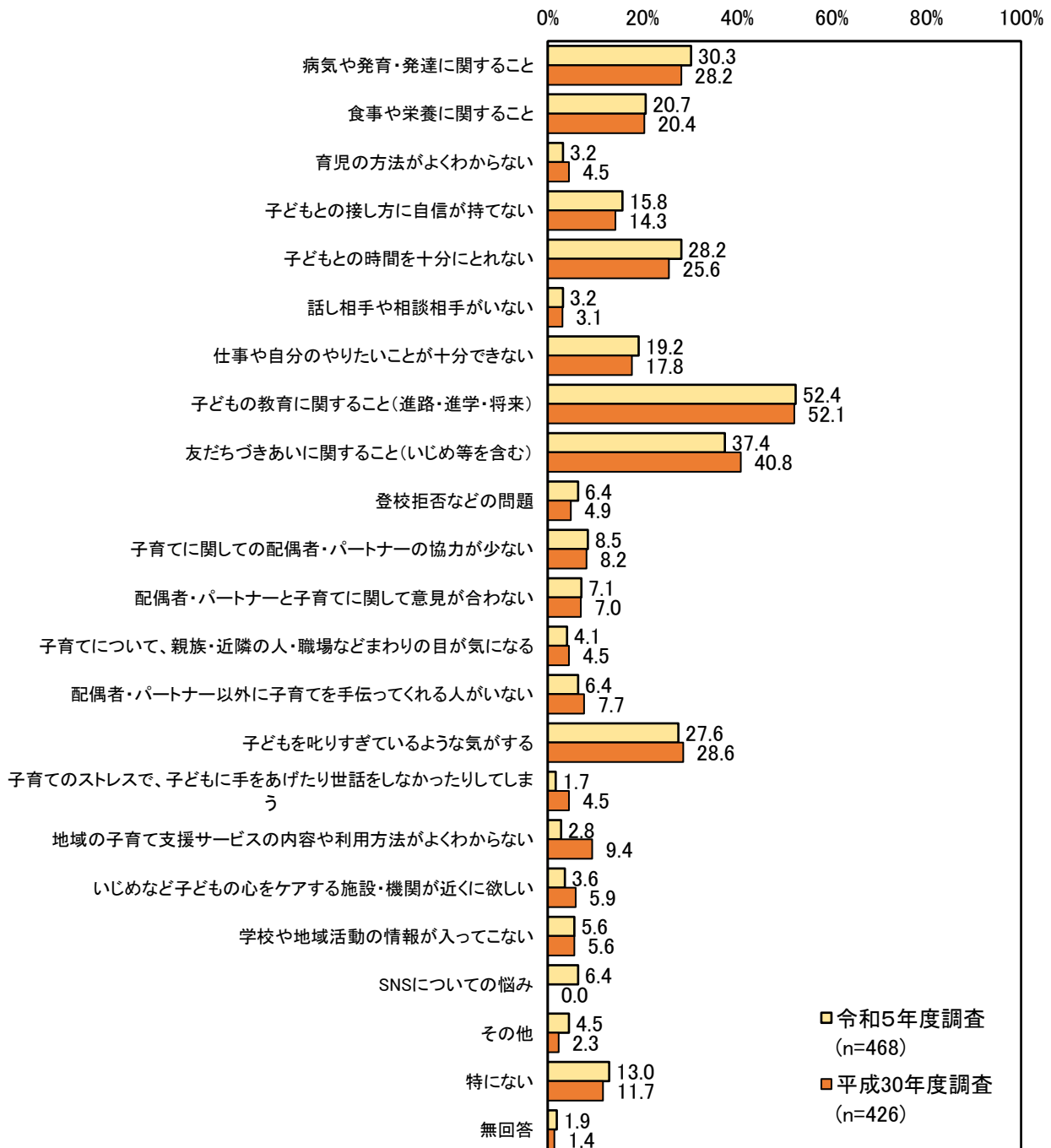
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問37 あなたが子育てに関して日常的に悩んでいること、気になることは何ですか。
《あてはまるものすべてに○》

「子どもの教育に関すること（進路・進学・将来）」が52.4%で最も多く、次いで「友だちづきあいに関すること（いじめ等を含む）」が37.4%、「病気や発育・発達に関すること」が30.3%、「子どもとの時間を十分にとれない」が28.2%、「子どもを叱りすぎているような気がする」が27.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

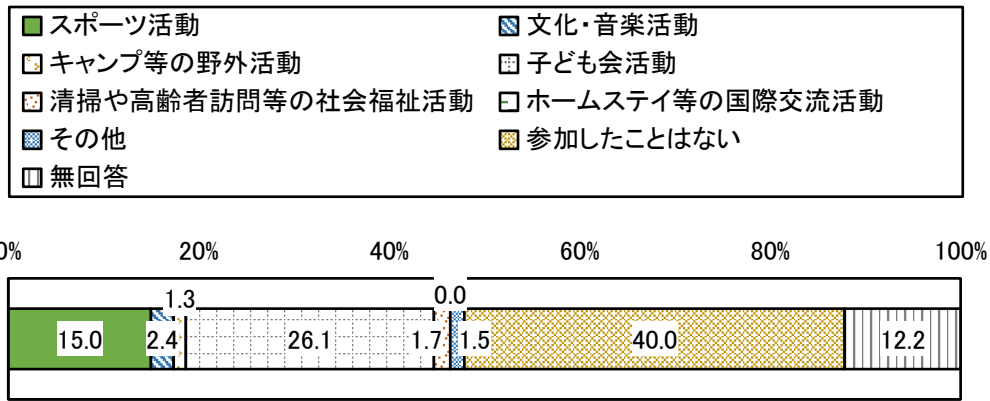


※平成30年度調査では、「SNSについての悩み」はない。

問38 あて名のお子さんは、地域的なグループ活動へ参加したことがありますか。
《1つに○》

「子ども会活動」が26.1%で最も多く、次いで「スポーツ活動」が15.0%、「文化・音楽活動」が2.4%、「清掃や高齢者訪問等の社会福祉活動」が1.7%、「キャンプ等の野外活動」が1.3%となっています。

(n=468)

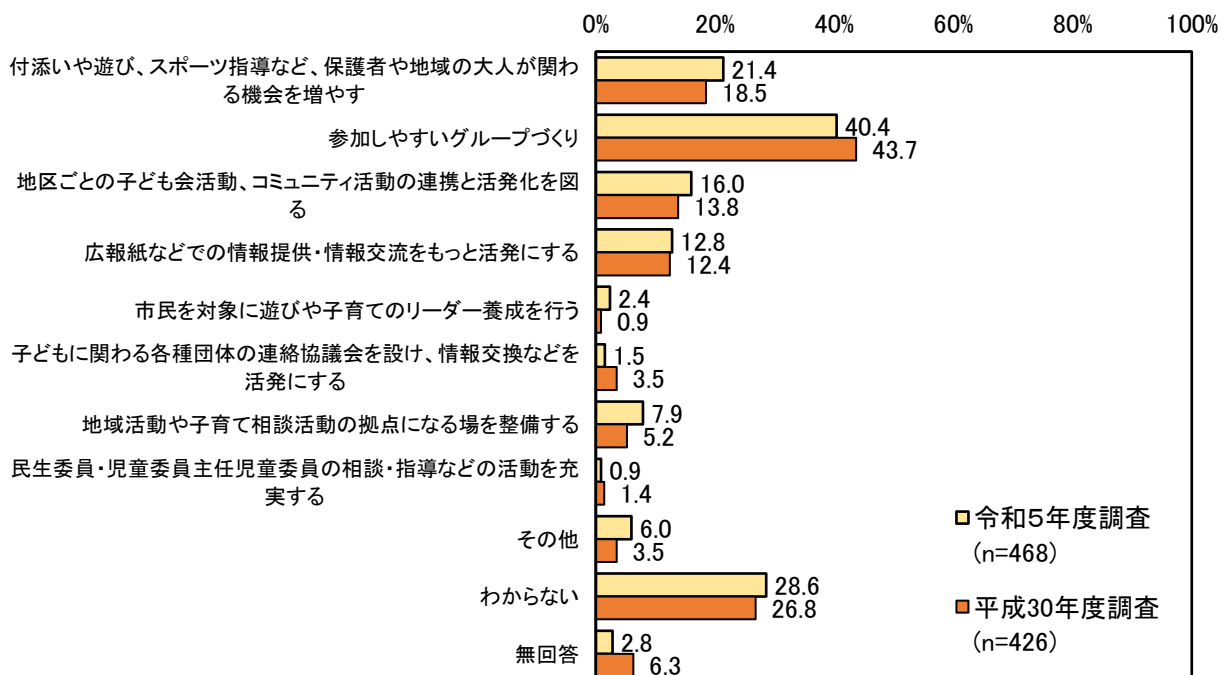


問39 あて名のお子さんに関わる地域的なグループ活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。《あてはまるもの2つまでに○》

「参加しやすいグループづくり」が40.4%で最も多く、次いで「付添いや遊び、スポーツ指導など、保護者や地域の大人が関わる機会を増やす」が21.4%、「地区ごとの子ども会活動、コミュニティ活動の連携と活発化を図る」が16.0%、「広報紙などでの情報提供・情報交流をもっと活発にする」が12.8%、「地域活動や子育て相談活動の拠点になる場を整備する」が7.9%となっています。

また、「わからない」が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

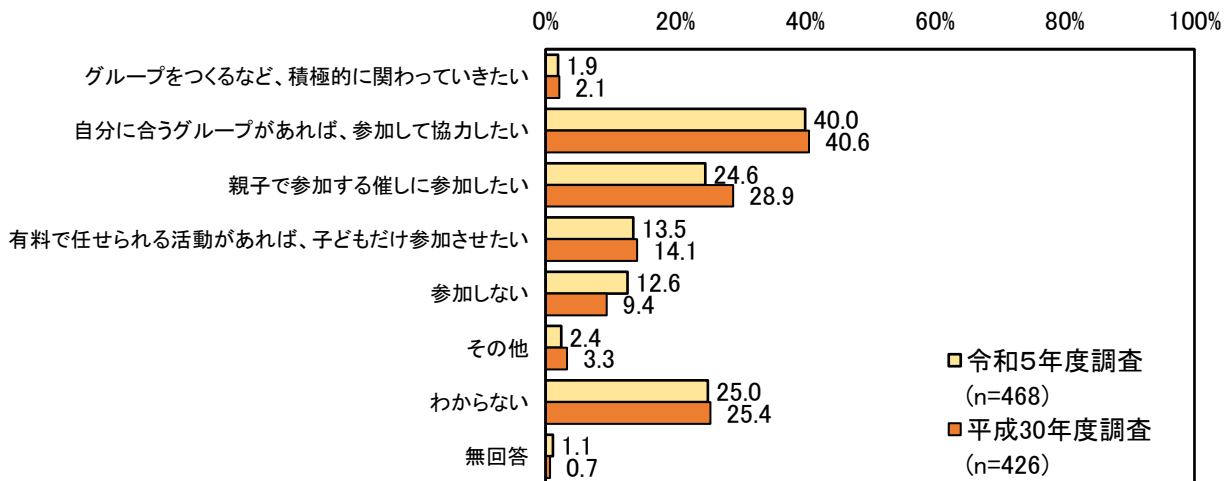


問40 あなたは、あて名のお子さんに関わる地域活動に参加するつもりはありますか。
《あてはまるものすべてに○》

「自分に合うグループがあれば、参加して協力したい」が40.0%で最も多く、次いで「親子で参加する催しに参加したい」が24.6%、「有料で任せられる活動があれば、子どもだけ参加させたい」が13.5%、「参加しない」が12.6%、「グループをつくるなど、積極的に関わっていきたい」が1.9%となっています。

また、「わからない」が25.0%となっています。

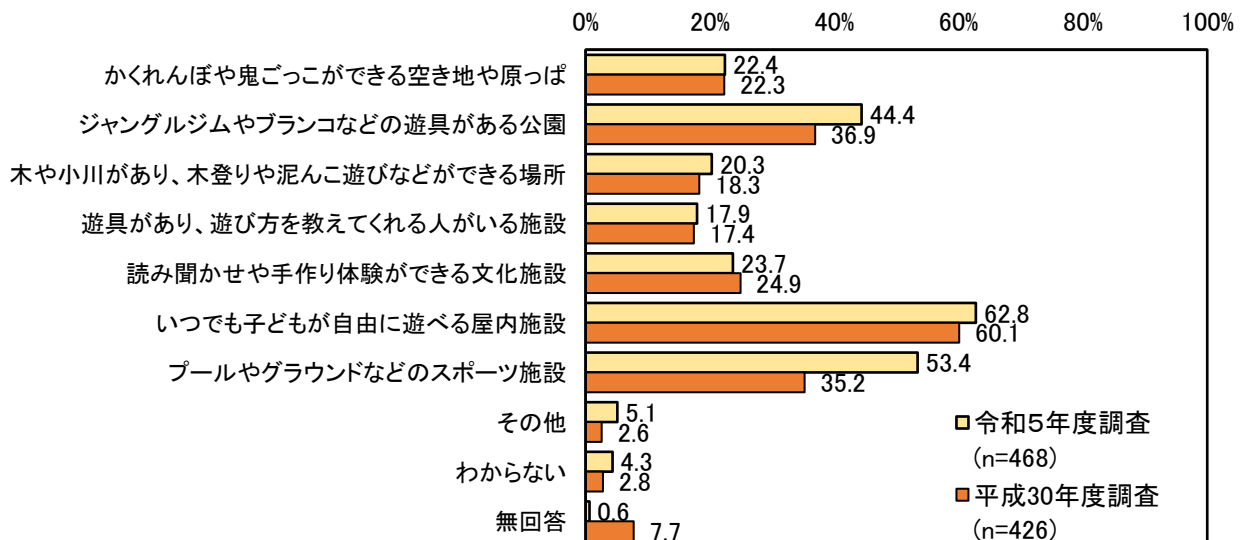
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問41 あて名のお子さんのために、近くにあったら良いと思うものは、特にどのようなところですか。《あてはまるもの3つまでに○》

「いつでも子どもが自由に遊べる屋内施設」が62.8%で最も多く、次いで「プールやグラウンドなどのスポーツ施設」が53.4%、「ジャングルジムやブランコなどの遊具がある公園」が44.4%、「読み聞かせや手作り体験ができる文化施設」が23.7%、「かくれんぼや鬼ごっこができる空き地や原っぱ」が22.4%となっています。

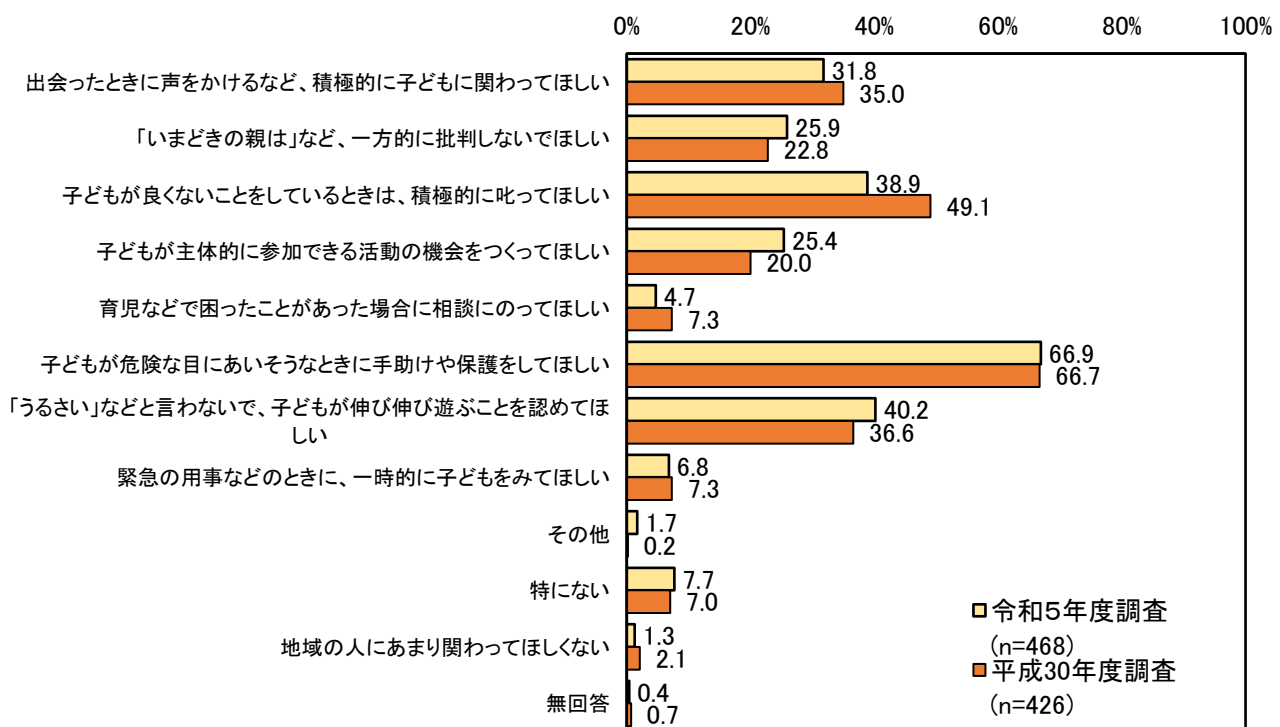
平成30年度調査と比較すると、特に「プールやグラウンドなどのスポーツ施設」が18.2%となっています。



問4 2 あて名のお子さんを子育てするうえで、地域の人に望みたいことはありますか。《あてはまるものすべてに○》

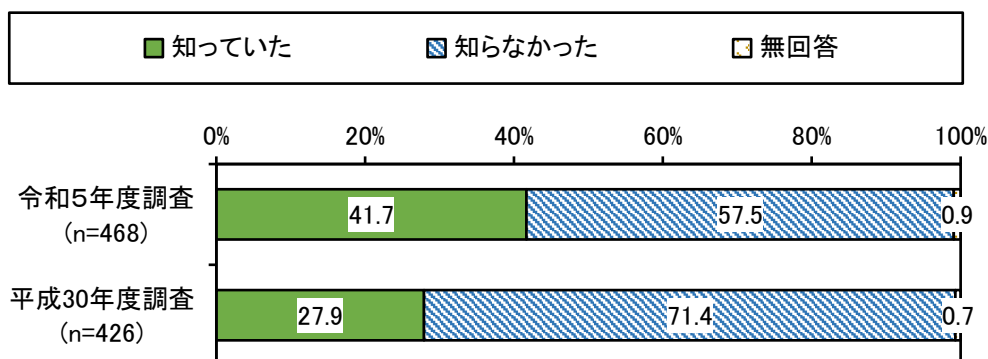
「子どもが危険な目にあいそうなときに手助けや保護をしてほしい」が66.9%で最も多く、次いで「うるさい」などと言わないで、子どもが伸び伸び遊ぶことを認めてほしい」が40.2%、「子どもが良くないことをしているときは、積極的に叱ってほしい」が38.9%、「出会ったときに声をかけるなど、積極的に子どもに関わってほしい」が31.8%、「いまどきの親は」など、一方的に批判しないでほしい」が25.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「特に子どもが良くないことをしているときは、積極的に叱ってほしい」が10.2ポイント減少しています。



問4 3 あなたは、児童虐待相談の窓口として児童相談所（海部児童・障害者相談センター）の他に、市が窓口になっていることを知っていますか。《1つに○》

「知っていた」が41.7%、「知らなかった」が57.5%となっています。平成30年度調査と比較すると、「知っていた」が13.8ポイント増加しています。

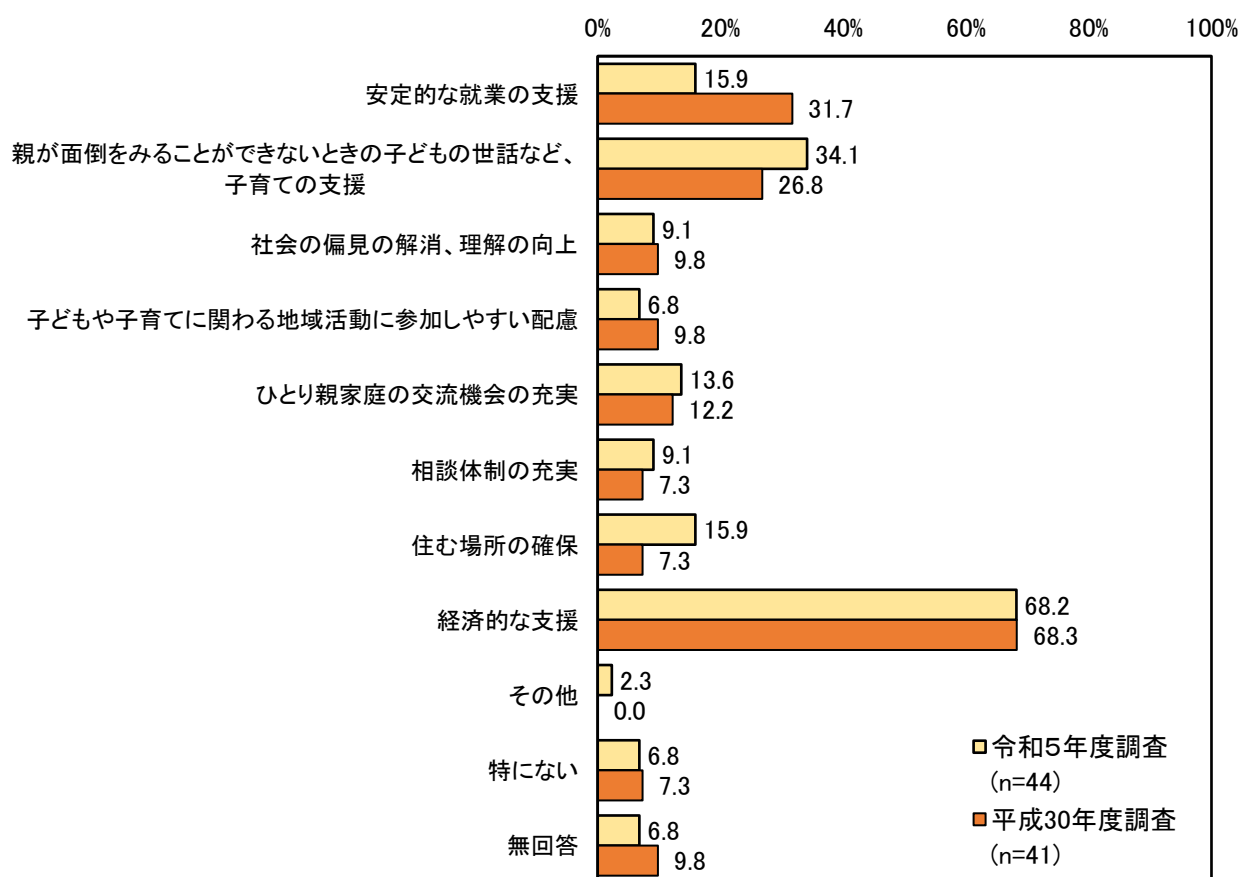


（【ひとり親家庭】の方にかがいます。）

問44 あて名のお子さんを育てるために必要な支援は、次のうちどれでしょうか。《あてはまるもの3つまでに○》

「経済的な支援」が68.2%で最も多く、次いで「親が面倒をみるできないときの子ども
の世話など、子育ての支援」が34.1%、「安定的な就業の支援」が15.9%、「住む場所の確保」
が15.9%、「ひとり親家庭の交流機会の充実」が13.6%となっています。

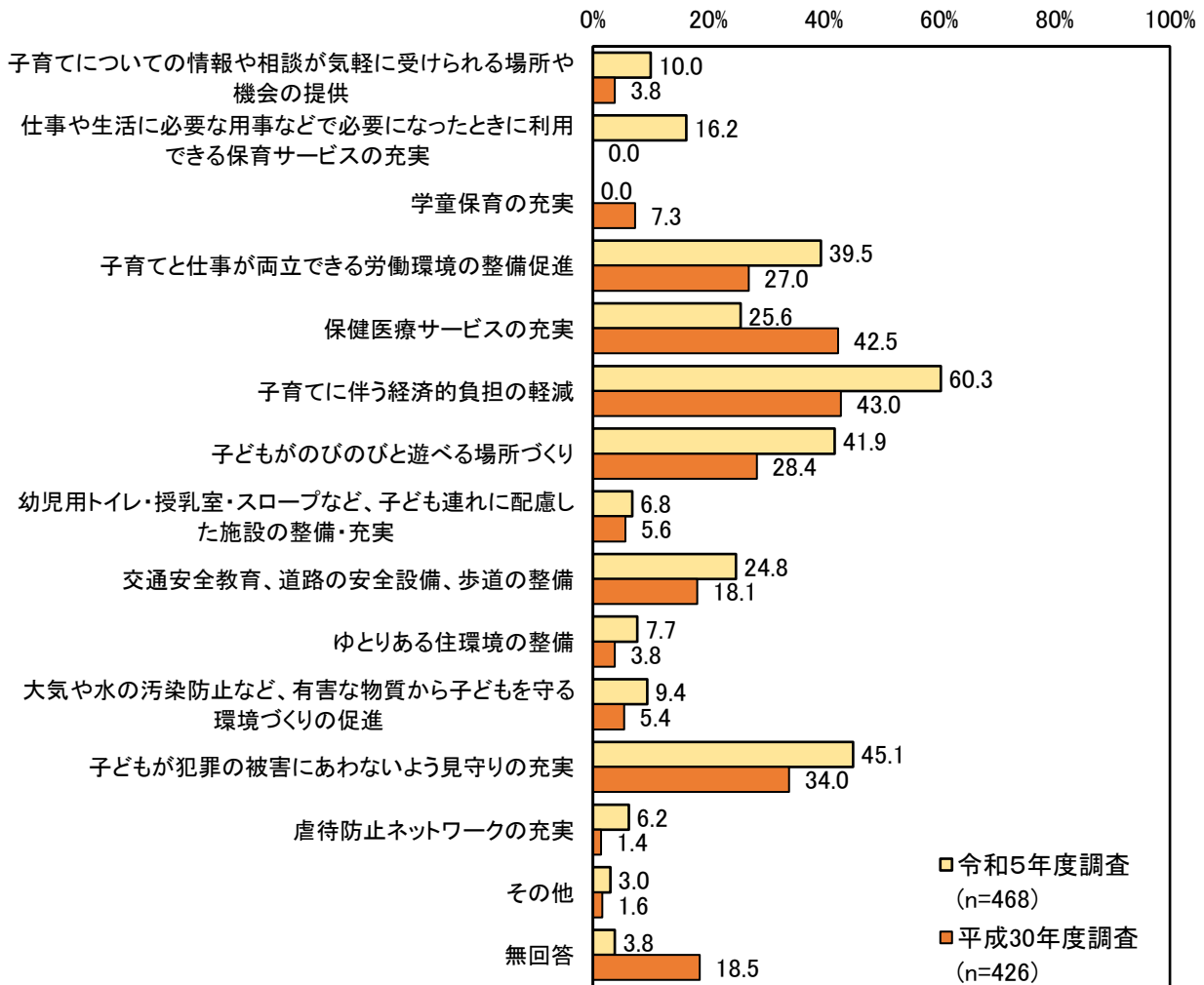
平成30年度調査と比較すると、特に「安定的な就業の支援」が15.8ポイント減少しています。



問45 あなたは、あて名のお子さんを健やかに育てるために、今後、市・県・国にどのようなことを期待しますか。《あてはまるもの3つまでに○》

「子育てに伴う経済的負担の軽減」が60.3%で最も多く、次いで「子どもが犯罪の被害にあわないよう見守りの充実」が45.1%、「子どもがのびのびと遊べる場所づくり」が41.9%、「子育てと仕事が両立できる労働環境の整備促進」が39.5%、「保健医療サービスの充実」が25.6%となっています。

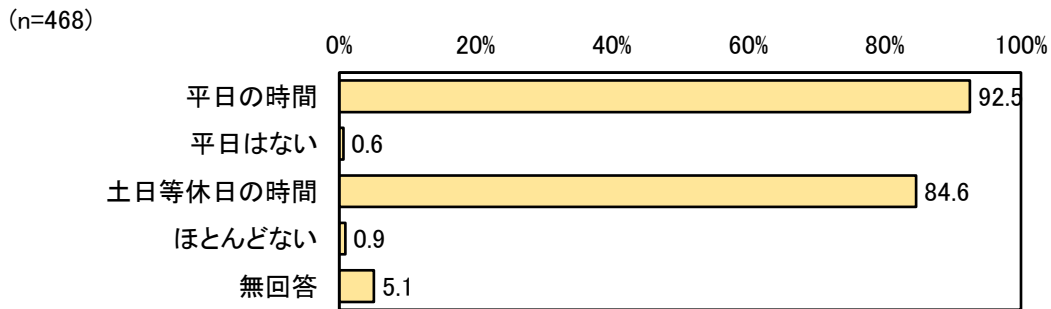
平成30年度調査と比較すると、特に「子育てに伴う経済的負担の軽減」が17.3ポイント増加しています。



問46 あて名のお子さんと平日に会話をしたり、一緒にいる時間についてお聞きします。また、「1. 平日の時間」または「3. 土日等休日の時間」に○をした方は、具体的な時間を24時間制でお答えください。

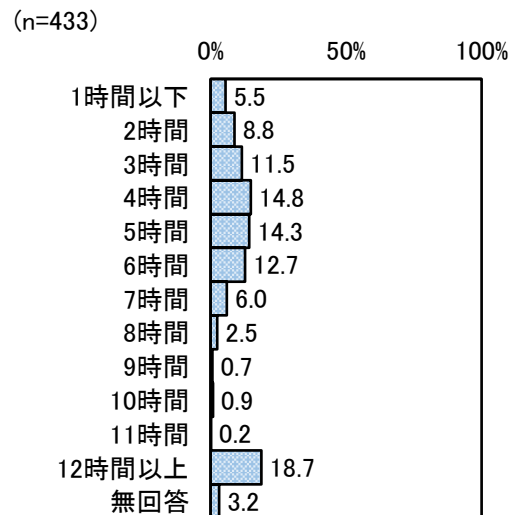
ア. 母親

「平日の時間」が92.5%で最も多く、次いで「土日等休日の時間」が84.6%、「ほとんどない」が0.9%、「平日はない」が0.6%となっています。



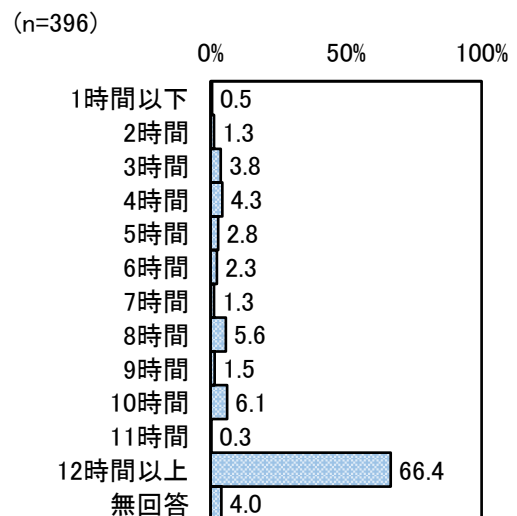
(ア) 平日の時間

「12時間以上」が18.7%で最も多く、次いで「4時間」が14.8%、「5時間」が14.3%、「6時間」が12.7%、「3時間」が11.5%となっています。



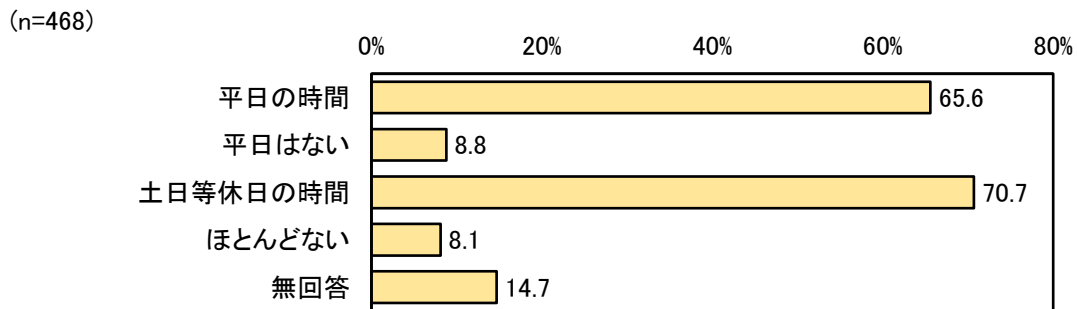
(イ) 土日等休日の時間

「12時間以上」が66.4%で最も多く、次いで「10時間」が6.1%、「8時間」が5.6%、「4時間」が4.3%、「3時間」が3.8%となっています。



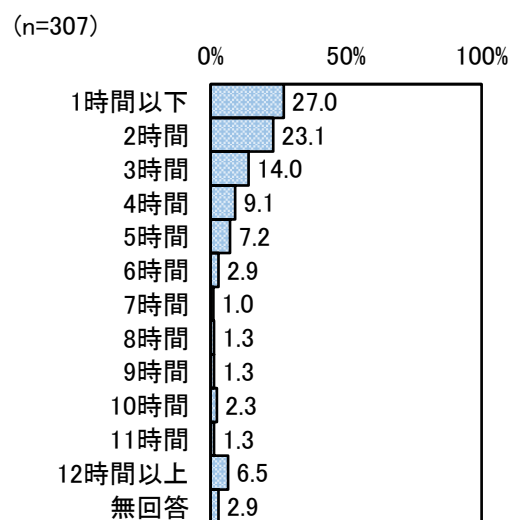
イ. 父親

「土日等休日の時間」が 70.7%で最も多く、次いで「平日の時間」が 65.6%、「平日はない」が 8.8%、「ほとんどない」が 8.1%となっています。



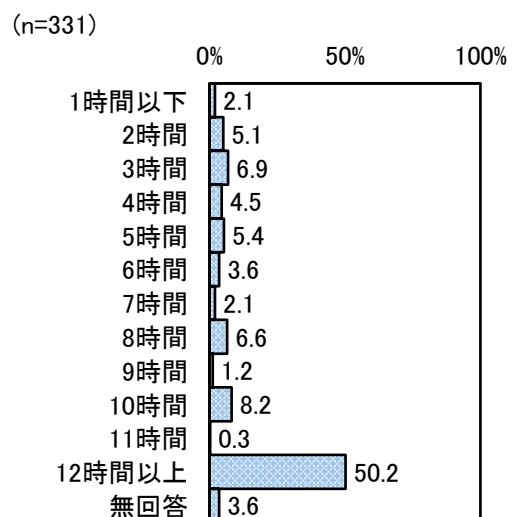
(ア) 平日の時間

「1時間以下」が 27.0%で最も多く、次いで「2時間」が 23.1%、「3時間」が 14.0%、「4時間」が 9.1%、「5時間」が 7.2%となっています。



(イ) 土日等休日の時間

「12時間以上」が 50.2%で最も多く、次いで「10時間」が 8.2%、「3時間」が 6.9%、「8時間」が 6.6%、「5時間」が 5.4%となっています。



津島市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

発行 令和6年3月

編集 津島市 子育て支援課

〒496-8686 愛知県津島市立込町 2丁目 21番地

Tel 0567-24-1111 (代表)